

# 参 考 资 料

## 参考資料① 玉浦西地区まちづくり検討委員会設置要綱

### 玉浦西地区まちづくり検討委員会設置要綱

#### (設置)

第1条 東日本大震災に伴う集団移転先である玉浦西地区のまちづくりについて、総合的に検討するため、玉浦西地区まちづくり検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

#### (検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 集団移転先のまちづくりに関すること。
- (2) その他市長が特に必要と認めた事項に関する事。

#### (構成)

第3条 委員会は、委員26人以内をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 集団移転対象地区の市民
- (3) 集団移転先周辺地区の市民
- (4) その他市長が特に必要と認める者

3 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

4 委員長は、委員会の会務を総理し、委員会を代表する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

#### (アドバイザー)

第4条 委員会にアドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、市長が委嘱する。

3 アドバイザーは、委員長の求めに応じ会議に出席し、助言することができる。

#### (会議)

第5条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、議事を統括する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員会に委員及びアドバイザー以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

#### (報告)

第6条 委員長は、委員会が検討した内容を市長に報告する。

#### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、建設部復興整備課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮り定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、公布の日から施行する。

(この告示の失効)

2 この告示は、第6条に掲げる市長への報告をもって、その効力を失う。

## 参考資料② 玉浦西地区まちづくり検討委員会議事要旨

### 第1回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

■日 時：2012年6月11日（月） 19:00-21:00

■場 所：岩沼市役所1階 大会議室

■出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（21名出席）

#### アドバイザー

石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授

小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授

#### オブザーバー

復興庁宮城復興局 2名、宮城県 2名、(財)宮城県建築住宅センター 1名

#### 岩沼市

井口 経明 市長

副市長、教育長、建設部長、総務部長、健康福祉部長、教育次長、市民経済部長 他

事務局：復興整備課

#### ■資 料：次第

資料1：玉浦西地区まちづくり検討委員会設置要綱

資料2：玉浦西地区まちづくり検討委員会委員等名簿

資料3：岩沼市防災集団移転促進事業について

資料4：土地利用構想図

資料5：玉浦西地区まちづくり検討委員会のスケジュールについて（案）

資料6：玉浦西地区まちづくりアンケートの実施について（案）

別 紙：まちづくりアンケート項目の提案書

## 1. 開会

## 2. あいさつ（井口市長）

- ・岩沼市では石川先生をはじめ全国の英知を集め、岩沼ならではの復興計画を作ってきた。また、集団移転については、皆さまにご協力をいただきながら 3/23 には大臣認可、先日は開発行為の許可もいただくことができた。本日で震災から 1 年 3 ヶ月になるが、被災された方は大変な思いをされている。一日も早く集団移転が具現化するよう更に努力していきたい。
- ・玉浦地区には、小学校、中学校に「玉浦」という名前はあるが地区名としては存在しない。玉浦の火を消すべきではないという意見もいただいております、「玉浦西地区」という名前をつけさせていただいた。
- ・玉浦西地区のまちづくりについて、50 年先、100 年先、孫、子の代まで岩沼に住んでいただくような魅力あるまちを作っていきたい。そのために、道路や公園をどうするか、6 地区をどのように配置するかなどについて、忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。あまり時間がなく、日程的に窮屈な面があるかと思うがご協力をお願いする。

## 3. 出席委員紹介

- ・各自自己紹介（略）

## 4. 委員長及び副委員長の選任について

- ・菊地幸一委員より、委員長に阿留多伎真人委員を推薦。
- ・中川勝義委員より、副委員長に福屋粧子委員を推薦。
- ・両名とも、参加各委員より異議なしとの発言があり、委員長、副委員長が選任される。

## 5. 資料等説明

- ・事務局より、資料 3～5 について説明。

## 6. 協議

### （1）今後の進め方について

■個別ヒアリングの結果として、集団移転されるおおよその戸数を教えてもらえないか。

⇒概数ではあるが、回収率は約 70%であり、そのうちの約 6 割が集団移転を希望されている。なお、詳細な結果は次回会議でご報告する予定である。（事務局）

■検討スケジュールについて、8 月末までに 6 地区の配置を決めるとあるが、これらを決めるに当たっては、地区に持ち帰って検討することも必要である。ただし、誰が集団移転に参加をするのかが分からないと地区に持ち帰っても話ができない。誰が集団移転に参加するのか、早めに教えていただきたい。

⇒個別ヒアリングとは別に、玉浦西地区のまちづくりを検討するに当たって、玉浦西地区を希望された方に対して、アンケートを実施したいと考えている（資料 6 及び別紙に基づき、アンケート案の内容を事務局より説明）。アンケート実施に当たって、どのような項目を質問項目に加えると良い

か、各委員からご提案いただければと考えている。(事務局)

⇒以前行ったワークショップでは、フリートーカー形式であったため、比較的いろいろな案が出やすかったが、アンケートでは型にはまった回答になってしまうのではないかと。

⇒アンケートの方が回答しやすいという方もいらっしゃると思う。(阿留多伎委員長)

■個別ヒアリングの回答が7割ということであったが、残りの3割については個別移転の方が多いと思うので、7割の結果だけでも早くもらえないか。

⇒集計が済み次第、速やかに回答する。(事務局)

■スケジュールによると、「コミュニティの検討」が平成25年前半から後半になっているが、これでは遅いのではないかと。このスケジュールで良いのか、各委員のご意見をいただきたい。(石川アドバイザー)

⇒どのような進め方が良いのか、事務局と委員長及びアドバイザーの間で調整いただきたい。

⇒このスケジュール案にある「コミュニティの検討」とは、地区内の細々したことを意味している。本年6月から8月にかけて、おおむね2週間に1回の割合で検討委員会を開催したいと考えているが、石川アドバイザーの言われるコミュニティに関する検討については、この中で協議していきたいと考えている。(事務局)

⇒2年という短期間の中でいろいろ進めていかなければいけないことから、いつまでに何を行っていくのか、についてきちんと明示する必要がある。(石川アドバイザー)

⇒6地区の配置など8月末までに検討する事項はコミュニティの検討そのものである。スケジュール案では分かりにくい表現等があるので、事務局は次回会議までに詰めたものを提示すること。(井口市長)

⇒岩沼のまちづくりは他の自治体に比べて非常に早い。これは生活再建が早まるだけでなく、復興工事も他に先駆けて実施できるなど戦略的なものである。このスケジュールでまちづくりが決まるかどうかは委員の皆さんにかかっている。何人くらいが集団移転先にくるのか規模がわからないと検討できないのも事実だが、いいまちの絵ができれば集団移転先に来たい人が増えるかもしれない。ここの場で決めたことを各地区に持ち帰っていただき、情報を共有していただく必要がある。(小野田アドバイザー)

⇒通常のまちづくりの進め方では時間がどうしてもかかってしまうので、同時並行で様々なことを進めていく必要がある。スケジュールについては事務局で再度詰めてもらって、次回の会議に提出いただくということで良いか。(阿留多伎委員長)

⇒了解(一同)

■玉浦西地区のアンケートだが、これは誰を対象に実施するものか。

⇒集団移転先を希望している方だが、集団移転先に行かない人へ聞くことも大事である。(阿留多伎委員長)

⇒集団移転先に誰が行くのか分からないと聞けないのではないかと。

⇒アンケートの対象者について、ご意見があればお願いしたい。(阿留多伎委員長)

⇒集団移転先のまちづくりを検討するのであるから、そこに住む人を対象に実施すれば良いと思う。

- ⇒同じ意見だが、周辺に住む方に意見を聞いても良いかと思う。
- ⇒どのようなまちになっていくのか、非常に興味もあるので、周辺地区の住民の意見も聞いてもらえたら良い。
- ⇒集団移転先に行かない人でも、玉浦西のまちづくりに協力したいと思っている人もいると思う。そのような方の意見も参考に聞いてみたらと考える。
- ⇒移転する人にだけ聞けばよいと思っていたが、第三者として移転しない人の意見を聞いてもいいかなと思った。
- ⇒移転する、しない別に意見を聞くことは集計上の工夫で対応可能だと思うがどうか。(阿留多伎委員長)
- ⇒対応可能である。(事務局)
- ⇒アンケートの時間が短すぎるような気がする。
- ⇒次回までに考えていただきたいのは、アンケートの調査項目をご提案いただきたいというものである。(事務局)
- ⇒アンケートの実施や結果等については、どのようなスケジュールとなるか。(福屋副委員長)
- ⇒次回までに設問項目についてご提案いただき、その内容を踏まえて第3回の会議でアンケート(案)を事務局よりご提示する。その内容についてご意見をいただいた上で、速やかにアンケートを実施したい。その結果については、第5回くらいの報告になるかと考えている。(事務局)
- ⇒スケジュールによると、まちづくりのコンセプトを7月上旬までにまとめるとあるので、アンケートの集計を早めをお願いしたい。(福屋副委員長)
- ⇒集団移転をする人と、周辺に住んでいる人に聞くアンケートの内容は異なると思う。周辺の人の意見を聞いてもらえるのであれば、その辺に留意する必要がある。
- ⇒アンケート設問項目の提案書の中に、誰に聞く項目なのかを明記いただくことでいかがか。(阿留多伎委員長)
- ⇒了解(一同)

## (2) その他

- 本検討委員会の開催ペースであるが、2週間に1回程度の割合で開催したいと考えている。(事務局)
- ⇒事務局より話のあった開催ペースに関していかがか。(阿留多伎委員長)
- ⇒了解(一同)
- ⇒曜日や時間について、ご意見があれば伺いたい。(阿留多伎委員長)
- ⇒週末は各人の都合等もあると思うので、ウィークデーの方が良い。
- ⇒時間は、本日と同じくらいの方が集まりやすい。
- ⇒では、ウィークデーの19時以降ということで調整したい。(阿留多伎委員長)
- 次回開催は、6/25の週で考えているが、各委員のご都合はいかがか。(事務局)
- ⇒その週であれば他の予定等もあるので、できれば6/27でお願いしたい。(石川アドバイザー)
- ⇒では、次回は6/27(水)19時からの開催とする。(阿留多伎委員長)
- ⇒開催場所については、事務局で調整しご連絡する。(事務局)
- ⇒以上をもって本日の会議を終了する。(阿留多伎委員長)

5. 閉会（菊地副市長あいさつ）

（略）

以 上



## 第2回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

- 日 時：2012年6月27日（水） 19:00-21:00
- 場 所：岩沼市役所1階 大会議室
- 出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（22名出席）

### アドバイザー

- 石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授
- 小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授
- 三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

- 復興庁宮城復興局 2名、

### 岩沼市

- 建設部長、総務部長、市民経済部長 他
- 事務局：復興整備課

### ■資 料：次第

- 資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース
- 資料2. 玉浦西地区まちづくり検討委員会のスケジュール予定
- 資料3. 第2回岩沼市集団移転に関する個別面談調査実施結果
- 資料4. 玉浦西地区まちづくりアンケートの実施方法について
- 資料5. 「玉浦西地区まちづくりカード」の作り方及びカード書式

## 1. 開会

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

（略）

## 3. 議事

### （1）玉浦西地区まちづくりニュースについて

事務局より資料1に示す「まちづくりニュース」を発行し情報発信すること、及び市の復興整備課のホームページや仮設住宅の集会所等で配布することが提案され、満場一致で了承された。

### （2）玉浦西地区まちづくり検討委員会のスケジュール予定について今後の進め方について

事務局より資料2に基づき、今後の委員会スケジュールと各回の検討内容について提案され、本案を委員会スケジュールとすることで了承された。

■スケジュールの中に「まちづくりカード」とあるが、これはどのようなものか。

⇒これについては、次の連絡事項の中で、事務局より具体的に説明してもらう予定である。（阿留多伎委員長）

## 4. 連絡事項等

事務局より下記の事項について説明があった。

### （1）第2回個別面談調査結果について

資料3に基づき個別面談調査の回収率について示された。回答結果の詳細については来週各委員に郵送することで了解された。

### （2）玉浦西地区まちづくりアンケートについて

前回事務局より提案のあったまちづくりアンケートについて、資料4に基づき具体的な実施案の説明が事務局よりなされた。

具体的なアンケート項目については、本日各委員より提出される質問項目案を踏まえ、詳細は次回の委員会で検討する。

### （3）玉浦西地区まちづくりカードについて

各委員のまちづくりへの思いをカードに記載するまちづくりカード及び作成方法について、事務局より説明された。各委員は8項目（カード8枚）以内で、次回会議までに作成することとなった。

■まちづくりカードについて、必ず入れて欲しい3点の説明があったが、対象は自分の土地のことか、玉浦西地区全体の土地利用のことなのか。地区全体のことだとすると、移転する人数などの情報も必要。そのあたり市の方向性を聞かせて欲しい。

⇒集団移転先の20haの土地利用について書いて欲しい。現在公表している土地利用計画はあるが、それにとらわれず自由な発想で書いて欲しい。移転者のボリュームが必要な点については承知しているので、できるだけ早く個別ヒアリングの回答結果を郵送する。（事務局）

■20haの中のことを書けばよいという理解でよいか？

⇒そのとおりである。(阿留多伎委員長)

## 5. アドバイザー講話

(1) 石川アドバイザー 「愛と希望の復興」の速やかな実現に向けて

・いままでに東大で活動された内容、ワークショップの開催状況、遊水地の事例について紹介。

(質疑)

■空港南地区の調整池は常に空の状態にしておくように指導されたが、今回の紹介のように水を張っても問題ないのか？

⇒貯めておく水があっても、それ以外に貯留しなければならない容量が確保される設計なら問題が無いと思われる。水が無い場合でも、例えば、浜離宮の水芭蕉園のように美しい景観を作り出すことは可能である。(石川アドバイザー)

■これまでの家や集落には居久根があった。新しい町でも緑豊かなまちづくりをしていきたい。

(2) 小野田アドバイザー 復興という作業と建築家の役割

・釜石市、石巻市、七ヶ浜町でのワークショップ経験を元にまちづくりの検討事例を紹介。

(質疑)

特になし

(3) 三部アドバイザー 玉浦西地区のまちづくりについて

・住宅建設の流れ等をもとに、玉浦西地区のまちづくりのポイント等を説明。

(質疑)

■アドバイザーと市の間でしっかり話し合っまちづくりをして欲しい。

⇒今回のまちづくりを検討していくにあたっては、委員の皆さまのまちづくりの思いなどを伺いながら進めていきたい。(事務局)

■三部先生の話で建築資材等が高くなる話があった。また、消費税の増税が決まったが宮城県知事は被災者の減免が考えられると言っていた。これについてはどうなのか。

⇒消費税については、前回税率が上がった時の状況からすると、あまり影響はないかも知れないが、全国で駆け込み需要が発生して被災地に大きな影響を及ぼすことが考えられる。被災地への減免については、現時点では何ともいえない状況である。(三部アドバイザー)

## 6. 閉会(福屋副委員長あいさつ)

(略)

以 上

### 第3回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

■日時：2012年7月11日（水） 19:00-21:00

■場所：岩沼市役所1階 大会議室

■出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（17名出席）

#### アドバイザー

石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授

三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

#### オブザーバー

復興庁宮城復興局 2名、宮城県 3名

#### 岩沼市

建設部長、都市計画課、復興推進課

事務局：復興整備課

■資料：次第

資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第2号

資料2-1. まちづくりアンケート項目の提案書

資料2-2. 玉浦西地区まちづくりアンケート調査について（調査票A）

資料2-3. 玉浦西地区まちづくりアンケート調査について（調査票B）

資料2-4. 玉浦西地区まちづくりアンケート調査について（調査票C）

## 1. 開会

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

- ・今回は、前回の宿題であった「まちづくりカード」に関して、各委員から発表いただく回である。まちづくりに対する思いを語っていただきたい。
- ・住民の生活が第一となるようなまちづくりを進めていきたい。

## 3. 議事

### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

- ・事務局より、資料1に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第2号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■この内容をもって、まちづくりニュース第2号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

### (2) 玉浦西地区まちづくりアンケートについて

- ・事務局より、資料2-1に基づき前回会議で各委員より提案のあったアンケート調査項目の内容並びに分類について説明を行うとともに、資料2-2～2-4に基づき各アンケート調査票の具体的な内容について説明。

■各調査票に「コミュニティ・シンボル」という記述があるが、これは「コミュニティ」のみでよいのではないか。

また、調査票A（6）の質問で「つきあい方」に関する設問があるが、これは選択肢をひとつ選ぶのではなく、複数回答で良いのではないか。（三部アドバイザー）

⇒最初のご意見に対しては、確かに「コミュニティ・シンボル」という表現だと誤解を招くおそれもあるので、「コミュニティやシンボル」という表記に修正した方が良い。「つきあい方」に関して他の委員からご意見はあるか？（阿留多伎委員長）

■（6）の質問はいらぬのではないか。玉浦西地区以外の人に聞く必要はあると思うが。

■調査票Bにも同じような質問があるが、これの趣旨は？

⇒「つきあい方」に関しては、玉浦西地区に移転する方々から周辺の方々、周辺の方々から玉浦西地区へ移転する方々の双方向で聞いたかどうかと考え、各調査票に同様の設問を設けている。特に、玉浦西地区以外に移転される方々に対しては、玉浦はこれらの人にとってもふるさとであり、今後ともおつきあいをされていくことになると思うので、どのようなご意見があるのかというのを把握したいと考えた。（事務局）

⇒趣旨は理解するが、玉浦西地区以外の人に聞いても「関係ない」という意見が多い。玉浦西地区以外の人に対して、ここまで細かい内容までアンケートを行う必要があるだろうか。

⇒第1回会議の中での各委員からのご意見を踏まえて、玉浦西地区以外の方々に対するアンケート調査票を作成した。玉浦西地区以外に移転される方も玉浦がふるさとであることには変わらないので、質問項目に入れさせていただいた。（事務局）

⇒玉浦がふるさとであるということを知って理解した。了解する。

■被災者の中には、いろいろと揺れ動いている方もまだいらっしやる。何も見えないから不安で、決めかねていると思うので、調査票をA、Bと分けずにアンケートをひとつにして実施したらどうか。

「玉浦西地区（住宅団地）」とあるが、住宅だけではないので「(住宅団地)」は不要ではないか。

また、(5)の設問については、答える側にとって回答が難しいのではないか。(石川アドバイザー)

■シンボル等に関する設問について、玉浦西地区だけのアンケートなら分かるが、例えば、新浜の神社や祭りを今後どうするか、といった話について地区の中でも決まっていけない。このようなアンケートで聞いてしまうとおかしくなってしまうのではないか。

⇒今回のアンケートは個人に対して行うものであり、地区でどう決まったかということについて伺うものではない。その点については問題ないと考える。(阿留多伎委員長)

■5月の面談の結果を踏まえて行うのであれば、調査票はまとめた方が良いのではないか。

⇒今回のアンケート調査は、玉浦西地区のまちづくりに関してご意見を伺うものである。また、第1回会議のご意見を踏まえて、玉浦西地区以外に移転される方も対象に調査票を作成した。短い期間で実施から集計・分析を行うためにこのような方法を取らせていただいたが、石川アドバイザーよりいただいたご意見については、別の方法で補完していきたいと考えている。(事務局)

⇒了解した。なお、(5)①の選択肢については、「独立した」ではなく「基本とした」という表現に改めていただきたい。(石川アドバイザー)

⇒了解した。また、その他、各委員からいただいたご意見を踏まえて、調査票の一部を修正する。その点については、委員長、副委員長、事務局に一任いただくということによろしいか。(阿留多伎委員長)

⇒了解。(一同)

#### 4. 玉浦西地区まちづくりカードの発表

・各委員より、作成されたまちづくりカードの内容を発表。(略)

その後、アドバイザーより助言をいただく。

(石川アドバイザーより助言)

・皆さんからまちづくりに関するいろいろな意見が出てきた。これらの意見について、最初に考えなければいけないもの、その次に考えなければいけないもの、時間をかけて考えていくべきものといった形で交通整理していくと具体性が出てくる。また、図面を広げて話を進めていくともっと具体化してくる。図面を見ながら考えていくと、玉浦西だけでなく周りとの関係も見えてくる。岩沼はトップランナーなので、世界中から良いまちになったといわれるようなまちづくりを進めて欲しい。

(三部アドバイザーより助言)

・夢のある思いの詰まったお話を聞かせていただいた。これを具体的にイメージしたものについて議論を進めていただきたい。いろいろ出していただいたアイデアが、実現可能かどうかを整理していく必要がある。玉浦西地区だけではなく市全体でどうするか考えるべきものもあったので、その辺は市の方で整理する必要がある。また、公園や緑化についても、将来新しい人たちが入ってきてても持続していけるものにする必要がある。そういった視点で整理いただければと思う。建物の色や形状の統一化の話があったが、そういったものを含めて資産価値の下がらないまちを作っていただきたい。

#### 5. 閉会（福屋副委員長あいさつ）

・まちづくりカードでは、各委員個人のご意見だけでなく、地区のご意見も反映いただいた。

- ・今後、本日伺ったこういうまちに住んでいきたいというイメージを具体化していきたい。
- ・そのため、本日いただいたご意見を、優先度の点と、技術的に可能かどうかといった点を中心に整理して進めていきたい。

以 上

## 第4回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

■日時：2012年7月25日（水） 19:00-21:00

■場所：岩沼市役所1階 大会議室

■出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（18名出席）

### アドバイザー

石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授

小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授

三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

復興庁宮城復興局 2名、宮城県 2名

### 岩沼市

建設部長、都市計画課、復興推進課

事務局：復興整備課

■資料：次第

資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第3号

資料2. まちづくりカードのまとめ（案）

資料3. まちづくりの方針（案）等の検討のためのグループワークの進め方



## 1. 開会

- ・相野釜地区からの申し入れで宍戸誠委員から桜井理恵委員へ交代の連絡（事務局）

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

- ・石川アドバイザーから配っていただいたペアリング支援ニュースをみると、それぞれの地区で集まって玉浦西地区がこうなって欲しいという思いが伝わってきた。今回のまちづくりの方針の検討にその思いを伝えていただきたい。
- ・今回からワークショップという手法でみなさんの意見を聞いていくが、ワークショップが日本に入って約 20 年。このようなやり方をするというものが決まっているものではない。あとから事務局から説明されるルールを守って多くの意見を出していただきたい。

## 3. 議事

### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

- ・事務局より、資料 1 に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第 3 号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■発表している姿が映っている写真を掲載してもよいか？（阿留多伎委員長）

⇒写真利用者の全員から了承を得た

■この内容をもって、まちづくりニュース第 3 号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

### (2) まちづくりカードのまとめとまちづくり方針（案）の検討について

- ・事務局より、資料 2 に基づき前回会議で各委員より発表していただいたまちづくりカードをグループ化したものについて説明を行うとともに、資料 3 に基づきまちづくり方針（案）等の検討のためのグループワークの進め方について説明。

## 4. グループワークの発表

- ・各班からまちづくりの方針とその方針を選んだ理由を発表していただいた。

### ◆ひまわり班

- ・自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ・スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち
- ・空が広く感じられる美しい街並みのあるまち
- ・安心して子育てができ、身近に病院や介護施設があり安心するまち
- ・地域の人が交流し、みんなで寄り合う場があるまち
- ・ひとを包み込むような懐かしい、緑豊かな水辺の風景のあるまち（調整池、水路）
- ・外周を緑や堀で囲み、津波、豪雨等災害に強い安全なまち

### ◆さわやか班

- ・地盤が強く、地震、津波、豪雨等災害に強い安全なまち
- ・6 地区のまとまりを基本としたつながりのあるまち

- ・安心して子育てができるような集会所等を中心に人が集まるコミュニティのあるまち
- ・太陽光等自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ・空が広く感じられる美しい街並みや、色合いが整った潤いのあるまち
- ・スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち

#### ◆TMU班

- ・緑が豊かで季節ごとに花や木の実が楽しめるまち
- ・空が広く感じられる美しい街並みのあるまち
- ・子どもや高齢者が地域のみまもり活動により、安心して元気に暮らせるまち
- ・自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ・6地区のまとまりを基本としたつながりとルールのあるまち
- ・スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち
- ・自然災害に強く、安全で素早く避難できるまち

#### 5. グループワークのまとめ

・委員長、副委員長が中心になって各班に共通する方針を抽出し、同じような意味合いの方針を分類としてまとめて以下の7つのまちづくり方針（案）をまとめた。

#### ★玉浦西地区まちづくり検討委員会のまちづくりの方針（案）★

- ・自然災害（津波・豪雨）に強い安全・安心なまち  
外周を緑や森で囲み津波対策とする
- ・自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち  
メガソーラーや水力を利用して、街灯や集会所の電力を賄う
- ・空が広く感じられる美しい街並みのあるまち  
電線の地中化をイメージしたまちづくり
- ・地区の寄り合いができる集会所や菜園のあるまち  
みんなで寄り合い、野菜を作ったり、祭りをを行う
- ・緑豊かで水辺のある景観のよいまち  
被災し無くなった風景を思い出させるような地域を造りたい
- ・スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち  
車ではなく歩いて買い物に行ける地場産のお店も入れるような
- ・地域のみまもりにより、高齢者福祉と子育てが充実したまち  
安心して子育てが出来るまち。子どもだけでなく、病院や介護施設も

#### 6. 閉会（福屋副委員長あいさつ）

省略

以 上

## 第5回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

- 日時：2012年8月8日（水） 19:00-21:30
- 場所：岩沼市役所1階 大会議室
- 出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（19名出席）

### アドバイザー

- 石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授
- 小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授
- 三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

- 復興庁宮城復興局 2名、宮城県 3名

### 岩沼市

- 建設部長、都市計画課、復興推進課
- 事務局：復興整備課

### ■資料：次第

- 資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第4号
- 資料2. 土地利用計画（案）検討用資料

## 1. 開会

### 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

- ・今回はまちづくりの方針（テーマ）のイメージをまちのかたちにしていただく。ここでこんなことをしたい、あんな暮らしをしたいということから、だったらこんなかたちがいいよねといった感じでまとめていきたい。みなさんの心の中にあるものを出していただいてそれがかたちになるようにしていきたい。
- ・アンケートの結果も踏まえてまとめていきたいが、例えばシンボルについては、これまでのものを引き継ぎたいという意見もあったが、新しいシンボルを作りたいという意見もあった。
- ・三部アドバイザーから岩沼市玉浦西地区まちづくりについて（メモ）という資料を提供していただいた。イメージを掴むのに役立つ資料なので参考にさせていただきたい。

### 3. 議事

#### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

- ・事務局より、資料1に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第4号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■発表している姿が映っている写真を掲載してもよいか？（阿留多伎委員長）

⇒写真利用者の全員から了承を得た

■この内容をもって、まちづくりニュース第4号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

#### (2) まちづくりアンケート結果（速報）について

#### (3) 土地利用計画（案）の検討について

- ・事務局より、事前送付しているまちづくりアンケート結果（速報）の土地利用に関する内容を説明。

また、資料2に基づきまちづくり方針（案）のまとめと考慮すべき事項について説明。

■考慮すべき事項について説明してもらったが、言葉だけだと分かりにくい。

⇒調整池のかたちについてはこれから議論していただきたい。緑地については例えばということでの説明だったので、数やかたちについても自由に考えていただきたい。（阿留多伎委員長）

■まちづくりの方針（案）について、TMU班の発表をしたときに地震も含めて説明したと思うので、まとめたものにも地震を加えて（地震・津波・豪雨）として欲しい。

⇒カッコ書きの中の2つに限定しているような印象を与えるので、カッコ自体を削除して広く自然災害を対象とすることに変更したい。（事務局）

⇒事務局提案の広く自然災害とすることで当然、地震も含むことにしてはどうか。（阿留多伎委員長）

⇒反対意見なし

■地区西側の地盤が弱いということだったが、安全なまちとしては地盤が重要なので、どのような調査をしてどのような対策をするのか教えて欲しい。また、東側で砂取りをしているところがあると思うが、どのような対策を考えているのか。

⇒地区のボーリング調査をして支持地盤の深さを調査している。西側が軟弱と捉えているのは支持地

盤が深かったためで田面から約8メートル下に支持地盤がある。砕石杭を使った対策を考えている。また、地震による破壊は軟弱地盤対策と締め固めで対応する予定である。地区東側の砂採取については承知している。全体の工事の中で対策を施す予定である。(事務局)

■三部アドバイザーからいただいたメモの内容について説明して欲しい。

⇒この資料はイメージや雰囲気をつかむための参考と考えていただきたい。(阿留多伎委員長)

#### (4) 6地区のシンボルや特色について各地区から発表

##### ■相野釜地区

- ・相野釜地区は空港に近い。村の鎮守の神社があり年三回の大祭を行っていた。
- ・貞山堀で魚とりや泳いだりしていた。海も津波がなければいい海だった。
- ・地区に運動公園があり、催し物(盆踊り、スポーツ活動等)をしていた。

##### ■二野倉地区

- ・二野倉神明社では春祭り、二野倉生活センターでは盆踊り、二野倉海浜プールの駐車場で10月に運動会を行っていた。また、神社にサルスベリの木があった。
- ・地区で集まったときに出た意見として『公営住宅も地区内に配置して欲しい』、『地区の中心に集会所を設置してみんなで集まれるように』、『電柱の地中化』、『液状化対策』、『共同の菜園があれば人が集まるようになる』、『神社のサルスベリをシンボルにしたらどうか』などがあつた。

##### ■長谷釜地区

- ・長谷釜にも神明神社があつてそこにイチョウの木(かなり太い)があつた。集会所で村祭りをしたり、川を埋めて作ったグラウンドで運動会をしていた。あと避難訓練後の花見。これからは6地区みんなで集まれるものを考えていきたい。
- ・地区の意見としては『みんなで集まれる場所が欲しい』、『子どもが安全に遊べる場所にしたい』、『素早く避難ができる地区にしたい』、『電柱の地中化』が出ていた。

##### ■蒲崎地区

- ・神明社では正月参り、どんと祭、春祭り、子どもみこし。
- ・港神社では春祭り、秋祭りがあり、子宝にご利益のある神社。
- ・他には浄土宗の寺院である専光寺がある。
- ・阿武隈川、貞山堀、海があり自然豊かな場所、泳いだり、ウナギやシジミを取っていた。
- ・盆には灯籠流しをした。松林も多かった。初日の出をみるために市外からも人が来ていた。
- ・地区には南浜中央病院、コンビニ、パーマ屋、簡易郵便局、学習館(図書室)等があつた。

##### ■新浜地区

- ・地域に残る人が居るので、町内会の解散を考えている。
- ・神社は残っているし、6地区すべての神社を持っていけないので新浜の神社はその場で再建。
- ・これまでは田んぼがあり、一緒に作業をして地区が繋がっていた。

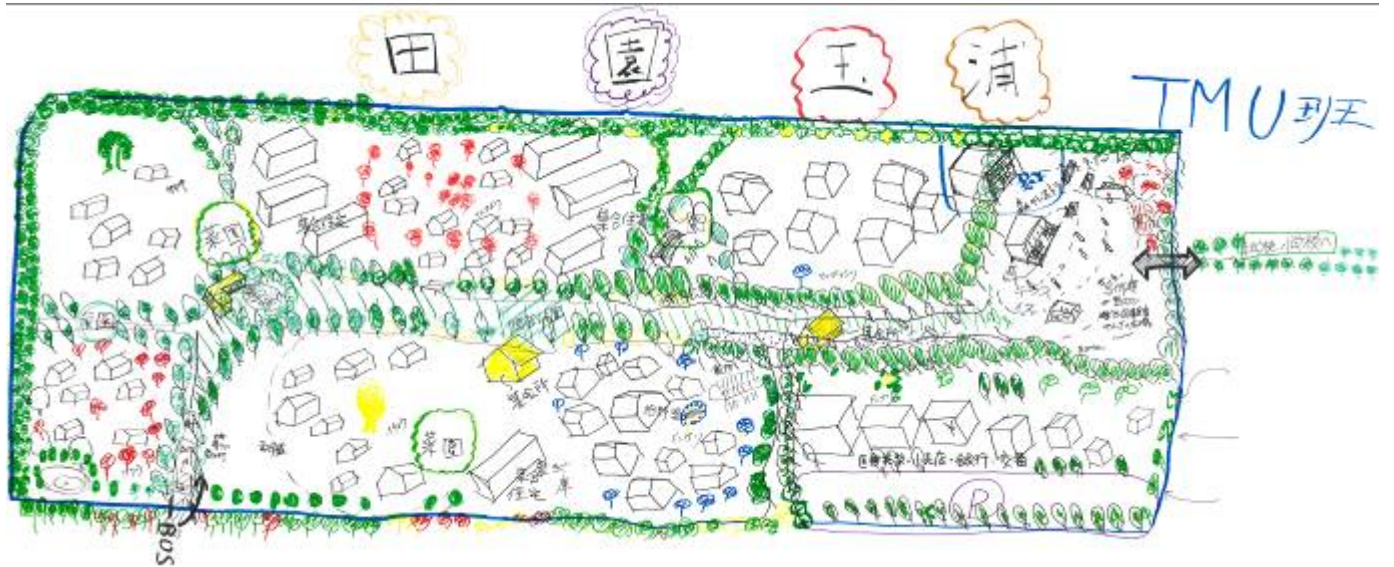
#### 4. グループワークの発表

・各班のテーブルを囲んでまちづくりのイメージ図を発表していただいた。

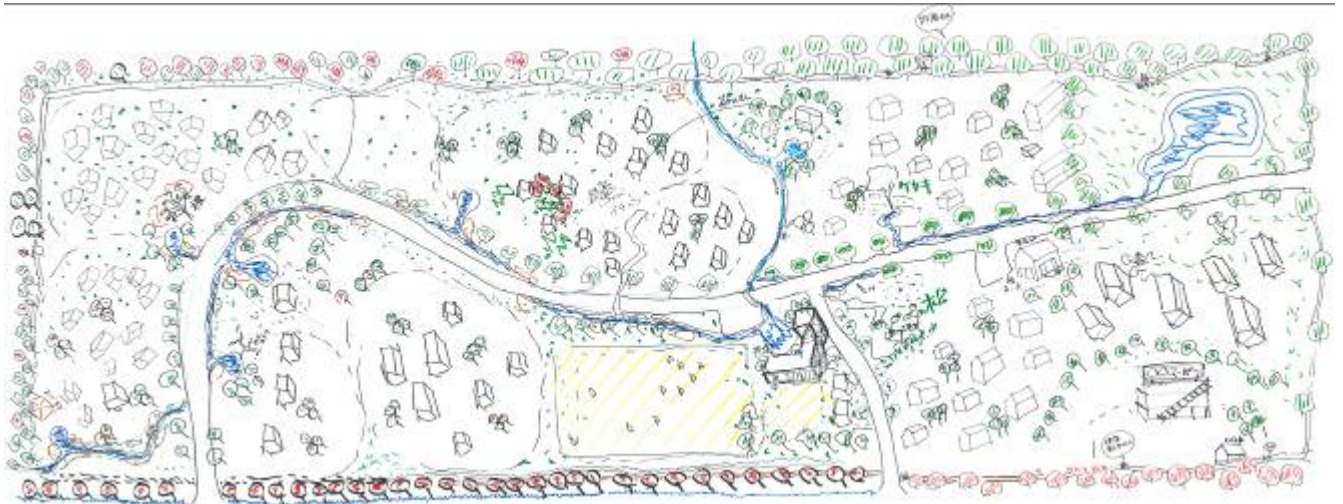
◆さわやか班：セールスポイントは「つなぐ」まち。新しい地区のシンボルをつくる



◆TMU班：セールスポイントは「田園玉浦」。地区ごとにシンボルとなる木を植える



◆ひまわり班：セールスポイントは「周囲を囲む木と溜まりのある水路」。周囲には健康散歩道を整備



## 5. グループワークのまとめ

・各班で出していただいたイメージやまちづくりのかたちを事務局で整理して次回にお示ししたい。

■今日はアドバイザーというよりはスケッチを書いていました。いいまちができるのではないかと考えていますので、この調子で進めていきましょう。(小野田アドバイザー)

■緑がいっぱいあふれていいまちになっていると思います。次回は現実的に色々なことを考えて進めていければいいと思います。(三部アドバイザー)

■短時間ですごく良くまとめられたと思います。素晴らしいと思います。トップランナーということでみなさんも期日を守ることを考えていると思いますが、ここまで考えているので 22 日まで空くのは時間が惜しいなあと思います。この先ずっと住む自分たちのまちなのでもうひとふんばりしたほうがいいのではないかと考えています。これを事務局に渡してしまうのがいいのかどうか。(石川アドバイザー)

⇒22 日に出てきたものにも意見を出していくと思うが、それは確定と言うことではないということによいか。

⇒最後にみなさんでこれでいいですと納得いくまでは確定はしない。(阿留多伎委員長)

⇒委員長の言うとおりの、次回までに事務局でひとつにするということではない。予備日も含めてあと 3 回の話し合いでひとつにまとめていく作業をしていきたいので、皆様のご協力をお願いします。(事務局)

⇒22 日にはみなさんのもっと深い意見がでるように事務局と相談してグループワークができるように準備する。(阿留多伎委員長)

⇒あと 3 回と言っていたが、もっといれてもいい。この話は本当に大切に急ぐと大変な事になるので日程も考えていただいて。

⇒話し合いのまとめりかたによってはご意見のとおり、3 回では足りなくなるかもしれない。その時には土日も含めて回数を増やすことも考える。(事務局)

⇒時間も 2 時間だと正味 1 時間くらいしか話す時間がないので、半日くらいかけてじっくりやってもいいのではないかと考える。

## 6. 閉会

以 上

## 第6回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

- 日時：2012年8月22日（水） 19:00-21:30
- 場所：岩沼市役所1階 大会議室
- 出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（20名出席）

### アドバイザー

- 石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授
- 小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授
- 三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

- 復興庁宮城復興局 2名、宮城県 3名

### 岩沼市

- 建設部長、都市計画課、復興推進課
- 事務局：復興整備課

### ■資料：次第

- 資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第5号
- 資料2. 土地利用計画（案）検討用資料
- 資料3. 第5回検討委員会ワークショップ内容



## 1. 開会

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

・今回は前回に引き続いてまちづくりの方針（テーマ）のイメージをまちのかたちにしていただく。前回は時間が短くて検討し切れなかった部分もあると思う。公益施設やクルマの動線、人の動線をどのように入れていくかということなどを検討して頂きたい。また、他の班のいいところは積極的に取り入れていただきたいと思います。

## 3. 議事

### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

・事務局より、資料1に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第5号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■この内容をもって、まちづくりニュース第5号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

### (2) 土地利用計画（案）の検討について

・事務局より、会議スケジュールについて説明（今回の第6回と次回の第7回でひとつの意見にまとめていく、そのスケジュールだと9/4の予備日にも委員会開催を行うことになる）

・事務局より、資料2に基づきまちづくりイメージに対する検討として検討事項と市の基本的な考え方について説明。

■『調整池の多段式公園』、『せせらぎ水路』、『架空配線』についてももう少し具体的に説明をお願いします。

⇒多段式調整池は一つになっている調整池に対して、水が深く貯まるところと浅く貯まるところの2段あるものをいう。架空配線とはよく見る電柱があつて電線が張っているもののことを指す。

せせらぎ水路については朝日山公園にあるものをイメージしていただければと思う。あそこでは地下水をくみ上げて利用している。また、多段式調整池の補足ですが、都市排水路と接続した後は、いっぱいまで水を貯めなくてもよくなる。その時には深いところだけを使うということができるようになる。（事務局）

■調整池について水が貯まる深さはどれくらい、段ができるということはどのような構造になるのかを説明しないと委員のみなさんが分からないと思う。（石川アドバイザー）

⇒一段の調整池にすると水の深さがおおむね1mくらいになる。二段にすると深いところの水の深さが2mくらい、浅いところが1mくらいとなる。多段式の場合は法面に芝を植えたり、木を植えたりして、緑のあるものということもできる。（阿留多伎委員長）

⇒木を植えるためにはこのような法面の勾配では無理で、もっと緩やかにしないとできない。このような技術的な検討をきちっと説明した方がいいと思う。（石川アドバイザー）

■調整池が都市排水路につながるのはいつ頃か。

⇒平成27年度の整備を目標にしている。（事務局）

⇒1年から2年のためにこのようにしなければならないということか。これまでにワークショップで

いろいろ意見を出しているけど、今回初めて市の基本的な考え方というのが出てきた。今までの議論は何だったのという気持ち。だったら先に教えてもらった方がいい。検討委員は身内と同じではないのか。どうして先に教えてもらえなかったのか。

⇒電線地中化は相手がある話で協議確認した結果を事務局から説明している。造成高さについても様々な検討をした結果ということで、行政サイドとしてはなかなか憶測でもの言えないということを理解して頂きたい。隠していたわけではないということである。(阿留多伎委員長)

■調整池がかなりの面積を占めるのでさまざまな使い方ができないかという意見を出している。今回公園の面積を15%に減らすように言われていますが、このような調整池では公園として使える範囲がさらに狭くなってしまふ。もっといい方法があるのではないか。

⇒1年くらいなら調整池だけ穴にしておいて、その後公園にしてもいいのではないか。

⇒暫定の調整池として使うのは2年。調整池が主ではなく、公園の中に調整池があるようにしたいと考えている。(事務局)

■委員のみなさんにワークショップで調整池のかたちを考えてもらうのは無理だと思う。宮城県の決まりもある。また、居久根についても市の基本的な考え方では5mの幅で考えるということだが、この幅では居久根はできない。私が出した資料ではこのくらいの幅が必要と書くことを書いている。(石川アドバイザー)

⇒地区を盛土するため法面ができ、道路の一部として国に認めてもらえる限度が5~6mという検討をしている。この幅であれば緑地ではなく道路用地として扱えるのではないかということで、委員のみなさんには15%の公園緑地を地区の周囲に取った方がいいのか、地区の中央に取った方がいいのかなどを考えていただきたい。(阿留多伎委員長)

⇒市で検討している断面があれば出していただかないと委員の方がわからない。(石川アドバイザー)

⇒ワークショップの中でご説明したいと思う。少しでもグループワークの時間を長く取れればと思う。(事務局)

⇒グループワークは重要ですがみなさん知りたいことは共通事項だと思う。(福屋副委員長)

⇒土地改良区から農業用水の付け替えを希望されているので地区内に用水路を設けて、管理用地を取る。約1.5mの高低差ができるが、1:4の勾配(4m進むうちに1mあがる)ですりつける検討をしている。その幅が約5~6mということである。(事務局)

⇒この法面だと居久根として木が根を張る深さが足りない。(石川アドバイザー)

⇒この幅よりも広くして居久根を作るためにはその面積は公園緑地としてとらなければならないため、その場合は15%の一部として扱う必要がある。(阿留多伎委員長)

⇒居久根は北西からの風を除けるために宅地と同じ高さに高い木を植えているので、宅地よりも低いところに植えても意味がない。

■説明する資料が言葉だけなのでイメージしにくい。参考図とか写真をつけてもらった方がいい。

■今日の課題は市の基本的な考え方で示された条件を考えながら、前回のイメージ図を修正していくことだと思うが、建築の学生でも悩むような難易度の高い課題だと思う。事務局内で議論した私の理解は、技術的な条件があるのでそれらを考えるとこのようなかたちになるという模範解答とかそのようなものを示して委員の方に赤ペンをいれてもらうものかと思っていた。事務局で作業されたものがあれば、さきほど委員からも仲間なんだから情報を共有してという意見があったが、そのとおりだと思うので検討しているものを出して話を進めるというやり方ができるのではないか。

(小野田アドバイザー)

⇒短い時間でひとつの案にまとめていかなければならないので、他の班のいいところを取り入れてもらっていくとおのずと近い案になっていくものと考えている。その案を元に具体的な検討をしたものを提示したいと考えている。(事務局)

⇒それぞれの班で具体的な案を検討してまとめていくと、自分の班の案への思い入れが強くなってひとつにまとめていくのが難しくなってしまうということは理解する。ただ、ここから先は寸法の世界なので、委員の皆さんがスケールをあてて考えていくということは難しいのではないかと。(小野田アドバイザー)

⇒今回はそれぞれの図面ができていて、それをみて、こっちがいいとかもっとこうした方がいいという意見を言うのかと思っていた。

■検討委員会の任務は8月いっぱいまで終わらさなければならないと思うが。

⇒土地利用計画については9月中旬に市長に答申するが、委員の任期は来年度までである。(阿留多伎委員長)

■ここでこの案で決めてしまうと玉浦西地区には未来永劫、居久根ができないということになる。いま決めなければスケジュールがずれてしまうことと、まだ時間をかけて検討できることを分けて市から教えて欲しい。(石川アドバイザー)

■土地利用検討にあたって考慮すべき事項という資料には用途地域のことが書いてあるが、移転者には会社をやっている人もいる。住宅だけしか入れないのか、会社も入れるのか。誰がどのくらいの大きさの面積で移転するのかということについては、市は個人情報ということで教えてくれない。検討委員には教えてもいいのではないかと。(阿留多伎委員長)

■グループワークで道路をどこにいれたらいいのかということをやれるとは思えない。他の案をみながら一つに合わせていくということではできると思うが、技術的な議論をするのは難しい。(小野田アドバイザー)

⇒岩沼市として検討している図面があるのなら、それを見て協議した方がいいと思う。

⇒図面を見せるとそれぞれの案に縛られてしまうことを市は懸念している。図面をみても短い時間でひとつの案にまとめていけるとみなさんは思いますか。(小野田アドバイザー)

⇒前回、最後にそれぞれの案を元に事務局で整理するということを言ったが、アドバイザーから時期が早すぎるのではないかとこのようにグループワークに変更した。(阿留多伎委員長)

■今度、地区の人で集まるのだけど何を話していいかわからない。何も決まっていなくて同じ。防潮堤などの津波対策も実際にやるのかどうかかわからない。

⇒この委員会は玉浦西地区のまちづくりをどうするかということを議論する場なので、復興計画全体の話は別の場で行った方がいい。(阿留多伎委員長)

■市でいろいろ検討していると認識しているが、面積配分だけでも示してもらえないのか。20haの地区の15%を公益施設用地にということでテーブルに丸型が置いてありますが、この面積が正しいのかよくわからないまま参加しています。(福屋副委員長)

■二野倉の代表として来ているので、菜園を入れて欲しいとか公営住宅を地区の中にとという要望が反映されていないが、今回また、意見としていれてもいいのか。

⇒いま大事なことを言われました。前回、菜園の絵を書いたが、市の基本的な考え方では地区外で検討となっている。このように書かれたものは実現できないものなのか、検討する余地があるのか分

かるように示してもらいたい。

⇒菜園については実現できるような方法をさまざま検討した。可能性としては公園用地に菜園を設けることができるかということだが、共同で野菜を作ってみんなで芋煮会などで食べてしまうことならいいのだが、それだと自宅に持って帰るということにはできない。皆さんがイメージされている、いわゆる市民農園的なものをこのエリアの中に作ることは難しいと考えている。災害公営住宅の集合住宅は地区内に入れるのは難しいので、地区と地区の間に配置してもらいたいと考えていただきたい。戸建ての災害公営住宅は地区の中に入れていくことを考えている。(事務局)

#### 4. グループワークの発表

- ◆TMU班：外周に20mの居久根を配置。中央は歩車分離でクルマは入れないこと。せせらぎ、桜並木、地区ごとのシンボルツリーはいい案なので取り入れた。菜園は入れた。



- ◆ひまわり班：幹線道路を外周に、歩道にも緑を配置。公園と集会所をセットにして2地区に1箇所配置、その中に手押しポンプなど。西側に避難場所ともなる丘を設置。外周に6m道路を設けて遊歩道的な利用も。



- ◆さわやか班：周囲の緑地は花壇。県道沿いは並木。公園の周囲をロータリーにしてスピードを抑制。地区の間の公園に手押しポンプでせせらぎを。歩行者の道を東西に。



## 5. グループワークのまとめ

■災害時の井戸は重要だと思う。

⇒他の班も取り入れているので共通事項になる。(阿留多伎委員長)

■共通している項目を整理する。公園兼調整池は地区の北東側にある。(阿留多伎委員長)

■6地区以外の災害公営住宅は北東側にある。(阿留多伎委員長)

⇒地区の配置は確定ではないということにしている。あくまで仮に置いている。

⇒3班とも同じ位置づけとのことなので、住宅地ということで整理する。(阿留多伎委員長)

■地区の真ん中に緑の空間が取られていることが共通している。集会所とか街区公園などを並べるとどこの地区からも使えるということだと思う。災害公営の集合住宅もその周辺に配置されている。(阿留多伎委員長)

■幹線道路は北側まで回していることが共通している。(阿留多伎委員長)

■生活利便施設を東側に配置しているものが多く、ひまわり班は中央にも配置している。これは今後の設計で検討したもので確認したいと思う。(阿留多伎委員長)

■外周部の緑はあった方がいいのは共通ですが、20mの幅をとる TMU 班、花を植えるようなものがないというさわやか班、5mの法面+外周道路を緑化するというひまわり班ということで分かれている。ここは具体的な設計を元に少し議論をした方がよいと思う。(阿留多伎委員長)

■異なっている点は、恵み野とのつながりの部分で、さわやか班は少し太めのクルマの動線ではないが、他の2班は人の動線ではない。どちらがいいと思うか。(阿留多伎委員長)

⇒これで見ると違うように思えますが、共通しているのは子ども達が安全に歩けるような道路をということである。さわやか班はクルマも通れるけど人が優先している道路という意味合いである。

■その他では、さわやか班は真ん中の公園の回りにロータリーを回しているが、他の2班はクルマを入れない形になっている。どっちがいいか。クルマをどう入れていくかは具体の設計を見て検討することにしたいと思う。(阿留多伎委員長)

■県道側に並木などの緑を設けることは共通している。(阿留多伎委員長)

■今回検討していただいた案をもとに事務局で実現性を踏まえた設計を行ってみる。共通点を踏まえた事務局案を考える。できるだけこれを次回に示してご意見を頂くようにしたいと思う。お示しできない場合は当初の予定通り3班の案をひとつにまとめる作業をしたいと思う。(阿留多伎委員長)

■次回少し長く検討する時間を設けたらという意見も出たが、皆さんお仕事の都合もあるようなので、皆さんのご意見を踏まえ、これまでどおり19時からにしたいと思う。(阿留多伎委員長)

## 6. 閉会

以上

## 第7回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

- 日 時：2012年8月29日（水） 19:00-21:30
- 場 所：岩沼市役所1階 大会議室
- 出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（21名出席）

### アドバイザー

- 石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授
- 小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授
- 三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

- 復興庁宮城復興局 1名、宮城県 2名

### 岩沼市

- 建設部長、都市計画課、復興推進課
- 事務局：復興整備課

### ■資 料：次第

- 資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第6号
- 資料2. 土地利用計画（案）検討用資料
- 資料3. 第6回検討委員会ワークショップ内容
- その他. 第6回検討委員会議事要旨

## 1. 開会

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

・今回はいままでと少し雰囲気の違いワークショップを行います。前回は土地利用のブロックの配置について検討していただいた。また、そろそろ案を出してよという声があった。このブロックプランから設計に進むには大きな階段がある。本来は時間や手間がかかる部分。今回はこの原案を見ていただきいろいろな意見を出してもらい、ガンガン叩くということをやっていただきたい。

## 3. 議事

### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

・事務局より、資料1に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第6号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■この内容をもって、まちづくりニュース第6号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

### (2) 土地利用計画（案）の検討について

・事務局より、資料3をもとに前回のワークショップ成果の整理方法について説明。

・事務局より、資料2をもとに事務局でまとめた原案を説明。あわせて地区界部分整備イメージ、調整池兼用公園の整備イメージを説明。

■公営住宅の集合を希望されている方はどのくらいいるか分かりますか。

⇒全体で公営住宅希望（6地区以外を含む）が約190世帯。そのうち集合（6地区以外を含む）が約80世帯で戸建て（6地区以外を含む）が約110世帯。6地区以外の公営住宅が約80世帯。（事務局）

■調整池について、平成27年度に都市排水路が完成する暫定調整池ということだったが、その後はどうなるのか。この前、地下式はお金がかかるという説明だったが、このくらいの大きさだったら地下式にしてもそんなにお金がかからないのではないか。

⇒一番下の水がたまる部分を二段目のグラウンドと同じ高さまで埋めて利用するという方法もあります。地下式にはしませんがどのような使い方をするのかはこれから検討します。（事務局）

⇒都市排水路ができあがったときにはどのように変わるのか説明してください。

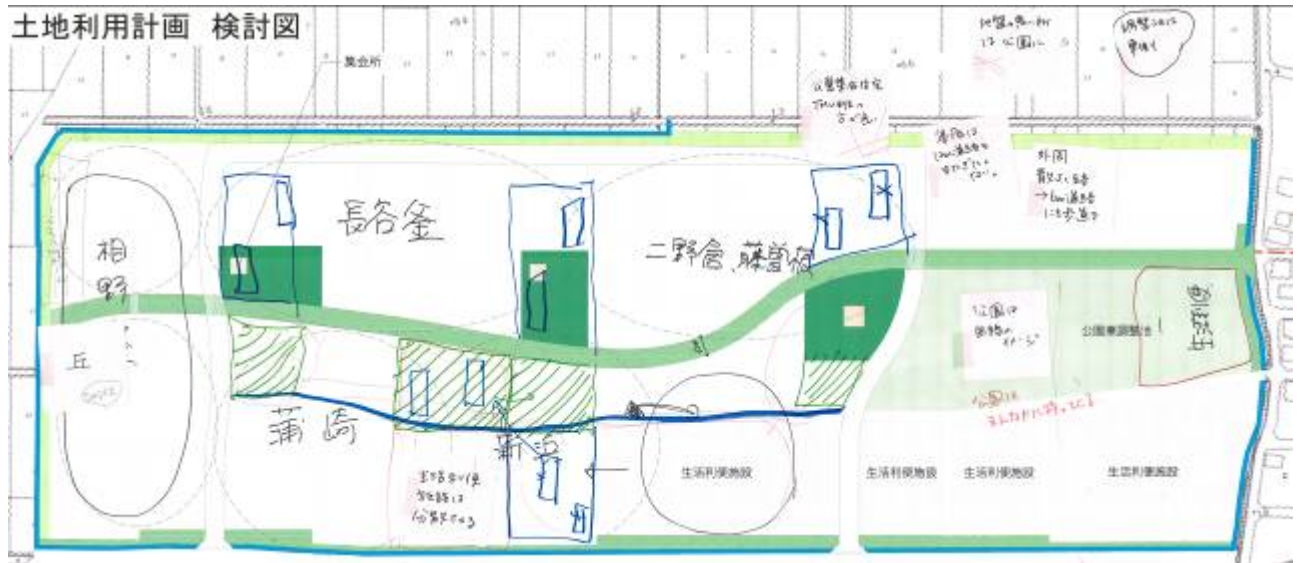
⇒今説明したとおりですが。いろいろな方法がありますが、一番下を埋めて一体的にグラウンドとして利用することが考えられます。（事務局）



#### 4. グループワークの発表

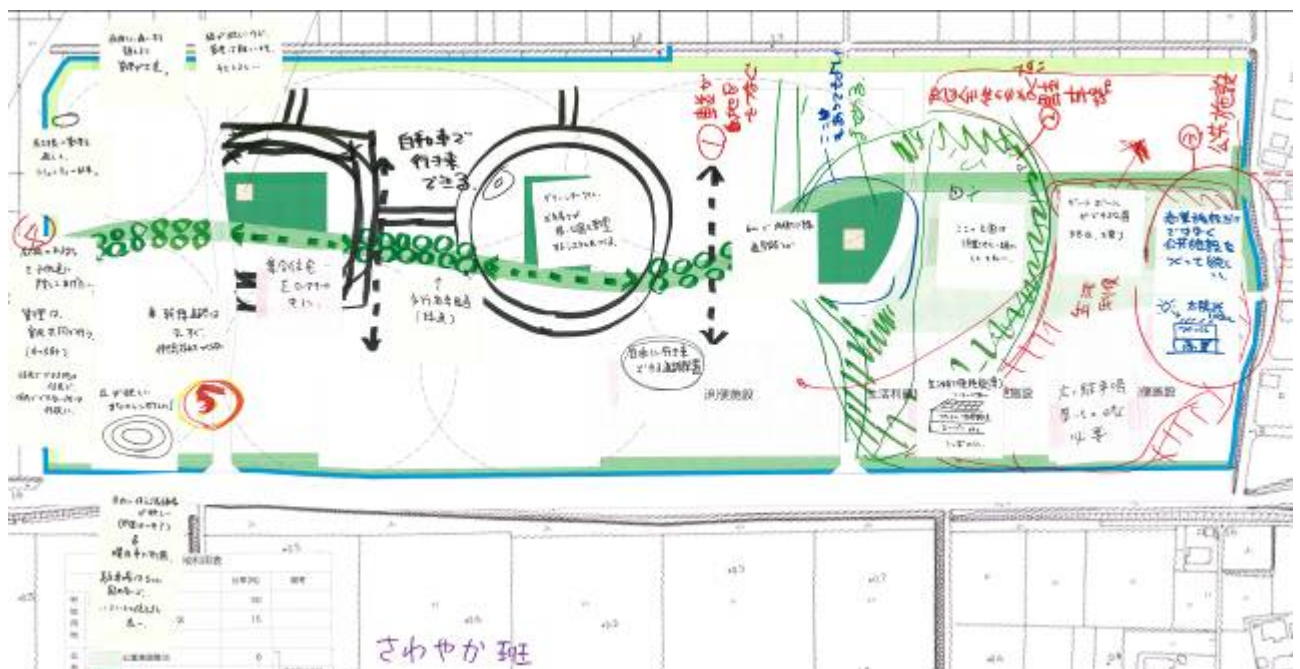
##### ◆ひまわり班：

- ①地区と地区の間に災害公営の集合住宅を配置
- ②生活便利施設を分散（蒲崎と新浜の間にも設置）
- ③調整池は将来的に池の部分が縮小されるので、広場を地区中央側へ
- ④地区のまわりに散策できる道が必要
- ⑤公園は緑道の南側に配置して生活便利施設とのつながりを持たせる
- ⑥西側に丘をつくる



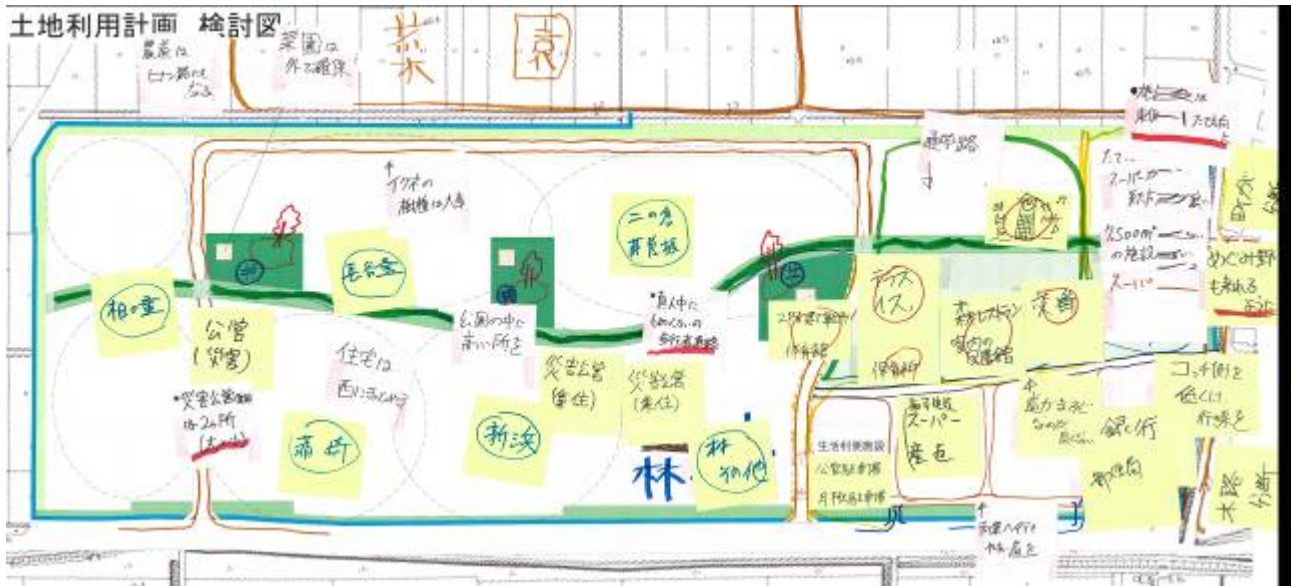
##### ◆さわやか班：

- ①道路路面の居久根は官民協働（官民一体：ここ強調）で管理する
- ②調整池を中央側にまとめて街区公園と合わせて大きな公園にし、広めの駐車場を設置
- ③地区の中央の緑道で南北が分かれているので南北方向のクルマの通り道としてロータリーを入れる
- ④生活便利施設内の施設として、一階は店舗、二階はプールや集会所、備蓄。屋上に太陽光発電を
- ⑤西側に丘をつくり、玉浦西地区のシンボルにする



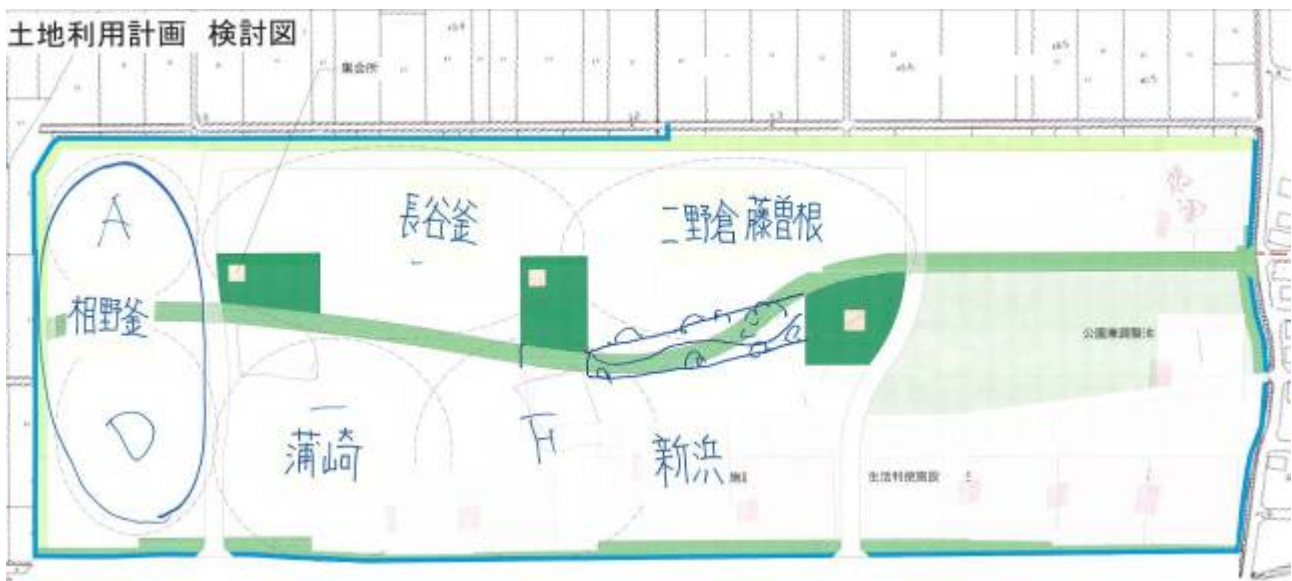
◆TMU班：

- ①生活利便施設は地区の東側を縦方向に配置して、恵み野とのつながりとする
- ②恵み野とのつながりが水路で大きく分断しているので行き来しやすくする
- ③緑道は6mくらいのイメージ
- ④集会所は2階建て、公園兼調整池には大きめのものを配置
- ⑤菜園は地区外の北側に設けてもらいたい
- ⑥集合住宅は2箇所で二野倉・藤曾根の下と相野釜の近くに



◆地区の配置案

地区で話し合ってもらった結果、重なることなく地区の配置が決まったことを事務局から報告。



## 5. グループワークのまとめ

- 調整池は東側というよりは生活利便施設をL字型に延ばして、その内側に配置している点が共通している。その際に街区公園を一体的に含めている案と別々にしている案がある。(阿留多伎委員長)
- 災害公営の集合住宅は街区公園の近くに配置するということが共通している。(阿留多伎委員長)
- 西側に丘をつくりたいという意見が2つの班から出ている。(阿留多伎委員長)
- 意見が食い違っている箇所としては、生活利便施設の配置がある。東側に縦にまとめて配置した案と西側にも分散して配置した案。みなさんのご意見を頂いて考えたい。生活利便施設の配置に合わせて、地区北東側の住宅地を南側に移している案もある。あとはさわやか班で出た緑道をはさんで南北に抜ける道路を何本か作るという案がある。(阿留多伎委員長)
- まずは生活利便施設の配置について考える。東側に縦にまとめて配置した案のTMU班からもう一度説明して下さい。(阿留多伎委員長)
- ⇒東側の恵み野とのつながりは水路があって恵み野側の道路も狭い。玉浦西の地盤が県道より 50cm 高くなると恵み野との段差も出来てくる。そこで、生活利便施設を一体的に配置して恵み野側からも使えるようにしたい。
- ⇒生活利便施設を西側に分散させているひまわり班からも意見を。(阿留多伎委員長)
- ⇒東側に生活利便施設を集めると、西側の相野釜、長谷釜、蒲崎あたりからは遠くなる。あとは街区公園との一体感を持たせることを考えた。
- ⇒それぞれの意見を聞いてどう思いますか。(阿留多伎委員長)
- ⇒相野釜と蒲崎の間に生活利便施設を置くと、近くの人がそこで買い物ができる。若い人は東側の大きなところで買い物ができるというかたちでもいいのでは。
- ⇒東側に縦に置くもうひとつの理由。県道から入りやすくしたほうがいいという意見が出たのだが、道路状況や警察からの問題があり無理だろうということ、また、恵み野側は分断されているということから西側、東側の両側から入れるほうがいいということを考えて。
- ⇒生活利便施設の配置について大規模店舗の場合は幹線道路からの乗り入れを基本とします。県道から入れるのはなかなか難しいと思います。そのため、幹線道路の脇に配置した案にしています。(事務局)
- ⇒まっすぐ東西にあるのではなく、くの字にする方がいいと思う。
- ⇒生活利便施設が何になるかということはあるが、恵み野も一緒に使えるようなものであれば少し北側にあってもいいということで、外から来る大きな施設であれば県道沿いにあったほうがいいということですね。(阿留多伎委員長)
- ⇒事務局から大規模店舗がきた場合という説明ですが、この前話し合った結果としては、まわりにヨークタウンやイオンモールがあるんで、またここに大規模店舗が来ると買い物には便利だけどいろいろな問題も起こる。歩いていける地域密着型の商業施設を3班共通のイメージだったと思います。聞きたいのはどこか出店したいところがあればそこに規制はかけられないのかということなんです。
- ⇒まちづくりの方針を考えたときにはスーパーや個人商店ということでスーパーというものはありえると思います。大規模というのはどうかなのかと思います。(阿留多伎委員長)
- ⇒先ほどは大規模集客施設という話をしましたが、大規模にとらわれず集客施設とお考えください。例えば公民館とか集会所など人が集まる施設を集客施設と言います。そこはクルマや自転車、徒歩などで人が集まる場所ということで、例えばクルマを処理する機能や歩道がつながっているほうが

いいとかということがあるのでこの場所に配置しました。地区をコの字型に通る道路が幅員 12m ですが、これは車道と歩道が分離されているので安全性が高い。そのため、クルマの量や人の量が多くなっても処理できるということです。一方で三軒茶屋地区（恵み野）との境界の道路は現状、幅員 6m の道路です。そのためクルマと人を分離するようにはなっていない。これらを考えるとやはり、歩道のある幹線道路から乗り入れてもらうことを基本としたいと考えます。生活利便施設にどのような施設をもって来るべきかと言うことについてはまちづくりカードとアンケート等で意見を聞きましたのでそれを踏まえて、必要なものを考えていきたい。商業施設として大事なのはまちづくりの方針にもなっているスーパーと小売店舗、地元商店が共存できるようなということが大事で、それがいつまでもずっと営業して欲しいということです。ここで成り立つ商業施設ということも考えていかなければなりません。（事務局）

⇒ここではこの範囲までを生活利便施設にするという結論ではなく、今後土地利用を考えていく中で、施設の内容に合わせて考えていくということです。（阿留多伎委員長）

■林住宅などその他の住宅については、新浜の隣がどうかという案もありましたが、今の考えだとそのまま北東に配置することも考えた方がよさそうですね。（阿留多伎委員長）

⇒私が言いたいのは新しいまちづくりを考えるのなら、恵み野も一体として考えたほうがいい。県道から乗り入れする方がいいに決まっているが、恵み野も防災集団移転の移転地になっているから、道路改良（拡幅）して一体的に考えた方がいい。

⇒恵み野のものとして。そこの部分がどういう形の整備になるのかイメージが湧かなくて、居久根の道路法面のイメージだとかなり分断されるようになってしまった。ここの断面イメージがないので分からない。

⇒ここの水路は蓋をかけられないので、どこの道からでも入れるというようにはならない。（阿留多伎委員長）

⇒林住宅の配置についてさわやか班は一部を南側に持ってきているのでその説明をもう一度。（阿留多伎委員長）

⇒場所を変えた理由は、公園兼調整池を変えて駐車場を設けて、生活利便施設として福祉系を北側にもってくと公園と一体的に使えるということで、そうすると空いた部分の南側に林住宅を持っていったということです。

⇒林住宅の位置については、幹線道路の振り方もあるので事務局で検討して再提案することでもいいですか。（阿留多伎委員長）

■最後に、緑道を車道が跨ぐかたちになっているものですが、北の地区と南の地区をクルマの動線でどうつなぐべきかということで重要な部分です。（阿留多伎委員長）

⇒資料のまちづくりイメージ（さわやか班）を見ていただきたいんですが、他の班では北から南への道路が緑道で途切れています。幹線道路以外にも南北を結ぶ道路を入れたらいいのではと考えました。形はマルでもシカクでもいいと思いますが。

⇒マルとかシカクは別にして南北をつなぐ道路が必要という意見に同意するのか、それ以外の案があるのかということを考えていただきたい。（福屋副委員長）

⇒ひまわりでは当初、その緑道が基準ということで考えましたが、アドバイザーからそれも変えてもいいという話をしてもらいました。そこで街区公園を緑道の南側に持ってくることを考えました。その街区公園をつなぐ東西方向の管理用の道路を設けることにしました。緑道を横断することは考

えていませんでした。

⇒緑道を横断することについては特に意見はないです。

⇒それでは事務局で原案を再提案するときに考えるということにします。(阿留多伎委員長)

■今日の意見については事務局で整理して、できることできないことを検討し、次回の修正案に反映します。(阿留多伎委員長)

■歩いていく道とかクルマで走る道というように生活を想定していましたが、暮らし方、ここで商売したいとか、高齢者が多いとかどんどん具体的に考えていったらいいと思います。生活利便施設についても恵み野の人も使えるようにという事で考えていたのでいいと思いました。(三部アドバイザー)

■かなり議論が盛り上がってきて、粘度があがってきています。生活利便施設もここだけで議論しても限界があり、ここに入るところが具体的にいいのかということ市に打診してもらうなどということを進めていかなければなりません。緑についても管理をどうするか、どれくらい美しくなってみんなが喜ぶのか。私の専門からいうと公営住宅はこの地区の半分以上を占めます。これはかなり特殊な環境で、公営住宅と防災集団移転の建物をどのように混ぜていくのかというのは大きな問題です。かなり混ぜ込んでしまうのか、混ぜ込みすぎると管理が大変になりますし。どういうものだとできるのかということシミュレーションしておかなければなりません。今度は外の条件をチェックしてフィードバックしないと進まなくなります。来月半ばに市長に上げるのは大きな方針なので、その先でかなり難しい議論が必要になります。(小野田アドバイザー)

■今日うれしかったのは6つの集落の配置が重ならず決まったことです。おめでとうございます。どうやって決まるのかと思ってましたので。アンケートで玉浦西地区に欲しい公共施設というのは集会所、商業業務施設、福祉施設などを要望していますが、これについて事務局でどういったものができるのか整理して出さないといけないと思います。居久根とか緑だけは専門家なのでいろいろ資料を出しました。住宅とかいろいろな部分は現実的に検討資料を出していただかないと。今日の資料で出ていたまちづくりイメージの図面を見てハッと思いました。仕事で中国によく行きますが、人口が増加して作った市街地をいまはどんどん壊しています。画一的ということで、いい公園をつくっていい住宅をつくる。イメージは大事でこういうカクカクのまちはどうかと思います。新しくてどこか懐かしいまちを考えてほしいです。これまで去年からやってきた私のワークショップの流れをもう一度確認して欲しいと思います。(石川アドバイザー)

## 6. 閉会

以 上

## 第8回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

- 日 時：2012年9月4日（火） 19:00-21:30
- 場 所：岩沼市役所1階 大会議室
- 出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（18名出席）

### アドバイザー

- 石川 幹子 東京大学大学院工学系研究科教授
- 小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授
- 三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

- 復興庁宮城復興局 2名、宮城県 2名

### 岩沼市

- 建設部長、都市計画課、復興推進課
- 事務局：復興整備課

### ■資 料：次第

- 資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第7号
- 資料2. 土地利用計画（案）検討用資料
- その他. 第7回検討委員会議事要旨

## 1. 開会

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

- ・一日も早く住宅をできるようにと進めている。十分に時間をかけて検討すべき内容だと思うが、スケジュールも考慮しつつ熱い意見を出していただきたい。

## 3. 議事

### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

- ・事務局より、資料1に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第7号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■この内容をもって、まちづくりニュース第7号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

### (2) 土地利用計画（案）の検討について

- ・事務局より、資料2をもとに事務局でまとめた原案を説明。

■二野倉の場所が決まったんですが、砂取りの場所は今の説明だと公園になると、住宅地にはしないということで理解していいですか。

⇒街区公園と公園兼調整池を配置する予定にしています。（事務局）

■丘について、公園の中にという案だと大きなものはできない。高さは5~6mほどを考えていた。地区全体を見渡せるとか、火の見櫓のかわり。イメージとして考えていたのは相野釜の南西側に場所を取って作ること。

⇒高い丘を作ると南側の宅地から視線を気にするなどの苦情が出る可能性があるので、公園の南側で作れないか検討している。6mの高さまで上げるとするとピラミッド状の円錐としても下の部分が直径約40mの円くらいの大きさになってしまう。（事務局）

⇒公園の敷地でその大きさはできるのか。われわれの考えているイメージとは違うということですかね。

⇒相野釜の面積を考えると幹線道路より西側にはそれほどの余裕は取れないと思います。（阿留多伎委員長）

⇒高さを4mとすると、1:2でだらだら登れる勾配なので、8mずつ必要でゆとりを持つと20mの幅があれば、2階よりも高いということであれば4~4.5mの高さ。ということは20~25mの大きさがあれば十分できるということ。例えば中川委員の話だと外周道路を少し曲げてやれなくはないかと。可能性がないとはいえないと思います。技術的には難しい問題ではないと思います。（石川アドバイザー）

⇒シンボルとしての丘だけでなく、避難場所としての考えもあってこの地区には高い場所がない。津波は来ないと思うが、何かあればいいと思って。

⇒今回と同様の津波が来ても5mの津波が来ることは想定しにくい。来ても1mほど。どのような土地利用とするのか。個人の敷地に丘を作るのは難しい。（阿留多伎委員長）

⇒高さのイメージでは5mというのは高い。千年希望の丘として現地につくっているのが3~4mで、

底辺が約 30m。場所はこれからですが、公園のほうが人が集まりやすいと考えた。場所などは提案なのでまだ決まっていない。(事務局)

⇒できるだけ高いものが望ましい。

⇒避難場所とするのなら南西の端ではなく、緑道近くのほうが使いやすい。丘でなく災害公営集合の屋上を使えないものか。

⇒公共施設の屋上を避難場所にという考えは多くの自治体でも考えられている。今回の災害公営集合は平屋を想定しているので、例えば集会所であれば2階建てなどにして避難場所とできる可能性がある。そうすればある程度の備蓄なども合わせてできる。(事務局)

⇒二野倉にあった海浜公園の高台のように公園でも考えてもらいたい。

■菜園について、地区内に設けることは難しいという話で前回は地区外の北側にということ聞いた。その地区外に菜園を設けることができるのか教えて欲しい。

⇒玉浦西地区の外側で考えていますが、農政と調整中です。(事務局)

■外周の居久根について、6m+2mという話があったんですが、この前の図面とイメージは変わらないということですか。

⇒幹線道路の部分については前回の図面と変えていません。東と西と区画道路については道路として6mと歩道として2mの8mを想定しています。(事務局)

■それでは他に意見はないでしょうか。この基本的な骨格についてはおおむねこのような方向でいいということで決めていいでしょうか。(阿留多伎委員長)

★林住宅はこのスペースには入らないと思います。この前と違うのは真ん中に災害公営集合が入っているのでもここについても議論した方がいいと思います。砂取りした場所を知らなかったんですが、公園が幹線道路で分断されてしまうのはもったいない。(石川アドバイザー)

⇒林住宅は道路を含めて入れられるスペースとして考えています。(事務局)

⇒林住宅を広く取らなければならないとなると、遊歩道との関係はどうなるのか。(福屋副委員長)

⇒調整池を下げて必要な面積を確保しなければならない。林住宅を戸当たり何坪とするかによっても変わってくる。(事務局)

⇒林住宅については再度確認して必要な面積を確保するようにしてください。(阿留多伎委員長)

★今日は何を決めなければならない会なのか。全体の構造を決めるということ？細かい配置は実際に設計で貼り付けてみないとわからない。集合住宅を一箇所に固めてしまうとお年寄りばかりになってしまう。管理の問題があるのである程度は集めつつ、防集の住宅とミックスさせるのが普通。(小野田アドバイザー)

⇒今回は大きな骨格については決めておきたいと考えている。ただ、具体的な検討をしていく中で、細かい部分は当然動くので、全体的な構成はこのようなものということで考えていきたい。集合住宅は災害公営戸建てを含めて考えなければならないが、中央の公園の周りに配置していくという考え方で、ワークショップで出てきた意見を踏まえている。(阿留多伎委員長)

⇒われわれのように集合住宅と一般住宅の配置をやっているものから言わせると 1970 年代の団地のように思える。一般のコミュニティとのミックスが必要。管理の面であればそこは工夫でなんとかなる。(小野田アドバイザー)



- ⇒今回はもともと同じコミュニティで暮らしてきた人が住むので全く見ず知らずの人が住むということとは違うと思うし、ワークショップでは地区と地区の間という意見がありました。(阿留多伎委員長)
- ⇒みんなの意見は大切だけど、実際にどのような建物が建つかということがわからないと。われわれはそういうことは知っているので聞いてもらえればと思う。住民の意見を重視するのはわかるし、民主的だとは思いますが、街区設計はプロフェッショナルなものなので。確かに普通の集合住宅ではないことはわかる。ただ、阪神大震災のときの公営住宅もコミュニティの問題が残ったので、慎重に考えていかなければならないことだと思う。決めるということなんで。(小野田アドバイザー)
- ⇒公営住宅は最終的には市営住宅になる。将来的には高齢化に対応してケア付き施設の可能性や用途変更も考えながら進めていかなければならない。様々な可能性を考慮してある程度の規模で敷地を固めておきたいという考え方でこのようにした。(事務局)
- ⇒私は建築の専門ではないが小野田アドバイザーの意見を受け止めていただきたい。集合住宅の問題は深刻な問題で、東京の団地がわっとできたものが今はどうなっているか。低所得者が入ってきて環境が悪くなっている。このように4つの集落をひとつにまとめるというのはワークショップの意見ではないと思います。2つくらいにするのがいいのではないかと思います。(石川アドバイザー)
- ⇒各地区をつなぐように集合住宅をいれていただくのはいいんですが、道路があつてそのなかに押し込むようなものと地区とのつながりが弱くなる。緑道の近くに各地区と行き来できるようにした方がいいと思う。公園の周りをロータリーにした方がいい。
- ⇒いま改めて考えたが、二野倉、藤曾根、長谷釜、新浜、蒲崎の集会所はどこがどれを使う考えか。また、集合住宅はそれぞれ縦に伸ばしてみたらどうか。相野釜が集会所に行くには集合住宅の中を通らないといけないように見えるがどうなのか。あと集会所が足りないと感じた。
- ⇒集会所は公園に隣接して考えているが場所はまだ未定です。(事務局)
- ⇒例えば真ん中の集会所はどこが使うものか。蒲崎と新浜は集合住宅の中を通らないと集会所にいけないというのはどうかと思います。
- ⇒集会所はどここの地区が使うと決めるのがいいのか、別の意見で大きな集会所を作ってみんなで使うということもあるので、今後考えていかなければならない。皆さんで使いやすい集会所を考えていきます。(事務局)
- ⇒集合住宅については真ん中にこんなに大きく固めるというイメージではなかったということなので区画道路を考えながら固まりについても見直します。この部分については、今日は確定しません。そのほかの部分の基本的な考えは決めたいと考えています。(阿留多伎委員長)

★砂取りの場所が西側ということだが公園が幹線道路で二つに分かれてしまう。いかにももったいない。(石川アドバイザー)

- ⇒砂取りの場所はだいぶ深く掘って砂を取っているとのことなので、建物を建てない土地利用にする方針として、街区公園と公園兼調整池を配置しています。二つの公園は幹線道路で分かれています。機能が違う公園と見えないですか。二野倉の子供が公園に行くのに幹線道路渡らなければならぬのは合理的ではないと思います。(阿留多伎委員長)

■公園と集会所を合わせるの賛成。長谷釜と二野倉の集合住宅は上に持ってくるのか、蒲崎と新浜

の集合住宅は下のほうに持っていくとかというのはどうだろうか。

⇒集合住宅の位置はこれまでの意見を踏まえて再度見直します。(阿留多伎委員長)

■公園の中にせせらぎをという意見を出していたがそれは作るのか。

⇒公園の中でせせらぎを考えています。今後みなさんと考えたいと思います。(阿留多伎委員長)

■幹線道路や骨格については下水排水の設計に欠かせないので、スケジュールを考えると骨格などについては決めていきたいと思います。(阿留多伎委員長)

■蒲崎と新浜の地区界はデコボコにならないようにできないのか。

⇒集合住宅の位置を考える中で変わってきますし、区画道路を考えるなかで変わります。(阿留多伎委員長)

■決めることについての確認ですが、幹線道路の位置、生活利便施設の配置、公園兼調整池の配置、街区公園と遊歩道の形状を決めるということですか。これを決めてしまうと面積のコントロールが難しいと思いますが。(福屋副委員長)

⇒街区公園と遊歩道は形状ではなく配置です。それぞれの地区に必要な面積を配置してこの位置が決まってくるので、今後必要な面積が動けばそれにあわせてこの位置も動かして調整します。それぞれの地区の面積が優先です。(阿留多伎委員長)

★恵み野とのつながりはどのようなになるのか。水路があったと思うが。生活利便施設を細長く配置しているが、面積などで用途が限られていると思う。(石川アドバイザー)

⇒水路については災害復旧として現状のかたちで復旧することを聞いています。ただ好ましくないので改修方法についてもこれから協議していきます。生活利便施設は西側にも必要という意見を受けて配置しました。これまで商売しているかたも居るので、個人商店などが考えられます。(事務局)

■集合住宅を除いておおむねの配置はこれで決めるということでしょうか。(阿留多伎委員長)

⇒ワークショップの意見として緑道を貞山堀のかたちというのは聞いてないが、かたちを決めてしまっているのか。(小野田アドバイザー)

⇒貞山堀というのはどういうものになるのか。

⇒4mの遊歩道として緑道を整備します。全体の幅は8mなのでその間を植栽するというかたちです。街区公園と緑道の配置を考えたときに、6地区ごとのシンボルという議論はあったが、6地区全体でのシンボルを持ってきたほうがいいのではという考えから、貞山堀で遊んだという話を思い出して当てはめてみたら、それほど変ではなかった。(阿留多伎委員長)

⇒緑道は通路として必要。そのかたちを貞山堀として見立てたということなのでいいと思う。

⇒こういうのはむかしに流行った。1980年代とか。形を持ってきてというもの。いまはほとんどやらない。なぜか、ニセモノだから。だったら水と松があってという要素を持ってくればいい。石川アドバイザーはランドスケープの専門なんで、予算を守って管理しやすいものということで緑道を考えてもらったらいいのではないかと。(小野田アドバイザー)

⇒ぱっとイメージが湧かない。アドバイザーから具体的にこのようにしたらいいのではないかとということを教えてもらおうと分かりやすい。

⇒貞山堀についてはまあ、いいんじゃないのという程度ということですね。必ずここに残したいというような強い考えでないことを確認しました。(阿留多伎委員長)

⇒なにかいいアイデアがあれば変えてもかまわない。

⇒石川アドバイザーの意見を入れて欲しい。

⇒いろいろなイメージをご提案できます。あと、県道沿いの緑地は蒲崎、新浜のところはなくしたんですか。(石川アドバイザー)

⇒水路のようにみえますが県道沿いの緑地として2mを確保しています。水路は地区外です。(阿留多伎委員長)

■すべてがこれで決まりだということではなく、変更も可能ということであればいいと思います。

⇒大きな変更はスケジュール的に難しいと思いますが、地区内の配置などはこれからも変わっていきますので、変更可能と考えてください。(阿留多伎委員長)

⇒大きな変更とはどんなもののかよくわからない。

⇒幹線道路を10mずらすとか、公園兼調整池の位置を真ん中にしようとか、街区公園を北側にもっていくとかという配置構成を変えてしまう大きな変更です。(阿留多伎委員長)

■地盤の改良として杭を打つが、砂取りの場所にも杭を打つんですね。杭を打ったところは木が育たないんじゃないか。庭を作るにしてもすぐ下が砂利だとくまなくないんじゃないか。

■おおまかな骨格については集合住宅を除いておおむねこの方向で修正はありということでもいいでしょうか。(阿留多伎委員長)

■敷地が小さいところはお客さんが来たときに駐車場が必要。また、月極駐車場が欲しい人もいます。各地区に駐車場は確保できるのか。

⇒有料駐車場は難しい。公園や集会所の駐車場という位置づけを使えないか検討しています。(事務局)

⇒図面のスケール感がわからないが、集会所の規模はどのくらいなのか。

⇒ひとつあたり400㎡程度の面積を想定しています。建物の規模や階数などはこれからみなさんと検討していきますのでまだ決まっていません。(事務局)

■自分たちがこれでいいですと決めてしまうのが、だんだん恐なくなってきました。そこに住んだときに自分たちが決めたことでそうなったという責任が。速さと両方やらなければならないので。この図面だと真ん中に違和感があった。さわやか班では南北の道路はあったほうがいいということで、ロータリー形式というのを提案しました。ロータリーのイメージはクルマがまわる。まっすぐ行けないがどっちにも行けるといふもの。委員長からは集合住宅の配置は再検討といわれたので、ロータリーの大きさも合わせて検討しなおしていただきたい。

⇒区画道路を入れてみて原案を作って決めていただくということでもいいですか。(阿留多伎委員長)

■スケジュールについて、当初、本日は予備日で、来週市長に報告ということでした。今回土地利用のある程度の方針について決めていただき、来週報告書について協議していただいて、その翌週に市長に報告できればと思っていました。検討する時間が足りないと思いますが、今後のスケジュールを考えると9/19には市長報告までこぎつけたい。これが限界と考えています。来週、修正した街区道路を入れた土地利用計画図と報告書を合わせて決めていただいて、9/19に市長報告していきたい。前回骨格について意見を出してもらいましたが、その意見を反映した今回の案について了解していただけるのかどうかというところです。この図面に区画道路を入れた図面も準備しています。これを見ていただいてもう少し具体的なイメージをもってもらい議論してもらおうということはどうでしょうか。(事務局)

⇒集合住宅はもとのままなので、そこに議論が集中してしまうようであれば見てもらわないほうがいいのかと思います。いかがですか。(阿留多伎委員長)

■集合住宅の中にロータリーは作れないのか。

■敷地の大きさや街区割りについてみてもらうことで図面を配ります。簡単に内容について説明していただいて、不明点について質疑を受けて今日は終わりとしたと思います。(阿留多伎委員長)

■区画道路を入れるとこの間隔で、例えば100坪はこのくらいの大きさということでスケール感を見ていただきたい。集合住宅は見直します。区画道路の配置は今回の決定事項ではありません。あくまでも参考です。(阿留多伎委員長)

★それぞれの集落を大事にしたいという意見を聞いているので、この案には心がまだ入っていない。街区が行儀よく並んでいる。これがいいのか、よく考えて欲しい。みなさんの意見を踏まえて私も案を書いてきました。(石川アドバイザー)

■今回はそれぞれの地区がこのくらいのバランスで入りそうだということを見ていただいて、集合住宅の配置などは次回までに再検討します。(阿留多伎委員長)

★テーブルワークではなくみんなでひとつの議論をしていてよかったと思う。決められる部分と課題として残った部分をメモとしてだして頂きたい。あと、地区ごとに必要な戸数は何戸という規模を表す資料も出していただいたほうがいい。道路の断面図もあるとイメージしやすい。集会所も2階建てだったらそのイメージを。標準的なイメージや写真があると理解が深まる。次回に向けて考えて欲しいのは7つの方針がどのように反映されているのかということ。見直しも必要かと思う。(三部アドバイザー)

★かなりしっかり検討されているのでいいですが、みなさんが思っているイメージと実際のものとの違いについても考えていかないと。ワークショップ意見として地区のシンボルがあってというのはすごい大事なことだと思ったので、取り入れてもらえるようにしたらどうか。(小野田アドバイザー)

★来週は所用があつてこれません。長谷釜はイチョウとか、相野釜はどんぐりとかいろいろイメージがあつたのでぜひ取り入れて欲しい。私の考えてきた案を見せます。骨格はこの案と同じです。前回の案を忠実にたどったので勝手なことはしていません。それぞれのシンボルツリーを配置する場所をつくっています。街区を考えるとときには活かしてほしい。全部計算して入れているのでゆとりがあります。(石川アドバイザー)

■今もらった案だと、街区が南北に長くなっていて、60坪の敷地は南側の家と近いように思う。できれば東西に長くして家の後ろ(北側)と前(南側)に道路を入れてみて入るか検討して頂きたい。

■南側に家があると日影になるのももう少し考えてもらいたい。道路でなくても歩道でも入れてもらえるといいかと思う。

■公園兼調整池が大きいように思う。その面積をうまく使うことはできないか。(福屋副委員長)

- 石川アドバイザーの案は真ん中の緑道は歩車分離ということでTMU班の意見と同じだと思う。
- ⇒そのとおりで歩車分離することで南北はクルマの道路ではつないでいません。ロータリーは地区の中にいれています。(石川アドバイザー)
- ⇒ロータリーは南と北の行き来ということも言われていたのでどちらがいいのか悩んでいた。
- ⇒立派な幹線道路があるのでつながなくてもいいと思う。(石川アドバイザー)
- ⇒どちらにもいいところがあって、利便性を求めると南北の行き来は必要だし、子ども達の安全を考えると跨がせない方がいい。最終的な判断は皆さんと議論していきたい。(阿留多伎委員長)
- この図でスケール感を見ていただいたので、次回は集合住宅を再検討した案を見て、骨格について決めていただきたいと思います。(阿留多伎委員長)

## 6. 閉会

以 上

## 第9回玉浦西地区まちづくり検討委員会 議事要旨

■日 時：2012年9月12日（水） 19:00-20:40

■場 所：岩沼市役所1階 大会議室

■出席者：玉浦西地区まちづくり検討委員（20名出席）

### アドバイザー

小野田 泰明 東北大学大学院工学研究科教授

三部 佳英 財団法人宮城県建築住宅センター理事長

### オブザーバー

復興庁宮城復興局 1名、宮城県 3名

### 岩沼市

建設部長、都市計画課、復興推進課

事務局：復興整備課

■資 料：次第

資料1. 玉浦西地区まちづくりニュース 第8号

資料2. 玉浦西地区 土地利用計画（案）

資料3. 玉浦西地区まちづくり検討委員会 報告書（案）

その他. 第8回検討委員会議事概要

## 1. 開会

## 2. あいさつ（阿留多伎委員長）

・今日は副委員長と石川アドバイザーが所用でお休みですが、いつものように熱い議論をお願いしたい。いつもは副委員長に軌道修正してもらっているが、できるだけ多くの方の意見が出るようにご協力をお願いしたい。

## 3. 議事

### (1) 玉浦西地区まちづくりニュースについて

・事務局より、資料1に示す「玉浦西地区まちづくりニュース 第8号」の内容について説明。

■まちづくりニュースについて、ご意見、ご質問はあるか？（阿留多伎委員長）

⇒特になし。

■この内容をもって、まちづくりニュース第8号としてよろしいか？（阿留多伎委員長）

⇒了解（一同）

### (2) 土地利用計画（案）の検討について

・事務局より、資料2をもとに修正案を説明。模型を見ながらフリートーク。

■図面だけでなくスケールが分かるように建物を入れた模型を作りましたので、前に出てきてもらってそこで説明します。（阿留多伎委員長）

■この模型を見ると東向きの家もあれば南向きの家もあるということですね。

⇒屋根のことですね。これはイメージとして少し変化をつけてみたということですので大きさを確認してください。建物の向きはお住まいになる皆さんが決めていくものです。（阿留多伎委員長）

■建物の件数は合っていますか。

⇒これは移転される方の戸数におおむね合わせて建てています。（阿留多伎委員長）

■ここ（北側の幅広い街区）の土地利用はどうなっているのですか。

⇒150坪などの大区画を望んでいる方のために大きな街区として設定しました。（事務局）

■戸建て公営住宅の配置はもっと緑道に寄せた方がいいという考え方もあるがどう思いますか。シンボルの配置についてももっと地区内に入れたらという考え方もあります。（阿留多伎委員長）

■集会所は二階建てですか。

⇒中央の集会所は大きめのものが欲しいという意見がありましたので、今日は二階建てのイメージで作っていますが、今後、どのような機能の集会所が必要かということを検討する中で階数も含めて考えていくこととなります。（阿留多伎委員長）

■たて街区にすると南に面する所が少ないと思うが、よこ街区にはできないですか。

⇒よこ街区にすると北から入る家（北玄関）がどうしてもできてしまいます。すべてを南入りにはできません。北側がはずれ区画のようになってしまいます。そう考えるとたて街区のほうが日照などの条件は平等になるので、たて街区を中心とした案にしています。実は宅地分譲をすると北側の区画がいいという方が一割くらいいます。北側を玄関にすると南側をすべて部屋にできるからです。ただ、南側に玄関がある住まいに慣れている方には北側玄関は暗くてイヤだと思う方が多い。どちらもメリットデメリットがあります。できるだけ皆さんの希望に沿えるような街区割をしたいと思

いますが、今回の場合、北入りを増やすとそこが埋まらない可能性が高いと考えられることからこのような街区としています。(阿留多伎委員長)

■この前もいいましたが、よこ街区にして北側と南側の両方に道路を通すことはできないか。

⇒ひとつの宅地ごとに道路を入れることになるのでかなり道路率が高くなり、面積的にも大変厳しい。

皆さんの宅地を少し削ってもいいから道路を入れたいということであればできる可能性はありますが、道路が多いまちになってしまいます。北側玄関でも4m以上の道路に2m接していれば建築基準法上は建物が建てられるので道路としてはそれで足りているということになり、過剰な道路と言われかねない。(阿留多伎委員長)

■道路が斜めになっているけどまっすぐにはできないのかね。

⇒公団での経験から道路は30度くらいまでの角度であれば苦情は出ない。これは10度くらいまでしか曲がっていないので、住んでみるとほとんど気にならないと思います。上から見ているのでそのように感じると思いますが、横から見るとまたイメージは変わります。(阿留多伎委員長)

⇒それぞれの地区から中央の緑道に人が集まれるような設計になっている。家を出て横を見ると緑道が見える。緑道を使ってもらえるようになっている。(小野田アドバイザー)

■周りの緑は法面だが、コンクリート(擁壁)とかで固めることはできないか。

⇒道路法面ということで6mの緑地を確保しているので、コンクリート(擁壁)にするとそのスペースは取れなくなって道路を端まで持ってくるようになります。(阿留多伎委員長)

■戸建て公営はもっと余裕を持って作れないか。

⇒戸建て公営なので分譲ではない。エリアの中でミニ広場を取るとか自由な設計が可能です。(阿留多伎委員長)

■街区の間にフットパス(緑道)があってそこを使って近道できるようになっている。(小野田アドバイザー)

⇒区画道路を入れようとするすると6mの幅が必要だが、2mの緑道なら3本取れることになる。全体の面積としてそれほど影響はない。(阿留多伎委員長)

⇒2mの緑道をところどころに入れると開放感とかゆとりができると思う。

■さっきの説明で、戸建て公営は今後、市営住宅となって地区外の人が入ってくることになるんですよ。

⇒戸建て公営は先に建築することになるので、緑道近くにあるとキレイな街並みが先に出来上がっていい街のイメージにつながる。(阿留多伎委員長)

■前回、石川アドバイザーが林住宅はこの面積では入らないと言っていましたがどうなんですか。

⇒公営住宅の基準から見ると満たしている。6地区の災害公営住宅から見ると少し狭い。(阿留多伎委員長)

⇒6地区はよくなっているが、地区全体としては林住宅だけ狭いというのがいいのかどうか。(小野田アドバイザー)

⇒林住宅の人の話を聞くと6地区の中には入れない、入りにくいと言っています。

⇒配置はここがいいと思うが、狭いところで将来、高齢者が多くなった時にそこで何をしているのかが見えにくくなってしまわないかと思う。敷地を南にひろげるとか、せっかく南側に公園兼調整池があるのでそこをつなげるようにしないと。(小野田アドバイザー)

⇒公園兼調整池は調整池としての必要面積があるので、これ以上狭くするのは難しい。(阿留多伎委員長)



員長)

⇒公営住宅は敷地内での設計となるから通路の取り方など自由度がかなりある。宅地内通路なので自由に配置できる。(事務局)

■集合住宅はこんなに詰めて建てるの。平屋ですか。

⇒まだ決まっていませんが平屋を中心に考えています。(阿留多伎委員長)

⇒おそらく面積を考えて必要戸数を入れると一部は二階建てになるのではないかと。(小野田アドバイザー)

■面積を減らすとすれば生活利便施設のところがよな。

■地区ごとのシンボルって必要か。これまでのワークショップでは何かないかと言われてとりあえず蒲崎はケヤキだといったけど、地区のみんなには聞いてない。

⇒玉浦西地区全体のシンボルとして丘をつくったらいいのではないかと。避難目的ではなくてシンボル。⇒じゃあ、地区のシンボルのところに標識でも立てたらどうか。

⇒貞山運河の護岸の石を少し持ってきてシンボルにするとかということも考えられる。(事務局)

⇒地区でお金を出し合って小さくていいので石碑とかを作って置くとか。石が一番いつまでももつ。(阿留多伎委員長)

⇒新しいものをわざわざ作らなくても、元々あったものを持ってくるのでいいのでは。(小野田アドバイザー)

⇒シンボルの位置はどうですか。(阿留多伎委員長)

⇒人が集まるのは公園とか集会所だから、この真ん中の二階建ての集会所の近くとか。

⇒公園の名前にシンボルをいれたらいい。

■緑は全部、市で管理してくれると思って多くしたが。

■官民協働の手法を検討している。(事務局)

■県道が渋滞した時に迂回路として使われる可能性がある。

■公園兼調整池の歩道を南側にもつけられないか。北側は中学校に行くにはいいが、小学校は県道よりも南側なのでまっすぐ歩いて行きたいと思う。

⇒公園内なので特に問題ない。どこでも通れると思う。(阿留多伎委員長)

■丘の高さと必要となる広さを模型にした。5mの高さを確保しようとするとかかなり広く取る必要がある。勾配は歩いて登れるとなると1:4くらい。(阿留多伎委員長)

⇒公園兼調整池に3mくらいの丘を作って、街区公園はレクリエーション用に広く取っておいた方がいい。

⇒3mでもけっこうな高さがありますよね。

⇒3mだと住宅の一階の天井よりも高いくらい。このくらいだと見通しもよくなる。(阿留多伎委員長)

■公園兼調整池に駐車場は取れるのか。

⇒公園管理用の駐車スペースはできるが広いものは難しい。(阿留多伎委員長)

⇒戸建て公営の人は駐車スペースがなくてどこかに停めなければならなくなる。

⇒災害公営住宅は一軒あたりの面積が60㎡~80㎡です。60坪の敷地に20坪の建物ができても40坪は空いています。そこを上手に使って配置することでクルマは置けると思います。(事務局)

⇒これまでと同じ広さでないから、なんでも同じようにというのは難しい。

■各地区からの避難シミュレーションというか、何分くらいで逃げられるかということは考えられて

いますか。

⇒幹線道路に抜けるということで考えると一番遠くても100mほどしか距離はありません。縦が約250m、横が約750mなので思ったほど距離はない。どこを避難所にするのかをまず考えなければなりません。岩沼市の他の地区よりは確実に集会所が近いです。(事務局)

⇒この地区なので特に他の地区よりは避難を考えたものにしないと。

⇒津波シミュレーション結果だと、今回と同じ規模の津波ではまったく浸水しない結果が出ている。ただ、満潮時にきた場合などを考慮しなければならない。(阿留多伎委員長)

⇒防災計画を見直しているはずで、最悪のパターンとしては満潮時でかつ破堤した場合のものを考えている。通常の津波避難タワーは400~500mで一箇所となるので、この地区であれば2箇所あれば足りる。集会所だけでなく生活利便施設の屋上を想定することもできる。(小野田アドバイザー)

■居久根って必要ありますか。管理が大変じゃないかと思って。だったら駐車場とかにできないかと。⇒そうそう、管理ができないのではないかと。

⇒外側にずっとあるから大変。

⇒地区のまんなかにも緑がいっぱいあるし。

⇒居久根は風除けの効果がある。

⇒いま、現実に二野倉とかも木を切ってブロック塀にしたりしている。

⇒この地区は周りが田んぼでさえぎるものがないから北風が強いと思う。

⇒この辺、アドバイザーから、まちづくりをしてきている目でみて、地区に住む人の人口とか年齢構成とかを考えて将来を含めてどうしたらいいかアドバイスして欲しい。

⇒道路に法面をつけて道路の街路樹として官民一体管理だけど、どちらかというとながが主体の管理になるのかと。コンクリート(擁壁)も永遠ではないので、50年位するとだめになるから、法面にしておいた方がいいと思う。(小野田アドバイザー)

⇒うちにもケヤキが2本残っていて、秋から冬にかけての落ち葉がひどかった。

⇒管理しやすい木にしたらいいいのでは。

⇒樹種を考えたらいいね。落ち葉が少ないもの。

⇒木がないところを想像してみてもいい。

⇒先の話ですけど、居久根の周辺に住む人の意見も聞きながら、樹種とか管理方法とかも皆さんと考えていければと思います。(事務局)

⇒緑は大切に、騒音公害などいろいろな効果がある。要らなければ低く切ればいいし、管理をすればいい。そのために行政がある。

■長谷釜の歩行者専用道路を自動車も通れる道路にできないか。

⇒そうなると十字交差ができてしまう。十字交差は交通安全上問題になるので、T字交差となるよう区画道路を配置しています。(阿留多伎委員長)

■みなさんからご意見いただきたい部分はだいたい聞けたかと思います。街区については、たて街区はやめないで緑道を何本か通して抜けられる場所を取る。戸建て公営の場所は今の位置でいいだろう。シンボルについて、場所は今のところに確保するが地区で考えてどう使うか決めてもらう。丘は公園兼調整池に作って新しいシンボルにする。(阿留多伎委員長)

⇒だいたい意見はいただいたと思いますのでテーブルに戻ってください。(阿留多伎委員長)

■再確認します。林住宅の南側の道路は、公営住宅の敷地の中で配置を検討する。戸建て公営の場所は今のままでよい。シンボルの位置は今のままにするが、何を置くかなど使い方は地区で考えてもらう。丘については公園兼調整池に地区のシンボルとなるものを作る。2mのフットパス（緑道）を近道できるようにたて街区にのせる。ほかに漏れているところはないですか。（阿留多伎委員長）

■フットパスの追加はありますが、おおむねの土地利用については了解いただいたということで次の設計に入っていくことにします。来週、フットパスを追加した土地利用計画図を市長に報告したいと思います。ありがとうございます。（阿留多伎委員長）

⇒今日の案を地区に持って行って話をしたい。それから決めるというのではダメですか。

⇒スケジュールとしては9/19に市長報告したいと思います。（阿留多伎委員長）

⇒スケジュールは委員長のとおりで。地区に報告して協議していただくことは結構だと思います。

また、報告書ができた段階で地区に説明する段取りを考えています。（事務局）

⇒報告書については委員会としての報告になりますのでご理解ください。（事務局）

★二点ほど確認。報告書 17 ページに 7 つのまちづくりの方針があります。土地利用計画に表せるところはできていますが、自然エネルギーをどのように実現していくのか考えていかなければならないと思います。22 ページに幹線道路の考え方が出ていて、北側西側に季節風をさえぎる高い植樹を設けることと、地区内を通過交通が通らないようにするという、これらは了解しますが、15mの幹線道路があって歩道が 3.5mで宅地は南側から入る。北側から出入りしないと並木道がもったいない。人通りが少ない。実施レベルに向けて使い方にあわせた幅員構成を考えた方がいいと思います。シンボルなどは地区に持ち帰って考えるということで、使いやすいものになっているのか確認する必要があります。そこで近いところでは七が浜の汐見台、泉のパークタウン、伊達市諏訪野のボンエルフなどを見てイメージを持って考えて欲しい。地区で模型などを見て議論を深めていただきたい。（三部アドバイザー）

★皆さんの努力ですごく良くなったと思います。地区に戻っていろいろな意見を聞いてきてください。これをどんどん磨いていってください。公営住宅はうまく散らしてもらえたので良かったと思います。林は代表者がきていないということとまとまりの問題がありますが、今後考えていかなければならないと思います。いまは上から見ていますが、実際にそのまちでどう動くかイメージを考えて欲しい。例えば、三部さんも言いましたが、北側の幹線道路がどのように使われるのか、あと、たて街区の道路がぶつかる場所は実は重要なのでどのようにしていくのか。2mの緑道が通ったらどうなるか。シンボルは管理の問題もあるが、地区で考えてもらって宅地には難しいが集合公営の敷地なら実現できる。木でなくてもいいので神社の由緒ある石とか、慶長の津波でやられたときに新しい塩田を起こしたところから地区名に釜とつくところが多いとか。みなさんにとっては当たり前かもしれませんが、次の世代につないでいくきっかけになるものになるかと。地区の意見でいらないとなれば置かなくてもいいです。あと、大きいスーパーと小さい商店を分けています。西側の部分を維持していけるかどうか。公園に近い方がいいかもしれません。みなさんでどんどん磨いていっていただきたい。（小野田アドバイザー）

■いろいろアドバイスを頂きました。ありがとうございます。これで土地利用計画（案）の検討は締

めて次に進みます。(阿留多伎委員長)

### (3) 市長への報告書(案)の検討について

・事務局より、資料3をもとに報告書案を説明。

■何か確認とか、修正など気づいたところがありますか。(阿留多伎委員長)

⇒読んでいただいて気づいた点があれば事務局に一報ください。報告書案はこの内容で市長に報告することによってよろしいでしょうか。(阿留多伎委員長)

⇒了解(一同)

⇒事務局内で技術的な面から修正が発生する可能性があります、その時は委員長と副委員長にまかせていただくということをご了承ください。(阿留多伎委員長)

⇒了解(一同)

★これまで議論してきた委員に敬意を表したい。かなりまとまってきて、次のステージに進んできていると実感します。街区について南側に家があると日影ができるのですが、互い違いに家を建てて工夫している事例もあります。そのためには地区ごとに建築協定を定めることでできます。まちづくり方針の7つを実現できるように考えていって欲しいです。この委員会ではないかと思いますが、災害公営住宅についてまちづくりの方針に合ったものを考えていく必要があります。他の住宅についても材料や手間賃が既に上がってきていますので、早い段階で動いていけるように共通する部分をまとめて発注してということが出来るといいのですが。われわれのセンターでも協議していますので参考にして下さい。(三部アドバイザー)

★これはまだ、街区を決めただけなので、これからみなさんでどのような家を建てていくのか考えていかなければなりません。ここまでのいいスタートが切れたと思いますので、地区や家族で話し合っどどのようにいいまちをつくっていくのか、努力を重ねていって、われわれも応援していきたいと思います。(小野田アドバイザー)

■次回は意見を踏まえて修正した案を市長に報告します。(阿留多伎委員長)

## 6. 閉会

以 上

# 玉浦西地区まちづくりニュース 第1号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## 玉浦西地区まちづくり検討委員会がスタート!!

東日本大震災に伴う集団移転先である玉浦西地区のまちづくりについて、総合的に検討するため、『玉浦西地区まちづくり検討委員会』が設立され、6月11日(月)に市役所大会議室で第1回会議が開催されました。

まちづくり検討委員会は、学識経験者2名、各地区代表者18名(6地区×3名)、玉浦西地区の周辺地区市民3名の計23名で構成され、アドバイザー3名を含めたメンバーで進めてまいります。

第1回会議では、委員からの互選により、阿留多伎<sup>あるたき</sup>真人委員が委員長に、福屋粧子委員が副委員長に選任されました。

検討委員会では、これから来年度末にかけて、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまなことについて検討してまいります。まずは8月末を目途に、まちのコンセプト、6地区の配置方針や道路・公園等主要な公共施設の配置方針(ゾーニング)などについて検討していきます。



### ●● 玉浦西地区まちづくり検討委員会メンバー ●●

#### ■委員(23名)

(敬称略)

| 区分          | 氏名      | 所属       | 区分          | 氏名         | 所属     |
|-------------|---------|----------|-------------|------------|--------|
| 学識経験者       | 阿留多伎 真人 | 尚絅学院大学教授 | 集団移転対象地区の市民 | 菊地 幸一      | 長谷釜地区  |
|             | 福屋 粧子   | 東北工業大学講師 |             | 斎藤 洋子      |        |
| 集団移転対象地区の市民 | 中川 勝義   | 相野釜地区    |             | 菊地 善信      |        |
|             | 桜井 よしみ  |          |             | 菅原 栄一      |        |
|             | 穴戸 誠    | 藤曾根地区    |             | 浅野 公子      |        |
|             | 佐藤 勲    |          |             | 森 功        | 新浜地区   |
|             | 佐藤 清子   |          |             | 菅原 一天      |        |
|             | 佐藤 武志   | 二野倉地区    |             | 菅原 真奈美     |        |
|             | 菊地 久義   |          |             | 佐藤 克己      |        |
|             | 小林 昌代   |          |             | 周辺地区移転先の市民 | 伊藤 喜美雄 |
| 菊地 康志       | 加藤 敬三   |          |             |            |        |
|             | 熊谷 慶一   |          |             |            |        |

#### ■アドバイザー(3名)

- 石川 幹子 東京大学大学院 教授 (岩沼市復興会議議長)
- 小野田 泰明 東北大学大学院 建築・社会環境工学科学科長
- 三部 佳英 (財)宮城県建築住宅センター 理事長

お問い合わせ先: 岩沼市建設部復興整備課 電話: 22-1111 内線 425

## 玉浦西地区まちづくりニュース 第2号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

### まちづくりのヒントやポイントを確認

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第2回会議が6月27日（水）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、本委員会のアドバイザーである3名の方から、これからのまちづくりを検討していく上でヒントとなる点や留意すべきポイントなどについて講話をいただきました。

石川アドバイザーからは、『「愛と希望の復興」の速やかな実現に向けて』と題して、これまで先生が岩沼市で行われてきた玉浦西地区のワークショップの内容についてご説明いただくとともに、移転先住宅団地に設置される「防災調整池」について、先生がこれまで携わってきた実例等を紹介されながら、緑化や景観等の重要性についてお話いただきました。



小野田アドバイザーからは、『復興という作業と建築家の役割』と題して、先生のグループがこれまでに携わってきた釜石市、石巻市、七ヶ浜町でのワークショップをご紹介いただくとともに、新しいまちづくりを検討していく上でポイントになる点などを紹介いただきました。

三部アドバイザーからは、『玉浦西地区のまちづくりについて』と題して、住宅建設の流れをご紹介いただくとともに、玉浦西地区のまちづくりを検討していく上でのポイントを、住宅建設を切り口にしてお話いただきました。



本日のお話を踏まえながら、次回会議までに各委員のまちづくりへの思いを「まちづくりカード」として整理し、それぞれ発表することになりました。

また、本日各委員より提出いただいたまちづくりアンケートの設問項目案をもとに、次回の会議で具体的なアンケート調査票の検討を行うことが決定しました。

# 玉浦西地区まちづくりニュース 第3号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## まちづくりに対する想いを発表!!

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第3回会議が7月11日（水）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、各委員のまちづくりに対する想いを「まちづくりカード」として発表いただきました。発表にあたっては、意見の内容を「コミュニティ」「土地利用」「景観」「その他」の 카테고リーに分類しながら行いました。

「コミュニティ」に関しては、『各地区ごとに移転』という点を基本としつつ、樹木など従来の地区にあったシンボルを核としたまちづくりや災害公営住宅も含めたコミュニティの配置など、従来のコミュニティの維持、継承に関する意見が多くあげられました。また、周辺地区の方々をはじめとするさまざまな方が利用できる施設に関する意見も多くあげられました。



「土地利用」に関しては、道路や公園整備に関すること、防災調整池の整備に関すること、商業施設や保育所、医療施設等の生活利便施設の整備に関することなどのほか、生け垣や建物の建て方等まちづくりのルールに関することなど、さまざまなご意見があげられました。



「景観」に関しては、道路や公園の緑化に関するもののほか、電線地中化による玉浦西地区全体の良好な景観の確保に関するご意見が多くあげられました。



「その他」に関しては、太陽光発電などの自然エネルギーの活用や共同で利用できる菜園などに関する意見があげられました。

今回あげられたご意見をもとにしながら、次回の会議では、玉浦西地区のまちづくりに関するコンセプトや方針などについて、グループ討議する予定です。

●● 玉浦西地区まちづくりアンケート調査へのご協力ありがとうございました ●●

# 玉浦西地区まちづくりニュース 第4号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## まちづくりの方針を検討

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第4回会議が7月25日（水）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、前回の会議で各委員より発表いただいたまちづくりカードをもとに、玉浦西地区のまちづくり方針について、班ごとにグループワークを行って検討しました。各委員よりまちづくり方針に対するさまざまなご意見が出された各班の発表内容には、多くの共通する内容があげられました。それらをまとめたものが以下の7つです。

- ✦ 自然災害(津波・豪雨)に強い安全なまち
- ✦ 自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ✦ 空が広く感じられる美しい街並みのあるまち
- ✦ 地域の交流ができる集会所や菜園のあるまち
- ✦ 緑豊かで水辺のある景観のよいまち
- ✦ スーパーと個人商店が複合した楽しく買物ができるまち
- ✦ 地域のみまもりにより、高齢者福祉と子育てが充実したまち

次回以降の会議では、これらのまちづくり方針（案）をもとに、具体的なまちづくりのイメージを描いていきます。





# 玉浦西地区まちづくりニュース 第5号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## まちのイメージを描く

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第5回会議が8月8日（水）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、前回の会議で各班より発表いただいたまちづくりの方針案をもとに、玉浦西地区のまちづくりのイメージについて、グループワークを行って検討しました。まちづくりの方針案の内容を元に、各委員から具体的な整備イメージに対する意見が出され、お互いのイメージを確認し合いながら、委員自らがペンを動かして班としてのイメージ案を描く作業を行いました。各班の特徴的な主要要素は次のとおりです。

### 《ひまわり班》

- ✦6地区間を幹線道路、水路でつなぎ、各地区に水だまりを配置
- ✦水路沿いに街区公園を配置
- ✦玉浦西地区の周囲を居久根等で植樹して、健康散歩みちや東屋を配置
- ✦地区全体の大きな集会所を設置して防災機能を付加



### 《さわやか班》

- ✦6地区を緑道、公園、集会所等でつなぎ、地区の間に公営住宅（集合）を配置
- ✦公園ごとに主たる樹種（あじさい、イチヨウ、サクラ）を変えて新たなシンボル
- ✦広場等がある公園一体型の調整池
- ✦生活利便施設に外からの人も利用できる道の駅のような曜日市や商店を配置



### 《TMU班》

- ✦地区の中心に歩行者用道路（通学路）と街区公園が一体となったグリーンベルトを配置
- ✦グリーンベルトに沿って地区の間をつなぐように集会所や菜園等を配置
- ✦調整池を公園化してレストランや子どもたちが遊べる図書館等を設置



次回以降の会議では、今回のイメージ案を元に、具体的なまちづくりの絵柄の検討を進めてまいります。

# 玉浦西地区まちづくりニュース 第6号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## まちのイメージをブラッシュアップ

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第6回会議が8月22日（水）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、前回の会議で各班より作成いただいたまちのイメージ案に対して、岩沼市の方から基本的な考え方が提示されたことから、それらの内容も踏まえつつ、クルマの動線やヒトの動線、各班の案の良いところなどを取り入れながら、玉浦西地区のまちのイメージを再検討しました。各班の特徴的な主要要素は次のとおりです。

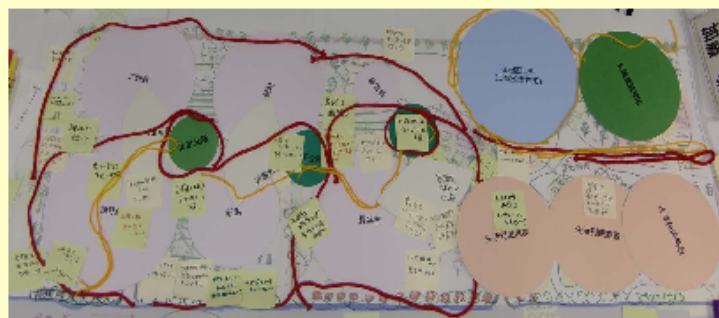
### 《ひまわり班》

- ✦ 幹線道路を外周に回して、法面一体となった空間を確保
- ✦ 公園と集会所をセットで2地区に1箇所配置
- ✦ 地区西側に避難場所ともなる丘を配置
- ✦ 外周に6m道路を設けて遊歩道的に利用



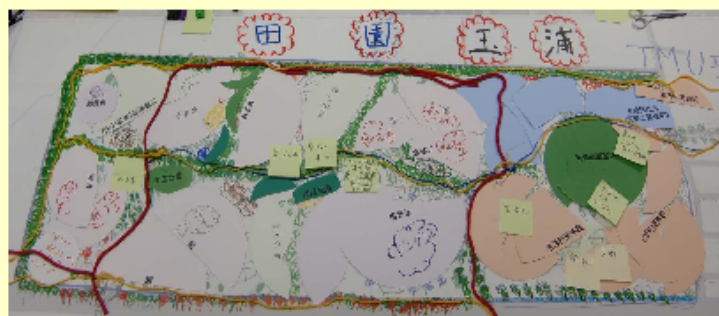
### 《さわやか班》

- ✦ 周囲の緑地を花壇、県道沿いを並木にして緑化
- ✦ 公園の周囲をロータリーにして、車のスピードを抑制
- ✦ 地区間に公園を配置し、手押しポンプでせせらぎを確保
- ✦ 歩行者動線を東西方向に配置して通学時の安全性を確保



### 《TMU班》

- ✦ 外周に幅20mの居久根を配置
- ✦ 幹線道路を外周に回して、中央部は歩車分離
- ✦ せせらぎ、桜並木、地区ごとのシンボルツリーなど他の班の案を取り入れ
- ✦ 地区内に菜園を確保



次回以降の会議では、今回のイメージ案を元に、具体的なまちづくりの絵柄の検討を進めてまいります。

# 玉浦西地区まちづくりニュース 第7号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## 6地区の概ねの配置が決定

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第7回会議が8月29日（水）に市役所大会議室で開催されました。

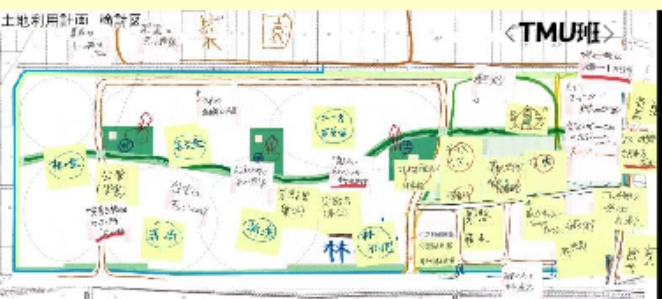
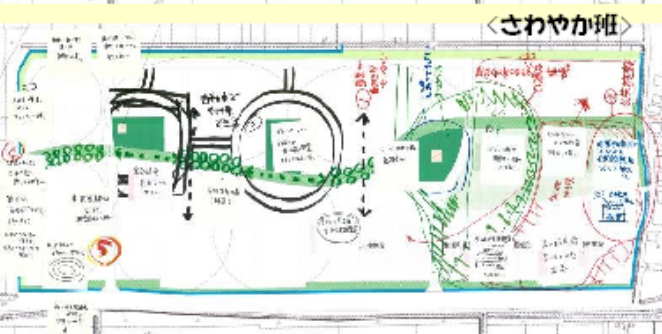
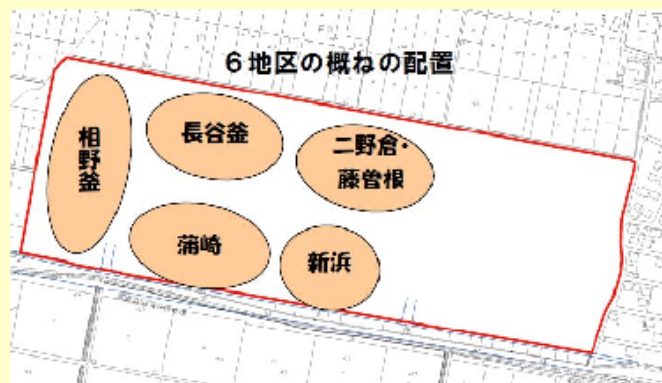
今回の会議では、各地区で検討いただいていた地区の配置に関する要望が発表され、6地区の配置については、要望どおり決定されました。

また、前回会議で各班より作成いただいたまちのイメージの再検討案を踏まえ、法面と幹線道路が一体となった居久根空間の整備イメージや土地利用計画のたたかめ台が事務局より提示されました。

その内容に対して各班で考えたまちのイメージとのすり合わせや他の班の良いところなどを取り入れながら、土地利用計画案の変更・修正意見に関するグループワークを行いました。土地利用計画に対する修正・追加意見は右図のとおりです。



次回以降の会議では、今回決定された地区の配置を踏まえて、各地区別の移転戸数等を元にした具体的な宅地を配置して、具体的な土地利用計画の検討を進めてまいります。



# 玉浦西地区まちづくりニュース 第8号

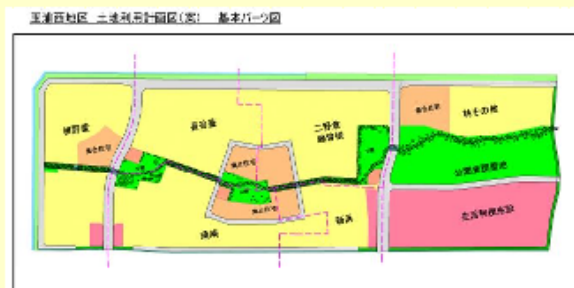
このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## 土地利用計画図（案）について検討

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第8回会議が9月4日（火）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、前回の会議で各班よりいただいたご意見を踏まえて、事務局より『玉浦西地区 土地利用計画図（案） 基本パーツ図』及び『玉浦西地区 土地利用計画図（案）』が提示され、その内容について全体で議論を行いました。主な意見は次のとおりです。

- ✦ 集合住宅が、地区の中央にまとまり過ぎている。長谷釜・二野倉・藤曾根と蒲崎・新浜の2つくらいのまとまりで分割した方がよい。
- ✦ 集合住宅の周囲を利用したロータリーについてはイメージより大き過ぎる。緑道を横断する箇所については、ロータリーにこだわらず変更して構わない。
- ✦ 避難も行えるような丘を地区の西側に配置できないか。
- ✦ 避難場所とするなら、地区の西側でなく緑道に近い方がよい。丘ではなく集合住宅や集会所等の屋上を利用できないか。
- ✦ 公園と集会所をセットにするのは賛成。集会所の位置については、利用しやすい位置に再配置してもらいたい。



次回以降の会議では、上記の意見を踏まえつつ、土地利用計画図について引き続き検討を行います。

# 玉浦西地区まちづくりニュース 第9号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

## 市長報告の土地利用計画（案）を決定

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第9回会議が9月12日（水）に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、前回会議でのご意見を踏まえた『玉浦西地区 土地利用計画図（案）』及びイメージ模型が提示され、その内容について全体で議論を行いました。

◆ 公営住宅の戸建住宅の配置については、今回提示の案でよい。

◆ シンボルの位置についても今回の案とし、何を置くかについては、各地区で協議いただくこととする。

◆ 丘については、公園兼調整池の中に確保する。高さは3mぐらいを想定する。

◆ 街区の間に歩行者用通路（幅員2m程度）を適宜配置し、歩行者動線を確保する。

◆ 林住宅の南側道路については、公営住宅の敷地内で通路として確保する。

以上の点等を確認した上で、土地利用計画の内容について、概ね決定することとなりました。

玉浦西地区 土地利用計画図（案）



なお、本日の案についての地区の意見については、設計の中で可能な範囲で対応する予定です。

また、検討委員会報告書（案）についても次回の会議において、本日の意見等を踏まえた報告書として市長へ答申する予定です。

参考資料④ まちづくりアンケート項目の提案書

| 分類                   | 項目  | 理由  | 玉浦西地区                                   | 個別移転者                            | 地区周辺市民             |
|----------------------|---|---|---|----------------------------------|--------------------|
| 将来のまちづくり<br>(7件)     | 新しい町を作るにあたり重要視したい事は？  | 新しい町への希望  | 設問番号<br>(1)                             | 設問番号<br>(1)                      | 設問番号<br>(1)        |
|                      | 移転者がどのようなこと、物があつたら生き甲斐を感じますか、また住み続けたいと思いますか。                                | 人、各々の考え方、生き甲斐を覚えるかによって、住みたい地区になるかどうかが変わると思う。こうしたい、ああしたいと思うことをすべて上げていただいてチョイスしたらよいと思う。                 |   |                                  |                    |
|                      | 移転先の希望(どんな街に住みたいか<家レベル><街レベル>)  | 快適性、景観、利便性、健康性、安全性  |   |                                  |                    |
|                      | 太陽光発電を取付けた場合、市からの補助金を出してはどうか。   | これからのエネルギー問題と再建者にとって少しでも負担を軽減する為  |   |                                  |                    |
|                      | 自然エネルギーを生かしたらよいか  | 停電対策や原発問題などがあるから  |   |                                  |                    |
|                      | 野菜工場の誘致OR岩沼市での経営  | 集団移転先に希望する人が少ないと思う。土地の有効利用をし、移転者が高齢者が今後高齢になる人が多いと思う。高齢者の雇用と野菜工場の屋根部分に太陽光発電を行い、クリーンな電力の供給に努めてほしい。      |   |                                  |                    |
|                      | 10年後の玉浦西地区に必要なものは何か   | 目先の生活がもちろん大事なのだが、“まち”が持続発展していくため長期的な視点も必要だと思つから。  |   |                                  |                    |
| コミュニティ形成・配置<br>(17件) | 移転先でのコミュニティはどうしたいか？   | ストレスを減らす為はどうしたらいいかを考える為   | 設問番号<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5)<br>(6) | 設問番号<br>(2)<br>(3)<br>(4)<br>(5) | 設問番号<br>(2)<br>(3) |
|                      | コミュニティ形成のための視点及び提案  | 玉浦らしいコミュニティづくり検討のため※上記のような項目であれば周辺住民にも回答しやすい内容だと思います。   |   |                                  |                    |
|                      | 震災前の近所づきあい(誰とどんなこと)   | 範囲、内容   |   |                                  |                    |
|                      | 今後のおつきあい  | 選択肢:①主に旧地区内の人とだけつきあいたい、②移転地区全体の方々とつきあいたい、③地区外の人とも積極的につきあいたい、④誰ともつきあいたくない                              |   |                                  |                    |
|                      | 6集落をどのように移転するか  | まとまってか、バラバラか  |   |                                  |                    |
|                      | 6集落の配置は、どのような方法で決めたら良いですか。  | 学校に近い方とか、東部道路に近い方とか、希望はあると思うので。   |   |                                  |                    |
|                      | 集落の配置は各集落ごとにまとめた方が良いか   | 震災前と同じ用にコミュニケーションが取れると思うから  |   |                                  |                    |
|                      | 6集落のままが良いですか。   | 集団移転は希望したが、特に地区は意識していない人もいるのでは。   |   |                                  |                    |
|                      | 移転者の各々の希望で募る。   | 移転者の考え方、希望を多く取り入れ、色々な分野で考えることで選択肢が生まれる。   |   |                                  |                    |
|                      | 入居する方々の意見を尊重して下さい   | 基本的には・地区毎の振り分けに成るかと思いますが・どうしても・地区に入りたくないケースも想定出来ます。実際、入居する方の意見も尊重戴きたい。                                |   |                                  |                    |
|                      | 集落の場所   | ・学校の近くが良いと思う人と岩沼側(西)が良いと思う人、どっちが良いと思っているか<br>・戸建、災害公営住宅に住む同じ集落、まとめた方が良いと思っているか                        |   |                                  |                    |
|                      | ①公営住宅も戸建ての家賃を安い金額に決めて、みんなで平等に住ませてほしい。<br>②公営住宅、戸建てに住む地区の高齢者、子供達はなるべく固めてほしい。 | 震災しているのだから高齢者の年金暮らし、子供がいる家庭も収入が少ないのでやり繰りが大変です。小学校の子供会の活動する時に重要になる。しらない地区の人達と一緒に仲良くするのがむずかしい。          |   |                                  |                    |
|                      | 入居場所へのきちんとした対応を   | 多分、地区毎に入居する事に成るかと思いますが、市役所が中心と成って住民から不満がでないようお願いします。(例)区長・町内会会長による話し合いの実施。どうしても纏まらない場合は区長一任で抽選会を行うとか。 |   |                                  |                    |
|                      | 移転先の形状と所有   | 画地か戸建て公営か集合公営か、買い増しについて   |   |                                  |                    |
|                      | お住まいの地区のシンボルはなんですか(残したい、移転させたい、心の拠りどころにしたい)                                 | A:ご自由にお書きください B:選択肢:①●●まつり、②イベント、③スポーツ、④著名人、⑤神社、⑥寺、⑦いぐね、⑧高い樹、⑨板碑、⑩貞山堀、⑪松林                             |   |                                  |                    |
|                      | 玉浦地区のシンボルはなんですか   | A:ご自由にお書きください B:選択肢:①●●まつり、②イベント、③スポーツ、④神社、⑤寺、⑥いぐね、⑦高い樹   |   |                                  |                    |
|                      | 玉浦西地区に残したい伝統、文化、特産品は何か  | ハード整備とともにソフト(玉浦地区のハート)も必要だと思つから。  |   |                                  |                    |

| 分類               | 項目                                     | 理由   | 玉浦西地区                       | 個別移転者 | 地区周辺市民      |
|------------------|--|--|-----------------------------|-------|-------------|
| 公共施設整備<br>(8件)   | 子供達が通う道路を広く整備してほしい。                    | 子供達が学校に歩いて通うので、ガードレール、信号機を設置してほしい。   | 設問番号<br>(7)<br>(10)<br>(11) | —     | 設問番号<br>(4) |
|                  | 子供たちのためにどのような公園などがよいか                  | 安全で楽しい場所が必要だと思うから  |                             |       |             |
|                  | 公園にはどんな遊具、花や木があれば良いと思いませんか。            | 遊びに来てほしい。外に出てコミュニケーションを取ってほしい。   |                             |       |             |
|                  | 移転先の緑について、どのような木を植えればよいか               | いぐねなどを作るさいに参考になると思うから  |                             |       |             |
|                  | 水路や調整池はどのような機能を持つべきか                   | 防災の観点から大規模な調整池の設置が必要となるため、どのようにまちづくりに活かしていきたいのか確認したい   |                             |       |             |
|                  | ライフライン(電気・電話等)の地下型                     | 電柱があると道路が狭く感じます。台風・竜巻等を想定し新しい町に相応しく電柱を無くし地下型が望ましいと思います。  |                             |       |             |
|                  | 自宅にいぐねがあったか                            | 選択肢:①あった、②かつてあった、③なかった   |                             |       |             |
|                  | 各集落ごとに公会堂等が必要                          | —  |                             |       |             |
| 生活利便施設等<br>(16件) | 生活するうえで必要な便利施設は？(具体的に)                 | 今まで住んでいた地区よりも住み良い町にする為に、便利施設を知りたい  | 設問番号<br>(8)                 | —     | 設問番号<br>(5) |
|                  | 必要だと思う生活便利施設                           | 住みやすいまちづくりのためにあれば助かる施設の検討のため   |                             |       |             |
|                  | 必要と思う生活便利施設                            | 住みよいまちづくりをして、次の世代につないでいけるような施設を検討するため  |                             |       |             |
|                  | スーパー、薬局、ATM、ポスト、飲食店などがほしい。皮膚科と耳鼻科がほしい。 | 皮膚科と耳鼻科はちゃんとした病院がありません。巨理や名取に子供達がいるお母さんは連れていってます。(不便です)買物は高齢者は歩いて行ける距離がほしい。主婦や若い人達は短い時間働ける場所、自転車で行ける距離が必要です。 |                             |       |             |
|                  | どのような商業施設があったら良いですか。                   | 住みやすく便利になるように。   |                             |       |             |
|                  | 商業施設(スーパー)等が必要ではないか                    | 高齢者の人も多いようなので、近くにできれば既存住宅の人々も利用できる   |                             |       |             |
|                  | 生活の為に商業施設(ショッピングモール等)の充実化を図り、住み良い町にする。 | 高齢者問題などもあり、歩いても買物など出来るよう、玉浦全体でエリアを考える。   |                             |       |             |
|                  | 地元、商店が店出出来る配慮を                         | ・大型スーパーだけでなく玉浦の地元商店が参入する為に、岩沼市所有の建物を建設し、賃貸でも良いので設置戴きたい。<br>・出店したいか、地元商店に聞いて見ても良いかと思います。                      |                             |       |             |
|                  | 商店(スーパー)                               | 商店が必要と思っているか、必要な場所、どのような商店が必要と思っているか   |                             |       |             |
|                  | 小さいスーパー                                | コンビニは近い所にあっても値段的に高いので、食品店があれば誰でも買える所   |                             |       |             |
|                  | 銀行かATMでも欲しい                            | 全ての人が車を運転する訳でもなく、お年寄りも多いので歩いても行ける場所があれば  |                             |       |             |
|                  | 銀行(キャッシュカード)の開設を                       | ・市内にいちいち行かないですむようにキャッシュカードコーナーの設置を検討して欲しい。(但し、振り込め詐欺対策も絡めて)  |                             |       |             |
|                  | 薬局屋さん(ドラッグストア)                         | 身近に薬などがすぐに見える場所があれば  |                             |       |             |
|                  | 職業大学など(例看護大学)                          | 医療施設などの立地が出来やすい  |                             |       |             |
|                  | 各種学校の誘致                                | 上記したとおり、高齢者だけの地区にならないように、又若者も活気を取り入れて明るい地区になるように。  |                             |       |             |
|                  | 電気スタンドの設置を                             | 数年後には、電気自動車が主流に成るかと思えます。太陽光発電を利用し環境に優しい町づくりの観点からも電気スタンドを設置戴きたい。  |                             |       |             |

| 分類                          | 項目  | 理由   | 玉浦西地区       | 個別移転者 | 地区周辺市民      |
|-----------------------------|---|--|-------------|-------|-------------|
| 安心・安全なまちづくり（高齢者・子どもへの対策を含む） | 高齢者の憩いの場。   | 高齢者が楽しくおしゃべりが出来る場所を必要と思っているか   | 設問番号<br>(9) | —     | 設問番号<br>(6) |
|                             | 高齢者(活動)についての施設、ただお茶を飲むだけではなく活動すること                                  | 健康で長生きする為に、からだを動かすことが大切だから   |             |       |             |
|                             | 畑があれば(共同でも構わない)   | お年寄りが多いため、皆で作る   |             |       |             |
|                             | 畑が出来るよう用地を設けてもらいたい。   | 震災前まで自宅近くで野菜などを作っていた人も多く、これからも楽しく生きて行く為。(老人も体を動かせる)  |             |       |             |
|                             | コミュニティーセンター(集会所)と運動施設(太陽光発電を利用した年間使用出来る温水プール)の設置                    | 誰でも(子供から老人まで)が気楽に使用出来、医療費削減に結び付けられ、又、子供と老人が触れ合える目的では是非、設置戴きたい。<br>・老人は足腰が衰える事で痴呆症や病気の進行が早まるかと思われる。、病気が進行することで医療費も増加します。医療費を抑制する観点から是非、考えて戴きたい。<br>・子供と老人が触れ合える為にも(以前、玉浦小学校で若松祭りを行った際に老人会にも声掛けし昔、遊んでいた竹とんぼ・おはじき・竹馬の作り方を老人が子供達に教えながら触れ合う機会を設けましたがお互いに満足したように思われました。子供達に老人を敬う意識を植えさせる為にも)<br>・併せて、カラオケ設置及び憩いの場等も良いかと思えます。 |             |       |             |
|                             | 在宅介護がし易い環境作りを   | ・今後、更に医療費抑制が進められ在宅介護等がし易い環境作りを考えて欲しい。<br>・介護する家族が安心して、気軽に相談、アドバイスを受けられる環境作りを整えて戴きたい。   |             |       |             |
|                             | スピードばかり求めないで確実ににしっかりと土台を作ってほしい。後で付け足さないで年数が掛かってほしいからちゃんとした物を作ってほしい。 | 一般の公営住宅、戸建て住宅にも高齢者が使いやすいようにお風呂、トイレ玄関に手すりを設置してほしい。戸建て住宅にも車椅子でも暮らせる出口にスロープを付けてほしい。   |             |       |             |
|                             | ②公営住宅にも管理人が若いサポートセンターがほしい。  | たとえば集会所を使う時に区長さんが留守で鍵が借りれなかった時、高齢者が何か困った時、孤独死を防ぐためにサポートが必要です。トラブルや防犯などすぐに呼びに行けて解決してくれる人が必要です。  |             |       |             |
|                             | 防犯用カメラ  | 子供たちが安全に遊ぶため、必要だと思っているか  |             |       |             |
|                             | 児童が自由に安心して遊べる場所(屋外)があると良い。  | 学校終了後、(休日含)室内でゲームなどで過ごす時間を少なくする為にも   |             |       |             |
|                             | 公園にも時計台を設置してほしい。<br>①12時と5時に音楽かブザーを鳴らしてほしい。                         | 子供達が遊びに夢中になり、なかなか家に帰らない。自分達で声掛けして帰ってきてほしい。   |             |       |             |
|                             | 安心して暮らしはどのようなことで感じますか、どのようにしたら安心できると思いますか。                          | 移転先は今回の地震で冠水した場所で、又、地震にて冠水を恐れて移転を見合わせた人もいます。震災害に強い地区造りを検討した方が必要と思う。  |             |       |             |
|                             | 玉浦西地区が安全・安心な“まち”であるためにかかせないものは何にか                                   | 何をもちて安全・安心かは人によって違うと思うから。  |             |       |             |
|                             | 安全対策はどのようなものがいいか  | 津波などから家族や家を守るため  |             |       |             |
|                             | 岩沼市全体を考えた防災対策を  | ・昨年、発生した津波で救済にあたった方が犠牲となりました。宮城県全体(県南)として犠牲者を最小限にする為にも空から(ヘリコプター)による防災対策も今後、考えてもよいのでは。<br>・ヘリコプターが無理であるのであれば別に岩沼市として考える必要があるかと思えます。  |             |       |             |
|                             | (17件) ゲリラ豪雨に対応出来る町づくりを  | 昨年、発生した津波はそう簡単には発生しないものと思われていますが、今後、ゲリラ豪雨は頻りに発生することが考えられます。)ゲリラ豪雨に対応できる町づくりを第一に考えて戴きたい   |             |       |             |
|                             | 防災用品の備蓄を  | 昨年の大震災時に玉浦中学校に避難しましたが、防災用品がほとんどなく、整っていなかったように思いました。災害はいつやってくるかわかりません。万一、発生しても対応できる体制作りも考えて戴きたい。  |             |       |             |



| 分類                  | 項目  | 理由  | 玉浦西地区        | 個別移転者 | 地区周辺市民 |
|---------------------|---|---|--------------|-------|--------|
| まちづくりのルール           | 宅地の盛土の高さを自由にするか、規制するか。  | 津波が来ている場所の為、少しでも高くしたいと思う人がいるのではないか。   | 設問番号<br>(12) | —     | —      |
|                     | 住み良い町にする為に必要なルールは？  | 建築規制など、設けた方が良いのか住民の意見をききたい  |              |       |        |
|                     | 垣根をブロック塀ではなく、木を植える促進をしてはどうか。  | 隣りとの境目は必要であり、プライバシーの問題も有る為。   |              |       |        |
|                     | 施設などの色や形に、何か取り入れるとしたら。  | 東部道路から見える場所なので、岩沼の広告塔になっても良いのでは。  |              |       |        |
|                     | 戸建て住宅にもペットと一緒に住めるようにしてほしい。  | 猫や犬が嫌いな人もいるので飼っている人達はなるべく隣どうしに住ませる。隣に住む人にペットを飼っていることを伝える。トラブルにならないようにしてほしい。ペットは震災からずっと一緒に暮らしています。心を癒してくれます。 |              |       |        |
| (6件) 宅地間の距離を配慮して欲しい | <ul style="list-style-type: none"> <li>・従前地は隣との距離も結構有りました。現在、仮設住宅やアパート生活で窮屈な理由状態です。出来るだけ隣との距離を広げる事でほっとするのでは。</li> <li>・家の南北に道路を設置することで日当たりの心配もなくなるのでは。</li> </ul> |   |              |       |        |

## 参考資料⑤ 玉浦西地区まちづくりアンケート調査票

### 調査票 A

# 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート

#### ■留意事項

- ・できる限り玉浦西地区へ移転される方全員のご意見を伺いたいと考えておりますので、回答は世帯の中学生以上の方全員をお願いします。（中学生以上が4人なら4つの調査票を返送してください。）
- ・本アンケートは無記名式です。お答えいただいた内容についても、統計的な数値として活用しますので、個人の情報を公表することは一切ございません。
- ・本アンケートは、同封しました返信用封筒に入れて、7月23日（月）までに返送するか、市役所建設部復興整備課までご持参ください。（返信用封筒には、切手不要です。）

#### ■記入方法

- ・アンケートの設問に対する回答は、所定の解答欄にご記入ください。
- ・回答には、あてはまる番号に○印で囲むもの、番号を記入するもの、自由に記述いただくものがあります。
- ・番号を記入する設問では、回答数の指定があるものは「指定の数以内」で記入ください。
- ・「その他」と回答された場合は、（ ）内に、なるべく具体的にその内容を記入ください。
- ・ご回答いただく上でご不明な点に対するお問合せは、下記までお願い致します。

#### 【問合せ先】

（事務局） 岩沼市建設部復興整備課

住所 〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6番20号

電話（0223）22-1111（代表）内線 425 担当 すがい菅井、やなぎたに柳谷、ふくだ福田

## 1. あなたご自身のことについてお伺いします。

次の項目に、あてはまる番号に○印をつけてください。

- ①あなたの性別について                                  1. 男性                                  2. 女性
- ②あなたの年齢について
- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代  |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |
- ③あなたの職業について（兼業の場合は主なもの）
- |             |   |        |              |
|-------------|---|--------|--------------|
| 1. 農業       | 2. 自営業                                      | 3. 会社員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 専業主婦（夫）  | 6. 公務員・団体職員                                 | 7. 中学生 | 8. 高校生       |
| 9. 大学・専門学校生 | 10. その他（                                  ） |        |              |
- ④震災前にお住まいだった地区名
- |        |        |  |        |
|--------|--------|--|--------|
| 1. 相野釜 | 2. 藤曽根 | 3. 二野倉                                     | 4. 長谷釜 |
| 5. 蒲崎  | 6. 新浜  | 7. その他（                                  ） |        |
- ⑤玉浦西地区への移転方法について
- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 宅地を買取り自宅を再建    | 2. 宅地を借地して自宅を再建  |
| 3. 災害公営住宅（戸建て）に入居 | 4. 災害公営住宅（集合）に入居 |

## 2. 玉浦西地区（住宅団地）の将来のまちづくりについてお伺いします。

(1) 玉浦西地区が将来どのようなまちになったら良いと思いますか。あなたのお考えに近いイメージを次の中から3つまで選んでください。

- 1 緑あふれる自然豊かなまち
- 2 歴史・文化・伝統などを活かしたまち
- 3 閑静な住環境のあるまち
- 4 商業施設などによる賑わいのあるまち
- 5 道路や歩道が充実したまち
- 6 災害に強いまち
- 7 公園や緑地が充実したまち
- 8 通勤通学に便利な公共交通が充実したまち
- 9 健康・福祉が充実したまち
- 10 子育て環境が充実したまち
- 11 地区外の人も多く集まる交流がさかんなまち
- 12 自然エネルギーを活用したまち
- 13 その他（具体的に                                  ）

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

### 3. 玉浦西地区（住宅団地）のコミュニティ・シンボルについてお伺いします。

(2) 将来のコミュニティのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位でまとまってコミュニティを維持した方がよい
- 2 これまでの地区にこだわらず、新しいコミュニティを作った方がよい
- 3 その他（具体的に )

(3) コミュニティを維持していく、または新しいコミュニティを形成するために必要と思われることはどんなことですか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 風習や祭りなど、従来から地区のみんなで行ってきた活動を引き継ぐ
- 2 新しい風習や祭りなどを作り出して、地区のみんなで活動する
- 3 従来のある地区にあったシンボルとなるものを玉浦西地区に移転する
- 4 新しい地区のシンボルとなるものを玉浦西地区につくる
- 5 その他（具体的に )

(4) 地区のコミュニティを維持、継承していくために必要となる各地区の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご自由にご記入ください。

(5) 玉浦西地区にこれまでの地区（6集落）をどのように配置したら良いと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位が独立した配置がよい
- 2 これまで住んでいた地区をもとに他の地区とゆるやかにつながる配置がよい
- 3 これまでの地区にこだわらないで、各個人の希望を優先するなど、自由に配置した方がよい
- 4 その他（具体的に )

(6) 玉浦西地区の周辺の住民の方とどのようなつきあい方をされますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 友達や知り合いの家に訪問するなど密接なつきあいをしていきたい
- 2 学校行事や地区の祭りなどに相互に参加するようにしたい
- 3 まちであったらあいさつする程度のつきあいになる
- 4 その他（具体的に )

#### 4. 玉浦西地区（住宅団地）に必要な施設についてお伺いします。

(7) 玉浦西地区の整備にあたり、道路や公園などの公共施設の整備で特に配慮すべきと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 車がスムーズに走れるような広い車道の整備
- 2 歩行者が安心して歩けるような広い歩道の整備
- 3 のびのび遊んだり、散歩ができるような広い公園の整備
- 4 花壇などの手入れができる身近な小さい公園の整備
- 5 水と親しめる水路や池の整備
- 6 街路樹や公園の植栽しよくさいなどの緑化
- 7 集会所等の地区の活動を支える交流施設の整備
- 8 その他（具体的に

)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

(8) 玉浦西地区の整備にあたり、必要な生活利便施設等はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 スーパー等の生鮮食料品などを扱う小売店舗
- 2 24時間利用できるコンビニエンスストア
- 3 小児科・内科・眼科などの医療施設
- 4 調剤薬局ちようざい・ドラッグストア
- 5 銀行・郵便局
- 6 ATM（現金自動預け払い機）
- 7 飲食店
- 8 学校・専門学校等
- 9 その他（具体的に

)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

(9) 玉浦西地区の整備にあたり、安全・安心なまちづくりをするために必要なものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てを支援する施設（保育所等）
- 2 高齢者等の介護かいごを支援する施設（デイサービスセンター等）
- 3 交通安全施設の整備や段差の小さい安全な道路（通学路、歩道の整備）
- 4 災害公営住宅のバリアフリー化
- 5 子どもたちを守るための防犯設備（防犯カメラや通報ブザーなど）
- 6 地区内に避難施設を整備し、水や食料品等を備蓄する
- 7 梅雨前線や台風等による大雨（ゲリラ豪雨等）に対応できる排水機能の整備
- 8 西風等から住宅を守る居久根
- 9 自主防災組織の設立
- 10 その他（具体的に

)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|



## 6. その他（自由回答）

（13）玉浦西地区でどのような生活（暮らし）をしたいと思いますか。ご自由にご記入ください。

記入例：自宅近くの畑を借りて、トマトやきゅうりなどの野菜を育てて孫たちと休みの日を一緒にすごせるような生活がしたい

（14）玉浦西地区に期待すること、不安または心配に思うことなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて（回答者が複数いらっしゃる世帯は人数分まとめください）ポストに投函するか、市役所復興整備課までご持参ください。

**平成 24 年 7 月 23 日(月)までにお願ひします**

## 調査票 B

# 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート

### ■留意事項

- ・回答は世帯ごとにお願いします。
- ・本アンケートは無記名式です。お答えいただいた内容についても、統計的な数値として活用しますので、個人の情報を公表することは一切ございません。
- ・本アンケートは、同封しました返信用封筒に入れて、7月23日(月)までに返送するか、市役所建設部復興整備課までご持参ください。(返信用封筒には、切手不要です。)

### ■記入方法

- ・アンケートの設問に対する回答は、所定の解答欄にご記入ください。
- ・回答には、あてはまる番号に○印で囲むもの、番号を記入するもの、自由に記述いただくものがあります。
- ・番号を記入する設問では、回答数の指定があるものは「指定の数以内」で記入ください。
- ・「その他」と回答された場合は、( ) 内に、なるべく具体的にその内容を記入ください。
- ・ご回答いただく上でご不明な点に対するお問合せは、下記までお願い致します。

### 【問合せ先】

(事務局) 岩沼市建設部復興整備課

住所 〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目 6 番 20 号

電話 (0223) 22-1111 (代表) 内線 425 担当 すがい菅井、やなぎたに柳谷、ふくだ福田





### 3. 玉浦西地区（住宅団地）のコミュニティ・シンボルについてお伺いします。

(16) 将来のコミュニティのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位でまとまってコミュニティを維持した方がよい
- 2 これまでの地区にこだわらず、新しいコミュニティを作った方がよい
- 3 その他（具体的に

)

(17) コミュニティを維持していく、または新しいコミュニティを形成するため必要と思われることはどんなことですか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 風習や祭りなど、従来から地区のみんなで行ってきた活動を引き継ぐ
- 2 新しい風習や祭りなどを作り出して、地区のみんなで活動する
- 3 従来のある地区にあったシンボルとなるものを玉浦西地区に移転する
- 4 新しい地区のシンボルとなるものを玉浦西地区につくる
- 5 その他（具体的に

)

(18) 地区のコミュニティを維持、継承していくために必要となる各地区の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご自由にご記入ください。


(19) 玉浦西地区の方とのこれからのつきあいについて伺います。次の中から1つ選んでください。

- 1 友達や知り合いの家に訪問するなど密接なつきあいをしていきたい
- 2 学校行事や地区の祭りなどに参加するようになりたい
- 3 親や親族の家に行く程度のつきあいをしていく
- 4 まちであつたらあいさつする程度のつきあいになる
- 5 その他（具体的に

)

#### 4. その他（自由回答）

(20) 玉浦西地区に期待することなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。



質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れてポストに投函するか、市役所復興整備課までご持参ください。

**平成 24 年 7 月 23 日(月)までにお願ひします**

## 調査票 C

# 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート

### ■留意事項

- ・回答は世帯ごとにお願いします。
- ・本アンケートは無記名式です。お答えいただいた内容についても、統計的な数値として活用しますので、個人の情報を公表することは一切ございません。
- ・本アンケートは、同封しました返信用封筒に入れて、7月23日(月)までに返送するか、市役所建設部復興整備課までご持参ください。(返信用封筒には、切手不要です。)

### ■記入方法

- ・アンケートの設問に対する回答は、所定の解答欄にご記入ください。
- ・回答には、あてはまる番号に○印で囲むもの、番号を記入するもの、自由に記述いただくものがあります。
- ・番号を記入する設問では、回答数の指定があるものは「指定の数以内」で記入ください。
- ・「その他」と回答された場合は、( ) 内に、なるべく具体的にその内容を記入ください。
- ・ご回答いただく上でご不明な点に対するお問合せは、下記までお願い致します。

### 【問合せ先】

(事務局) 岩沼市建設部復興整備課

住所 〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6番20号

電話 (0223) 22-1111 (代表) 内線 425 担当 すがい菅井、やなぎたに柳谷、ふくだ福田

## 1. あなたご自身のことについてお伺いします。

次の項目に、あてはまる番号に○印をつけてください。

①あなたの性別について

1. 男性

2. 女性

②あなたの年齢について

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳代

8. 80歳以上

③あなたの職業について（兼業の場合は主なもの）

1. 農業

2. 自営業

3. 会社員

4. パート・アルバイト

5. 専業主婦（夫）

6. 公務員・団体職員

7. 中学生

8. 高校生

9. 大学・専門学校生

10. その他（

）

④あなたのお住まいの地区名

1. 林

2. 早股

3 その他（

）

## 2. 玉浦西地区（住宅団地）の将来のまちづくりについてお伺いします。

(21) 玉浦西地区が将来どのようなまちになったら良いと思いますか。あなたのお考えに近いイメージを次の中から3つまで選んでください。

- 1 緑あふれる自然豊かなまち
- 2 歴史・文化・伝統などを活かしたまち
- 3 閑静な住環境のあるまち
- 4 商業施設などによる賑わいのあるまち
- 5 道路や歩道が充実したまち
- 6 災害に強いまち
- 7 公園や緑地が充実したまち
- 8 通勤通学に便利な公共交通が充実したまち
- 9 健康・福祉が充実したまち
- 10 子育て環境が充実したまち
- 11 地区外の人も多く集まる交流がさかんなまち
- 12 自然エネルギーを活用したまち
- 13 その他（具体的に

）

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

3. 玉浦西地区（住宅団地）のコミュニティ・シンボルについてお伺いします。

(22) 玉浦西地区の新しい住民の方とどのようなつきあい方をされますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 友達や知り合いの家に訪問するなど密接なつきあいをしていきたい
- 2 学校行事や地区の祭りなどに相互に参加するようにしたい
- 3 まちであったらあいさつする程度のつきあいになる
- 4 その他（具体的に

(23) 玉浦西地区の新しい住民の方へ紹介したい玉浦西地区近辺の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご記入ください。

4. 玉浦西地区（住宅団地）に必要な施設についてお伺いします。

(24) 玉浦西地区の整備にあたり、道路や公園などの公共施設の整備で特に配慮すべきと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 車がスムーズに走れるような広い車道の整備
- 2 歩行者が安心して歩けるような広い歩道の整備
- 3 のびのび遊んだり、散歩ができるような広い公園の整備
- 4 花壇などの手入れができる身近な小さい公園の整備
- 5 水と親しめる水路や池の整備
- 6 街路樹や公園の植栽（しよくさい）などの緑化
- 7 集会所等の地区の活動を支える交流施設
- 8 その他（具体的に

)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

(25) 玉浦西地区の整備にあたり、必要な生活利便施設はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 スーパー等の生鮮食料品などを扱う小売店舗
- 2 24時間利用できるコンビニエンスストア
- 3 小児科・内科・眼科などの医療施設
- 4 調剤薬局・ドラッグストア（ちようざい）
- 5 銀行・郵便局
- 6 ATM（現金自動預け払い機）
- 7 飲食店
- 8 専門学校等の学校施設
- 9 その他（具体的に

)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

(26) 玉浦西地区の整備にあたり、安全・安心なまちづくりをするために必要なものはどれですか。  
次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てを支援する施設（保育所等）
- 2 高齢者等の介護<sup>かいご</sup>を支援する施設（デイサービスセンター等）
- 3 交通安全施設の整備や段差の小さい安全な道路（通学路、歩道の整備）
- 4 災害公営住宅のバリアフリー化
- 5 子どもたちを守るための防犯設備（防犯カメラや通報ブザーなど）
- 6 地区内に避難施設を整備し、水や食料品等を備蓄する
- 7 梅雨前線や台風等による大雨（ゲリラ豪雨等）に対応できる排水機能の整備
- 8 西風等から住宅を守る居久根
- 9 自主防災組織の設立
- 10 その他（具体的に

)

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

## 5. その他（自由回答）

(27) 玉浦西地区に期待することなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れてポストに投函するか、市役所復興整備課までご持参ください。

**平成 24 年 7 月 23 日(月)までにお願ひします**

## 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート結果

- ・平成 24年8月7日現在の集計であり、今後変更する場合があります。
- ・調査票の中には、回答数を指定した設問があります。指定した数以上を選択した場合でも全ての回答を含めて集計をしております。
- ・集計上、必要となる回答者の属性情報（性別、年齢、職業、地区名）が全て未記入の方は無効扱いとしております。
- ・回収状況

| 区分                       | 地区        | 配布人数         | 回答人数       | 回収率          | 摘要      |
|--------------------------|-----------|--------------|------------|--------------|---------|
| 調査票A<br>(玉浦西地区へ移転希望の方)   | 相野釜       | 181          | 118        | 65.2%        |         |
|                          | 藤曾根       | 22           | 2          | 9.1%         |         |
|                          | 二野倉       | 155          | 73         | 47.1%        |         |
|                          | 長谷釜       | 138          | 64         | 46.4%        |         |
|                          | 蒲崎        | 169          | 103        | 60.9%        |         |
|                          | 新浜        | 70           | 44         | 62.9%        |         |
|                          | その他       | —            | 9          | —            | 仙台市、名取市 |
|                          | 未記入       | —            | 1          | —            |         |
|                          | <b>小計</b> | <b>735</b>   | <b>414</b> | <b>56.3%</b> |         |
| 調査票B<br>(玉浦西地区以外へ移転希望の方) | 相野釜       | 42           | 13         | 31.0%        |         |
|                          | 藤曾根       | 8            | 2          | 25.0%        |         |
|                          | 二野倉       | 38           | 18         | 47.4%        |         |
|                          | 長谷釜       | 24           | 14         | 58.3%        |         |
|                          | 蒲崎        | 56           | 28         | 50.0%        |         |
|                          | 新浜        | 14           | 7          | 50.0%        |         |
|                          | その他       | —            | 0          | —            |         |
|                          | 未記入       | —            | 1          | —            |         |
|                          | <b>小計</b> | <b>182</b>   | <b>83</b>  | <b>45.6%</b> |         |
| 調査票C<br>(玉浦西地区周辺にお住まいの方) | 林         | 622          | 140        | —            |         |
|                          | 早股        |              | 80         | —            |         |
|                          | その他       |              | 48         | —            | 押分、恵み野  |
|                          | 未記入       |              | 3          | —            |         |
|                          | <b>小計</b> | <b>622</b>   | <b>271</b> | <b>43.6%</b> |         |
| 無効                       |           | —            | 10         | —            |         |
| <b>計</b>                 |           | <b>1,539</b> | <b>778</b> | <b>50.6%</b> |         |



# 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート結果速報

## (玉浦西地区へ移転希望の方)

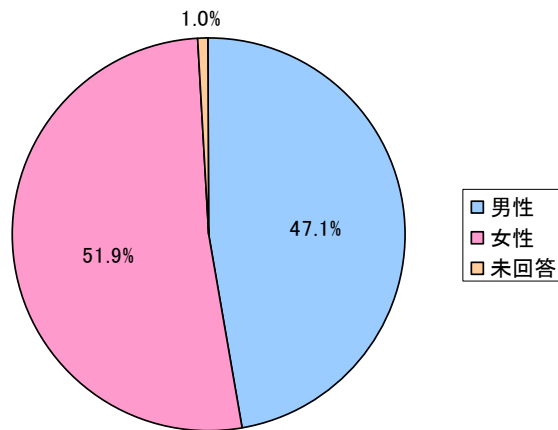
### 1. アンケート調査の概要

- ①調査対象 世帯の中学生以上の方
- ②調査方法 郵送による配布、回収
- ③調査時期 平成24年7月13日～平成24年7月23日
- ④集計時期 平成24年8月7日時点

## 2. 回答者の属性

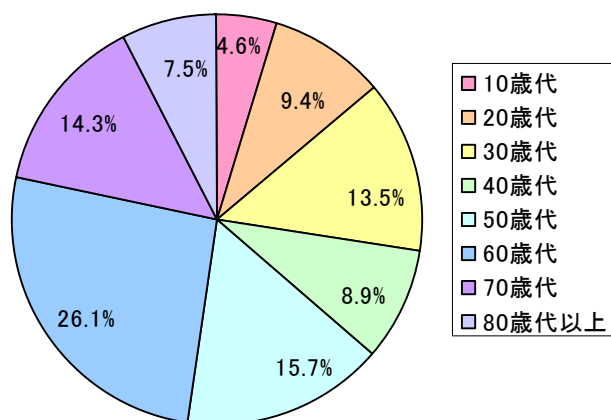
### ①性別

| 区分 |     | 人数  | 割合     |
|----|-----|-----|--------|
| 1  | 男性  | 195 | 47.1%  |
| 2  | 女性  | 215 | 51.9%  |
|    | 未回答 | 4   | 1.0%   |
| 計  |     | 414 | 100.0% |



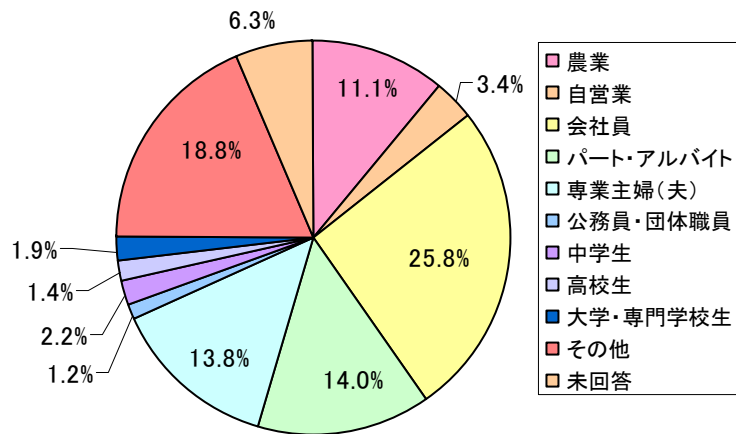
### ②年齢

| 区分 |        | 人数  | 割合     |
|----|--------|-----|--------|
| 1  | 10歳代   | 19  | 4.6%   |
| 2  | 20歳代   | 39  | 9.4%   |
| 3  | 30歳代   | 56  | 13.5%  |
| 4  | 40歳代   | 37  | 8.9%   |
| 5  | 50歳代   | 65  | 15.7%  |
| 6  | 60歳代   | 108 | 26.1%  |
| 7  | 70歳代   | 59  | 14.3%  |
| 8  | 80歳代以上 | 31  | 7.5%   |
| 計  |        | 414 | 100.0% |



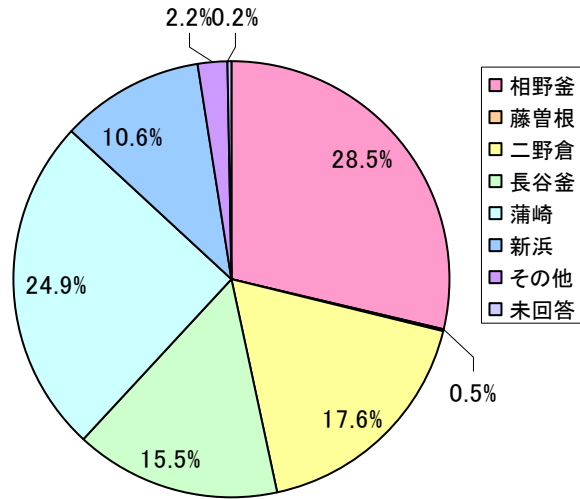
③職業

| 区分 |           | 人数  | 割合     |
|----|-----------|-----|--------|
| 1  | 農業        | 46  | 11.1%  |
| 2  | 自営業       | 14  | 3.4%   |
| 3  | 会社員       | 107 | 25.8%  |
| 4  | パート・アルバイト | 58  | 14.0%  |
| 5  | 専業主婦(夫)   | 57  | 13.8%  |
| 6  | 公務員・団体職員  | 5   | 1.2%   |
| 7  | 中学生       | 9   | 2.2%   |
| 8  | 高校生       | 6   | 1.4%   |
| 9  | 大学・専門学校生  | 8   | 1.9%   |
| 10 | その他       | 78  | 18.8%  |
|    | 未回答       | 26  | 6.3%   |
| 計  |           | 414 | 100.0% |



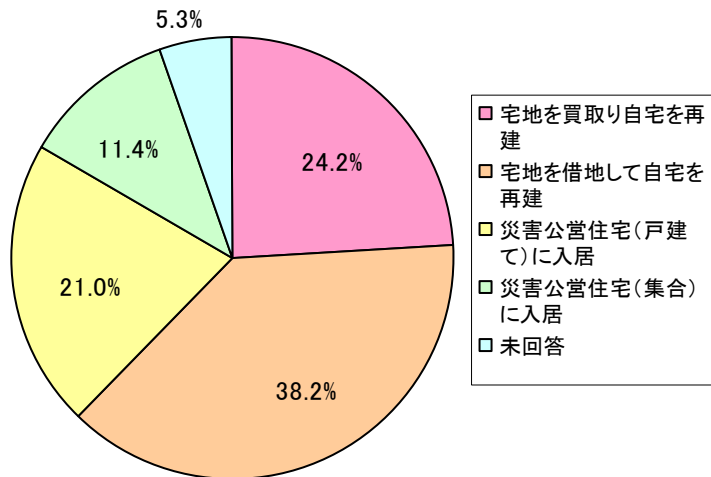
④震災前にお住まいだった地区名

| 区分 |     | 人数  | 割合     |
|----|-----|-----|--------|
| 1  | 相野釜 | 118 | 28.5%  |
| 2  | 藤曽根 | 2   | 0.5%   |
| 3  | 二野倉 | 73  | 17.6%  |
| 4  | 長谷釜 | 64  | 15.5%  |
| 5  | 蒲崎  | 103 | 24.9%  |
| 6  | 新浜  | 44  | 10.6%  |
| 7  | その他 | 9   | 2.2%   |
|    | 未回答 | 1   | 0.2%   |
| 計  |     | 414 | 100.0% |



⑤玉浦西地区への移転方法

| 区分               | 人数  | 割合     |
|------------------|-----|--------|
| 1 宅地を買取り自宅を再建    | 100 | 24.2%  |
| 2 宅地を借地して自宅を再建   | 158 | 38.2%  |
| 3 災害公営住宅(戸建て)に入居 | 87  | 21.0%  |
| 4 災害公営住宅(集合)に入居  | 47  | 11.4%  |
| 未回答              | 22  | 5.3%   |
| 計                | 414 | 100.0% |



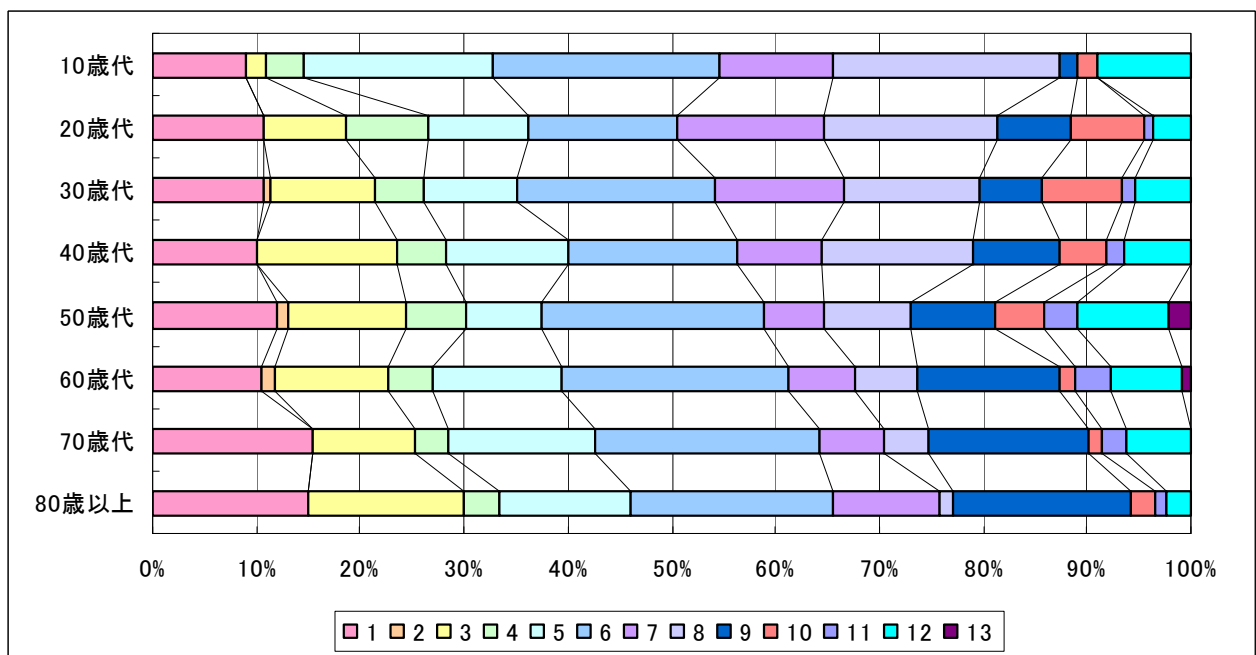
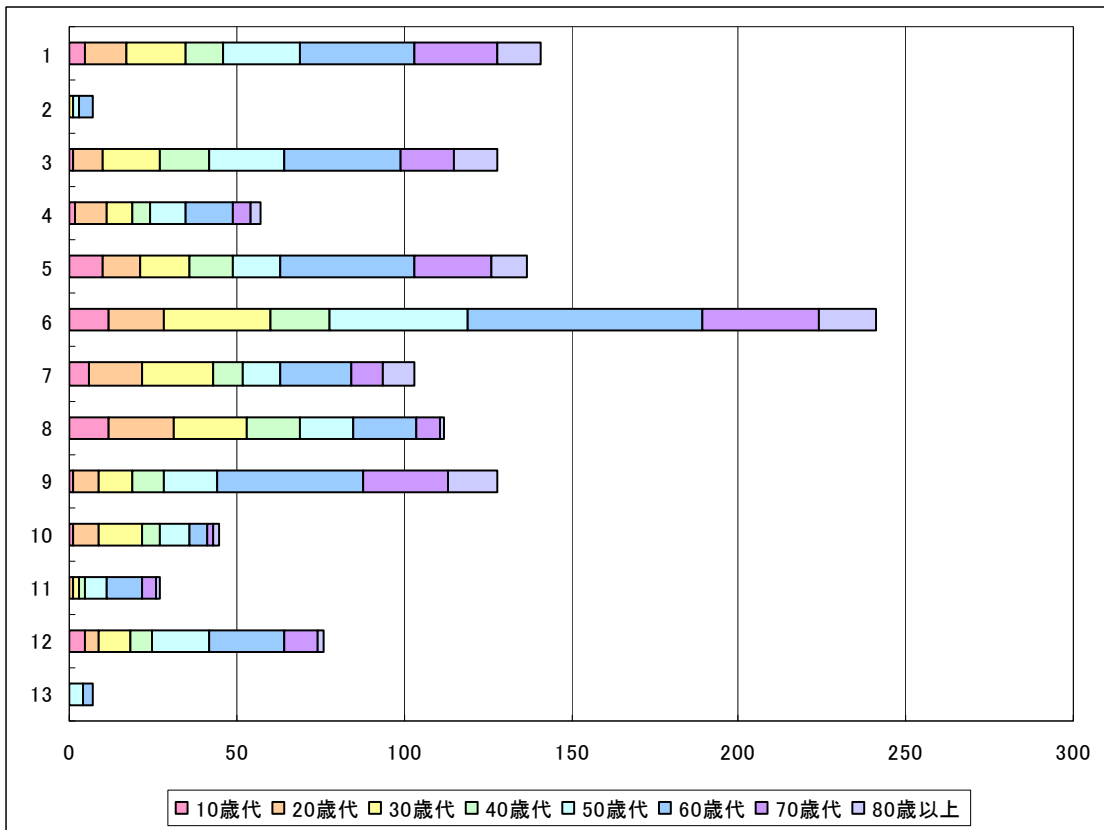
### 3. 設問別結果

(1) 玉浦西地区が将来どのようなまちになったら良いと思いますか。あなたのお考えに近いイメージを次の中から3つまで選んでください。

- 1 緑あふれる自然豊かなまち
- 2 歴史・文化・伝統などを活かしたまち
- 3 閑静な住環境のあるまち
- 4 商業施設などによる賑わいのあるまち
- 5 道路や歩道が充実したまち
- 6 災害に強いまち
- 7 公園や緑地が充実したまち
- 8 通勤通学に便利な公共交通が充実したまち
- 9 健康・福祉が充実したまち
- 10 子育て環境が充実したまち
- 11 地区外の人も多く集まる交流がさかんなまち
- 12 自然エネルギーを活用したまち
- 13 その他（具体的に

)

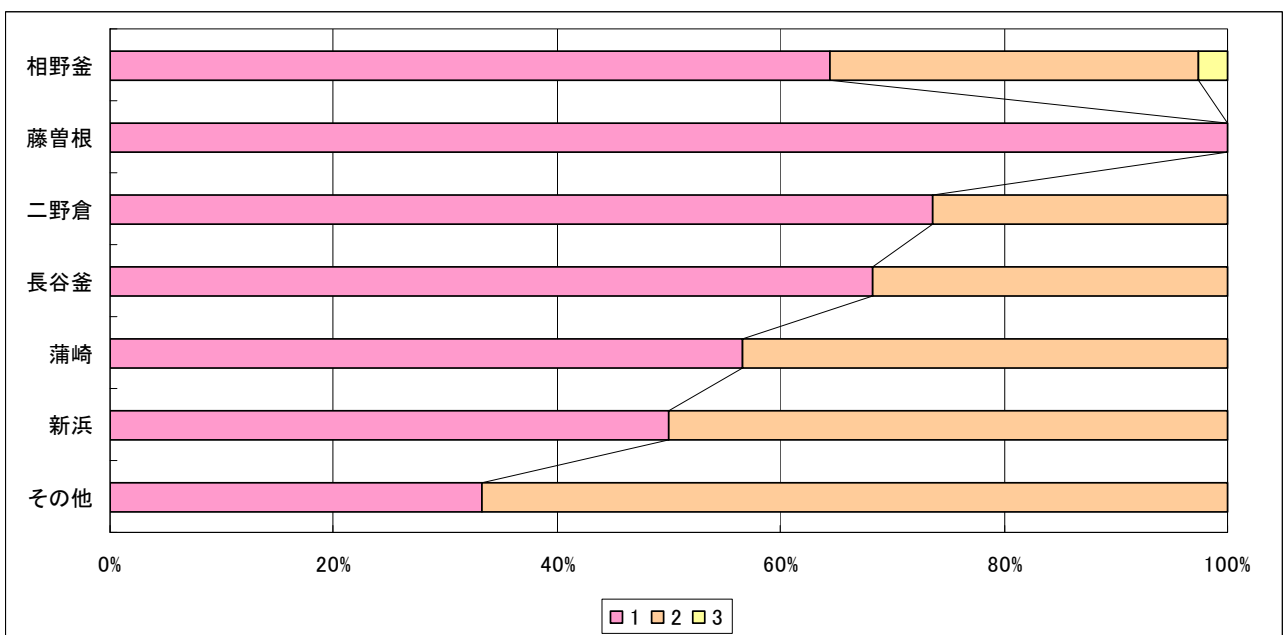
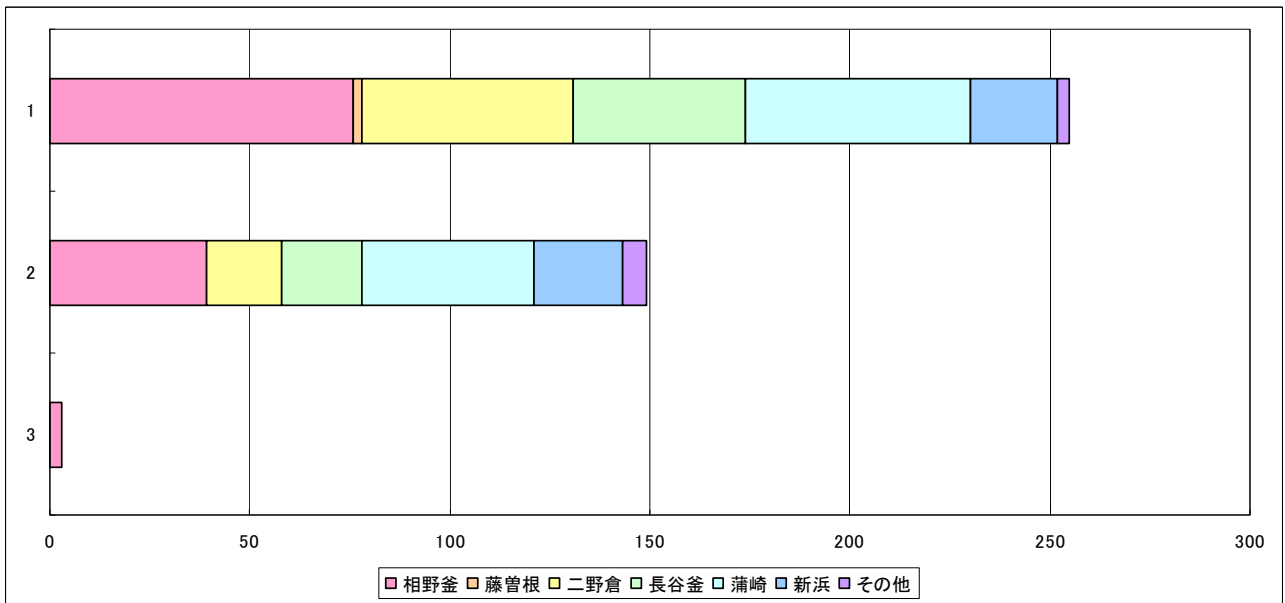
| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 5    | 12   | 18   | 11   | 23   | 34   | 25   | 13    | 141 | 34.1% |
| 2    | 0    | 0    | 1    | 0    | 2    | 4    | 0    | 0     | 7   | 1.7%  |
| 3    | 1    | 9    | 17   | 15   | 22   | 35   | 16   | 13    | 128 | 30.9% |
| 4    | 2    | 9    | 8    | 5    | 11   | 14   | 5    | 3     | 57  | 13.8% |
| 5    | 10   | 11   | 15   | 13   | 14   | 40   | 23   | 11    | 137 | 33.1% |
| 6    | 12   | 16   | 32   | 18   | 41   | 70   | 35   | 17    | 241 | 58.2% |
| 7    | 6    | 16   | 21   | 9    | 11   | 21   | 10   | 9     | 103 | 24.9% |
| 8    | 12   | 19   | 22   | 16   | 16   | 19   | 7    | 1     | 112 | 27.1% |
| 9    | 1    | 8    | 10   | 9    | 16   | 44   | 25   | 15    | 128 | 30.9% |
| 10   | 1    | 8    | 13   | 5    | 9    | 5    | 2    | 2     | 45  | 10.9% |
| 11   | 0    | 1    | 2    | 2    | 6    | 11   | 4    | 1     | 27  | 6.5%  |
| 12   | 5    | 4    | 9    | 7    | 17   | 22   | 10   | 2     | 76  | 18.4% |
| 13   | 0    | 0    | 0    | 0    | 4    | 3    | 0    | 0     | 7   | 1.7%  |
| 回答者数 | 19   | 39   | 56   | 37   | 65   | 108  | 59   | 31    | 414 |       |



(2) 将来のコミュニティのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位でまとまってコミュニティを維持した方がよい
- 2 これまでの地区にこだわらず、新しいコミュニティを作った方がよい
- 3 その他（具体的に

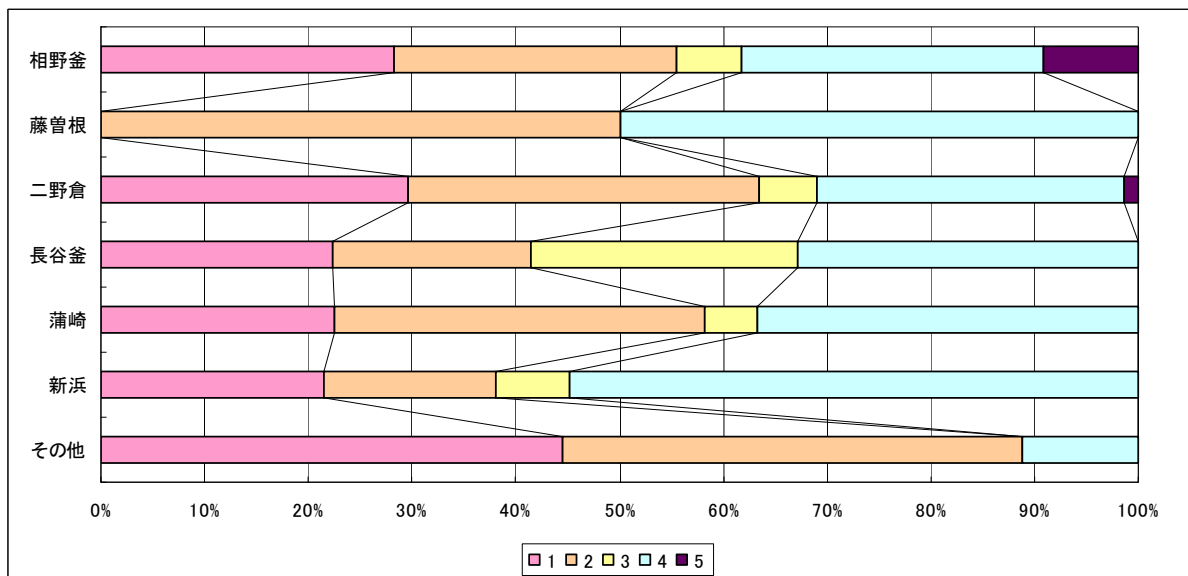
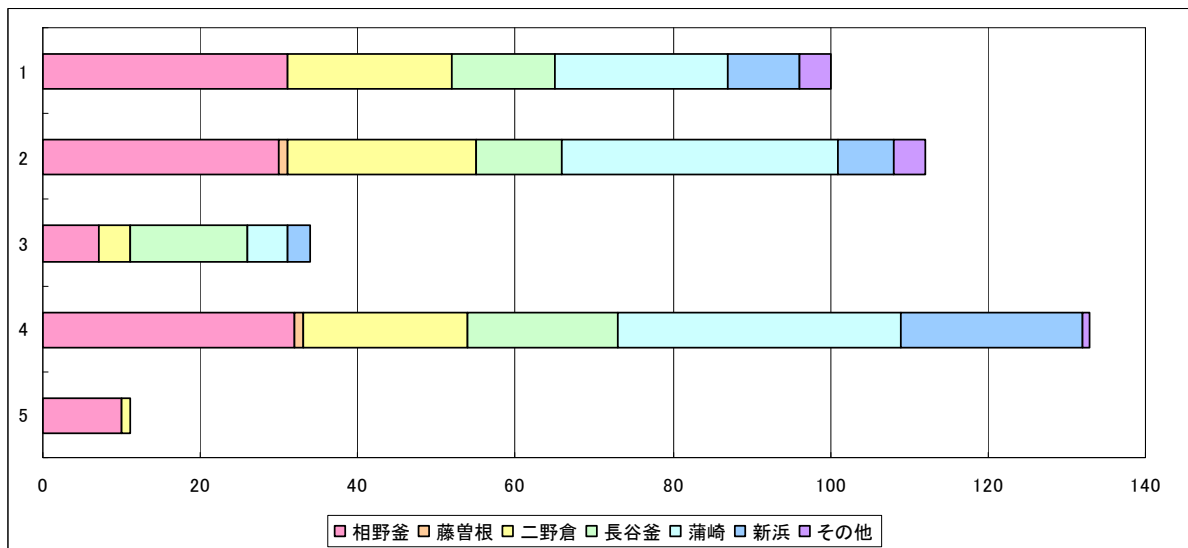
| 区分 | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計   | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|--------|
| 1  | 76  | 2   | 53  | 43  | 56 | 22 | 3   | 255 | 62.7%  |
| 2  | 39  | 0   | 19  | 20  | 43 | 22 | 6   | 149 | 36.6%  |
| 3  | 3   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 3   | 0.7%   |
| 計  | 118 | 2   | 72  | 63  | 99 | 44 | 9   | 407 | 100.0% |



(3) コミュニティを維持していく、または新しいコミュニティを形成するために必要と思われることはどんなことですか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 風習や祭りなど、従来から地区のみんなで行ってきた活動を引き継ぐ
- 2 新しい風習や祭りなどを作り出して、地区のみんなで行う活動する
- 3 従来のある地区にあったシンボルとなるものを玉浦西地区に移転する
- 4 新しい地区のシンボルとなるものを玉浦西地区につくる
- 5 その他（具体的に

| 区分 | 相野釜 | 藤曾根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計   | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|--------|
| 1  | 31  | 0   | 21  | 13  | 22 | 9  | 4   | 100 | 25.6%  |
| 2  | 30  | 1   | 24  | 11  | 35 | 7  | 4   | 112 | 28.7%  |
| 3  | 7   | 0   | 4   | 15  | 5  | 3  | 0   | 34  | 8.7%   |
| 4  | 32  | 1   | 21  | 19  | 36 | 23 | 1   | 133 | 34.1%  |
| 5  | 10  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0   | 11  | 2.8%   |
| 計  | 110 | 2   | 71  | 58  | 98 | 42 | 9   | 390 | 100.0% |





(4) 地区のコミュニティを維持、継承していくために必要となる各地区の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご自由にご記入ください。

①風習・行事等

- ・祭り（春、夏、秋）、岩沼市民まつり、七夕祭り、学習館まつり－33件
- ・スポーツ、球技大会、運動会－24件
- ・盆踊り－11件
- ・花見、畑作業、収穫祭－9件
- ・バーベキュー大会－5件
- ・太鼓、みこし、子供みこし－5件
- ・芋煮会－4件
- ・清掃・美化活動、草取り－3件
- ・新年の行事、新年会、もちつき、どんと祭－2件
- ・避難訓練、防災訓練－1件

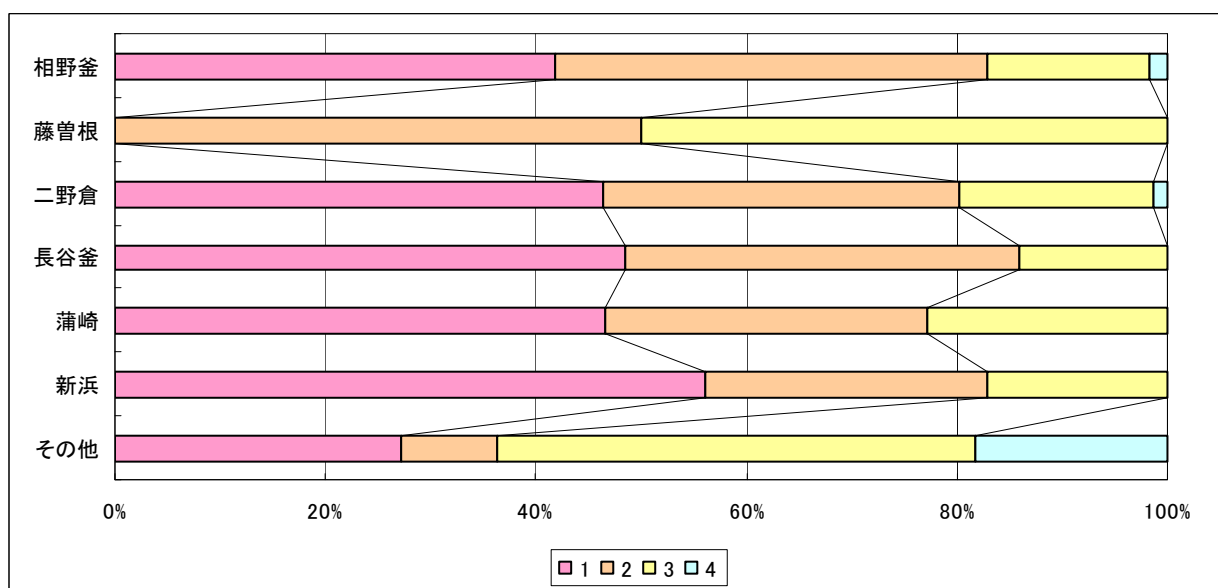
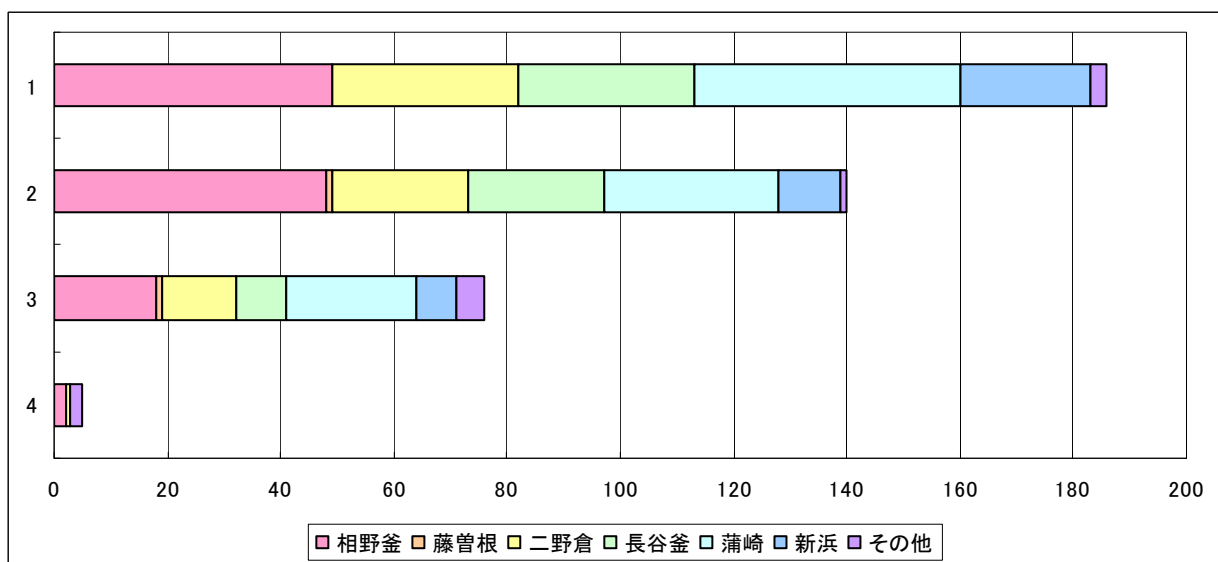
②シンボルとなる施設等

- ・風景、自然（松林、イチョウの木、百日紅）－12件
- ・神社（熊野神社、白山姫神社）－10件
- ・コミュニティセンター、集会所（レクリエーション、サークル活動）－9件
- ・震災に関する式典（石碑の建立、鎮魂の祭）－3件
- ・記念碑、公園（朝日山公園）－3件
- ・新しいシンボルを作る－1件
- ・貞山掘－1件
- ・弘法大師－1件

(5) 玉浦西地区にこれまでの地区（6集落）をどのように配置したら良いと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区を基本とした配置がよい
- 2 これまで住んでいた地区をもとに他の地区とゆるやかにつながる配置がよい
- 3 これまでの地区にこだわらないで、各個人の希望を優先するなど、自由に配置した方がよい
- 4 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

| 区分 | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎  | 新浜 | その他 | 計   | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|--------|
| 1  | 49  | 0   | 33  | 31  | 47  | 23 | 3   | 186 | 45.7%  |
| 2  | 48  | 1   | 24  | 24  | 31  | 11 | 1   | 140 | 34.4%  |
| 3  | 18  | 1   | 13  | 9   | 23  | 7  | 5   | 76  | 18.7%  |
| 4  | 2   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0  | 2   | 5   | 1.2%   |
| 計  | 117 | 2   | 71  | 64  | 101 | 41 | 11  | 407 | 100.0% |

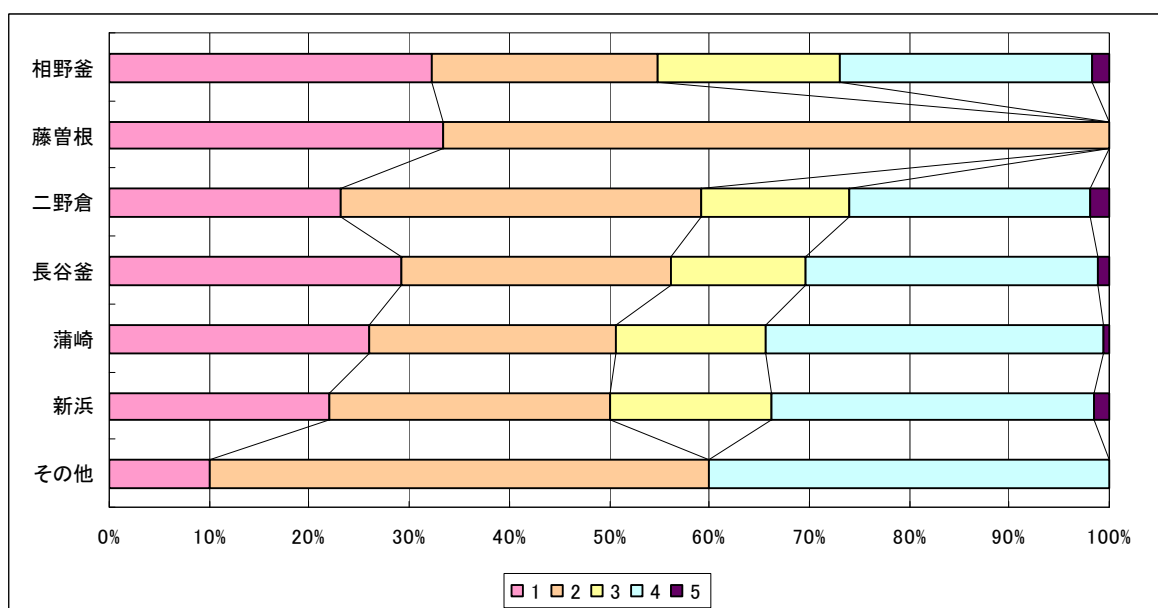
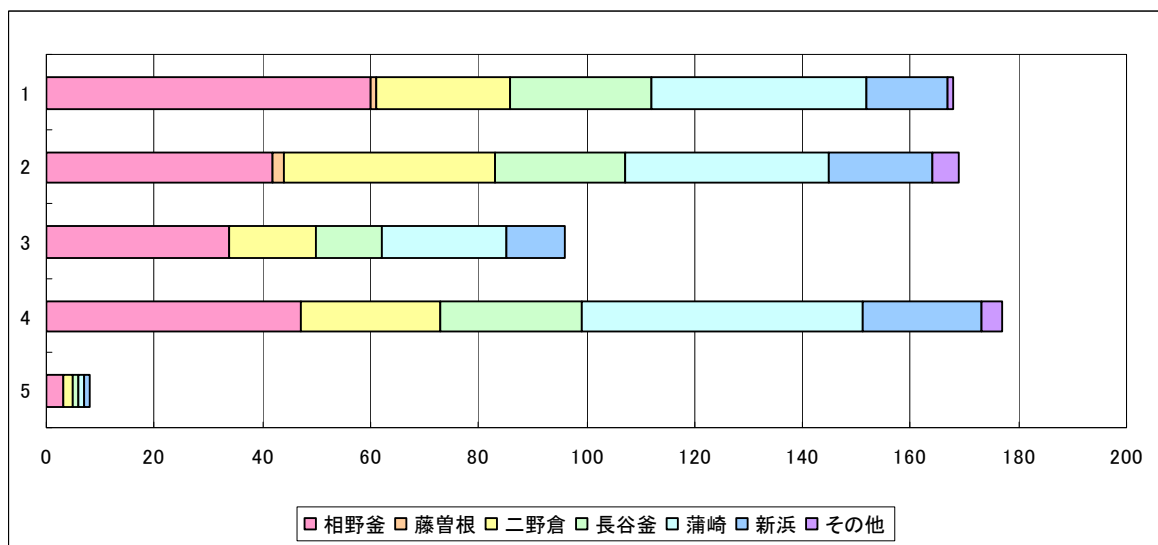


(6) 玉浦西地区の周辺の住民の方とどのようなつきあい方をされますか。次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 友達や知り合いの家にお互いに訪問するなど密接なつきあい
- 2 地区の祭りや学校行事などに相互に参加するようなつきあい
- 3 親や親戚の家に行く程度のつきあい
- 4 まちであったらあいさつする程度のつきあい
- 5 その他（具体的に

)

| 区分   | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎  | 新浜 | その他 | 計   | 回答率   |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 1    | 60  | 1   | 25  | 26  | 40  | 15 | 1   | 168 | 40.7% |
| 2    | 42  | 2   | 39  | 24  | 38  | 19 | 5   | 169 | 40.9% |
| 3    | 34  | 0   | 16  | 12  | 23  | 11 | 0   | 96  | 23.2% |
| 4    | 47  | 0   | 26  | 26  | 52  | 22 | 4   | 177 | 42.9% |
| 5    | 3   | 0   | 2   | 1   | 1   | 1  | 0   | 8   | 1.9%  |
| 回答者数 | 118 | 2   | 73  | 64  | 103 | 44 | 9   | 413 |       |

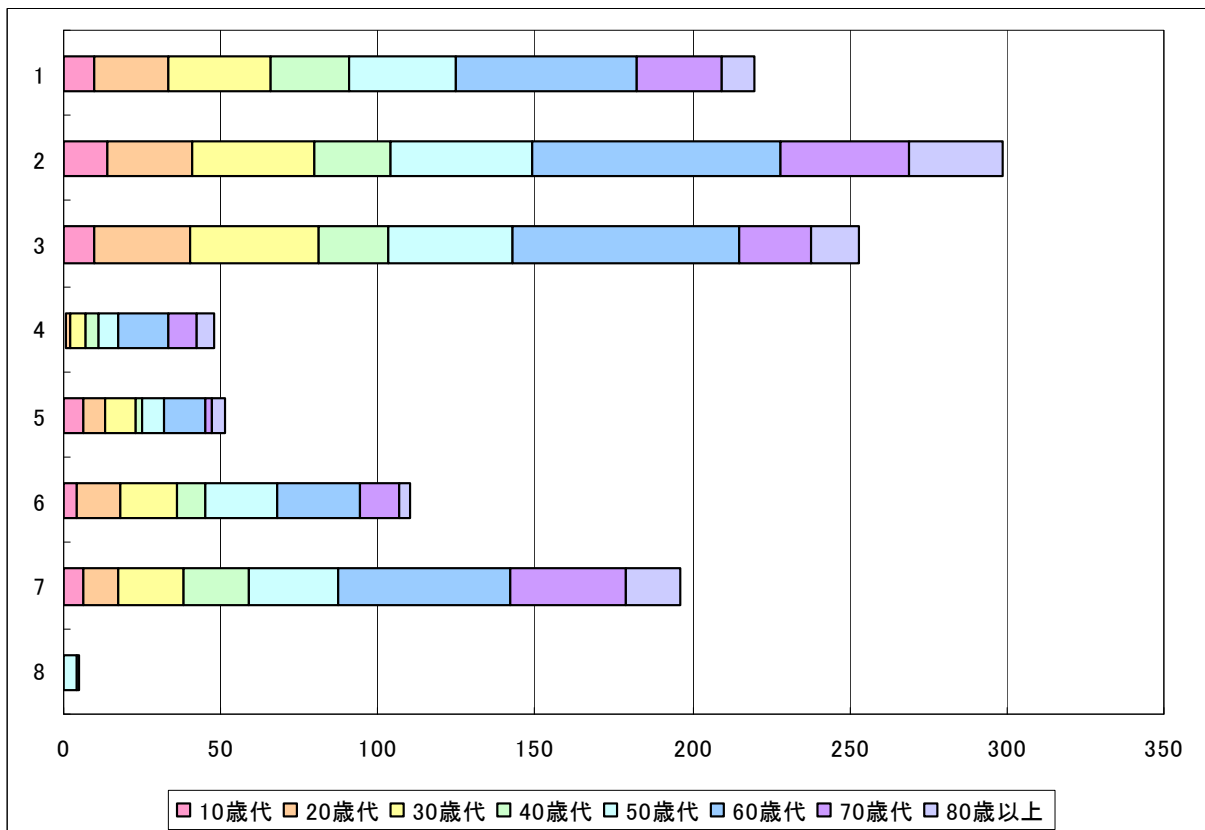


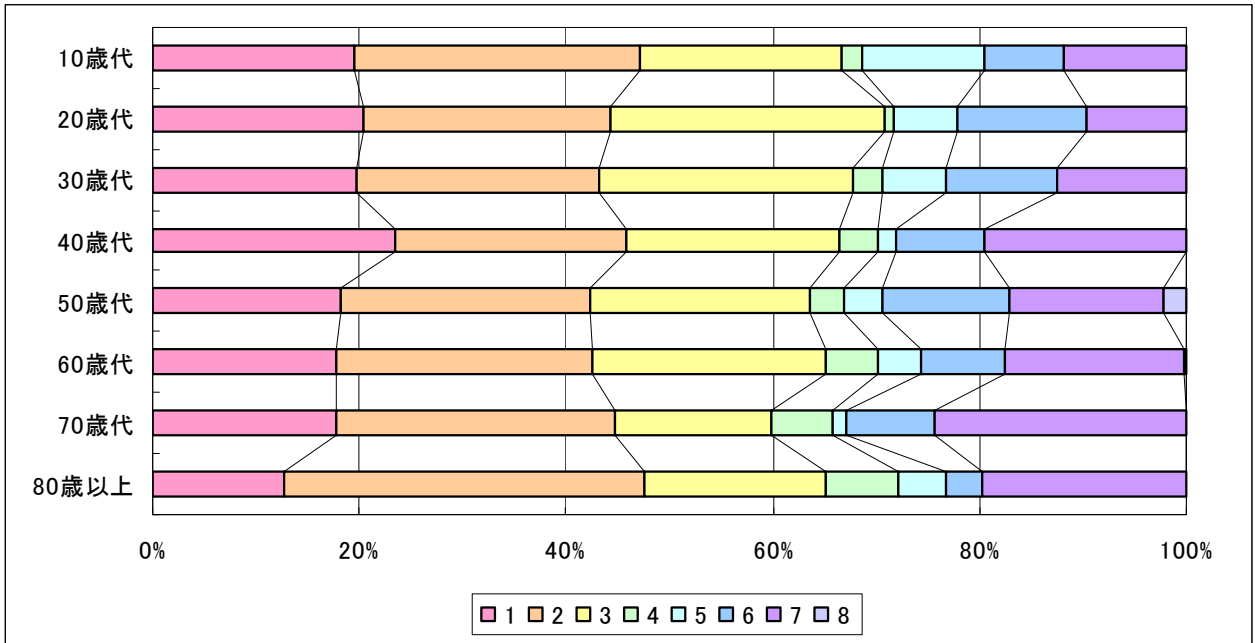
(7) 玉浦西地区の整備にあたり、道路や公園などの公共施設の整備で特に配慮すべきと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 車がスムーズに走れるような広い車道の整備
- 2 歩行者が安心して歩けるような広い歩道の整備
- 3 のびのび遊んだり、散歩ができるような広い公園の整備
- 4 花壇などの手入れができる身近な小さい公園の整備
- 5 水と親しめる水路や池の整備
- 6 街路樹や公園の植栽（しよくさい）などの緑化
- 7 集会所等の地区の活動を支える交流施設の整備
- 8 その他（具体的に

)

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 10   | 23   | 33   | 25   | 34   | 57   | 27   | 11    | 220 | 53.1% |
| 2    | 14   | 27   | 39   | 24   | 45   | 79   | 41   | 30    | 299 | 72.2% |
| 3    | 10   | 30   | 41   | 22   | 40   | 72   | 23   | 15    | 253 | 61.1% |
| 4    | 1    | 1    | 5    | 4    | 6    | 16   | 9    | 6     | 48  | 11.6% |
| 5    | 6    | 7    | 10   | 2    | 7    | 13   | 2    | 4     | 51  | 12.3% |
| 6    | 4    | 14   | 18   | 9    | 23   | 26   | 13   | 3     | 110 | 26.6% |
| 7    | 6    | 11   | 21   | 21   | 28   | 55   | 37   | 17    | 196 | 47.3% |
| 8    | 0    | 0    | 0    | 0    | 4    | 1    | 0    | 0     | 5   | 1.2%  |
| 回答者数 | 19   | 39   | 56   | 37   | 65   | 108  | 59   | 31    | 414 |       |

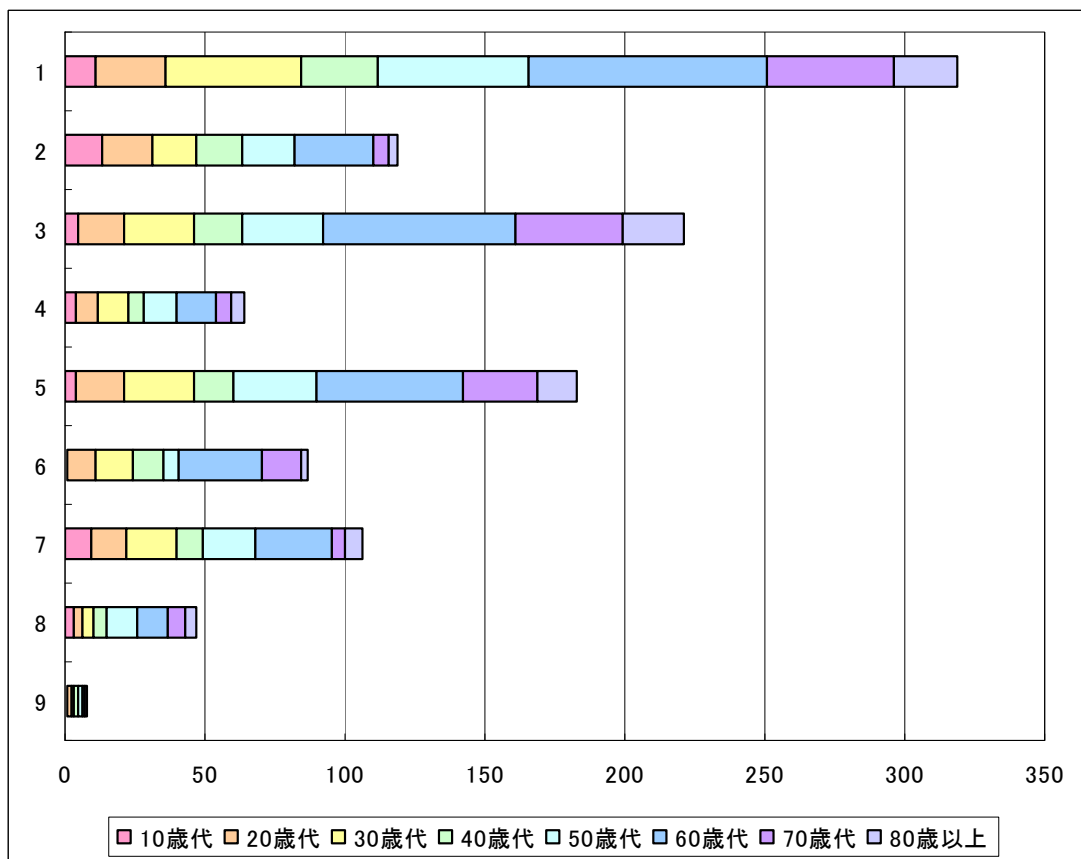


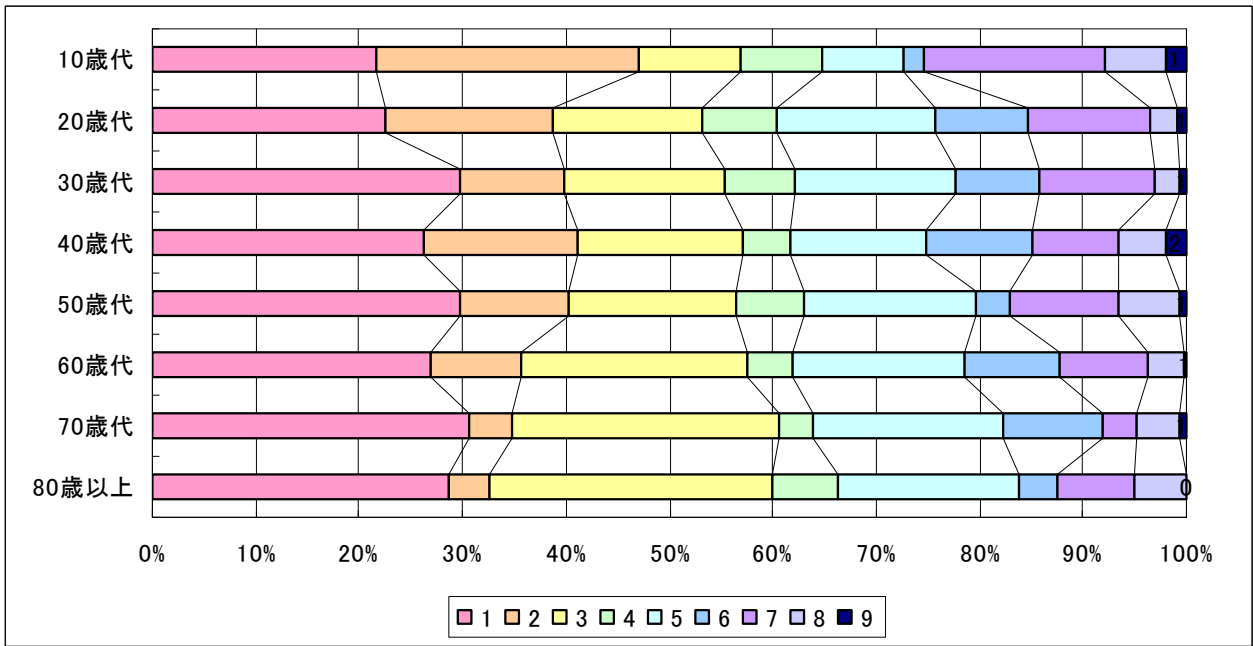


(8) 玉浦西地区の整備にあたり、必要な生活利便施設等はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 スーパー等の生鮮食料品などを扱う小売店舗
- 2 24時間利用できるコンビニエンスストア
- 3 小児科・内科・眼科などの医療施設
- 4 調剤薬局・ドラッグストア  
ちやうざい
- 5 銀行・郵便局
- 6 ATM（現金自動預け払い機）
- 7 飲食店
- 8 学校・専門学校等
- 9 その他（具体的に）

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 11   | 25   | 48   | 28   | 54   | 85   | 45   | 23    | 319 | 77.1% |
| 2    | 13   | 18   | 16   | 16   | 19   | 28   | 6    | 3     | 119 | 28.7% |
| 3    | 5    | 16   | 25   | 17   | 29   | 69   | 38   | 22    | 221 | 53.4% |
| 4    | 4    | 8    | 11   | 5    | 12   | 14   | 5    | 5     | 64  | 15.5% |
| 5    | 4    | 17   | 25   | 14   | 30   | 52   | 27   | 14    | 183 | 44.2% |
| 6    | 1    | 10   | 13   | 11   | 6    | 29   | 14   | 3     | 87  | 21.0% |
| 7    | 9    | 13   | 18   | 9    | 19   | 27   | 5    | 6     | 106 | 25.6% |
| 8    | 3    | 3    | 4    | 5    | 11   | 11   | 6    | 4     | 47  | 11.4% |
| 9    | 1    | 1    | 1    | 2    | 1    | 1    | 1    | 0     | 8   | 1.9%  |
| 回答者数 | 19   | 39   | 56   | 37   | 65   | 108  | 59   | 31    | 414 |       |

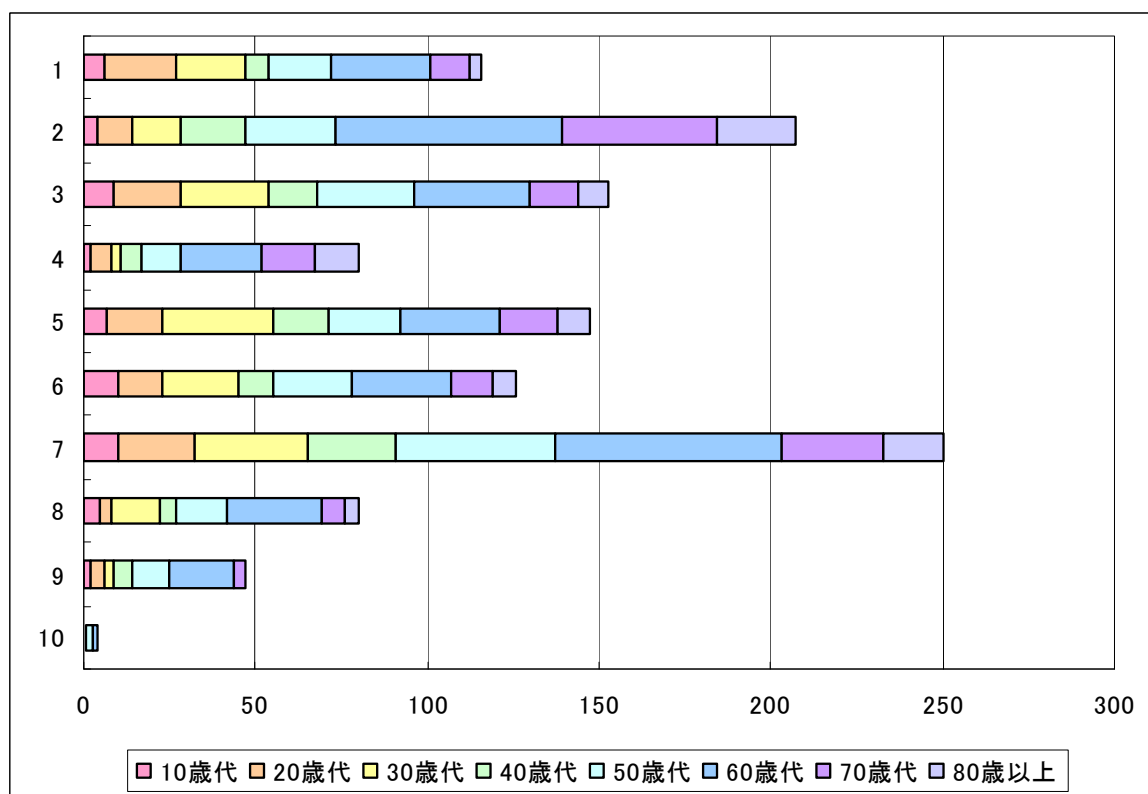




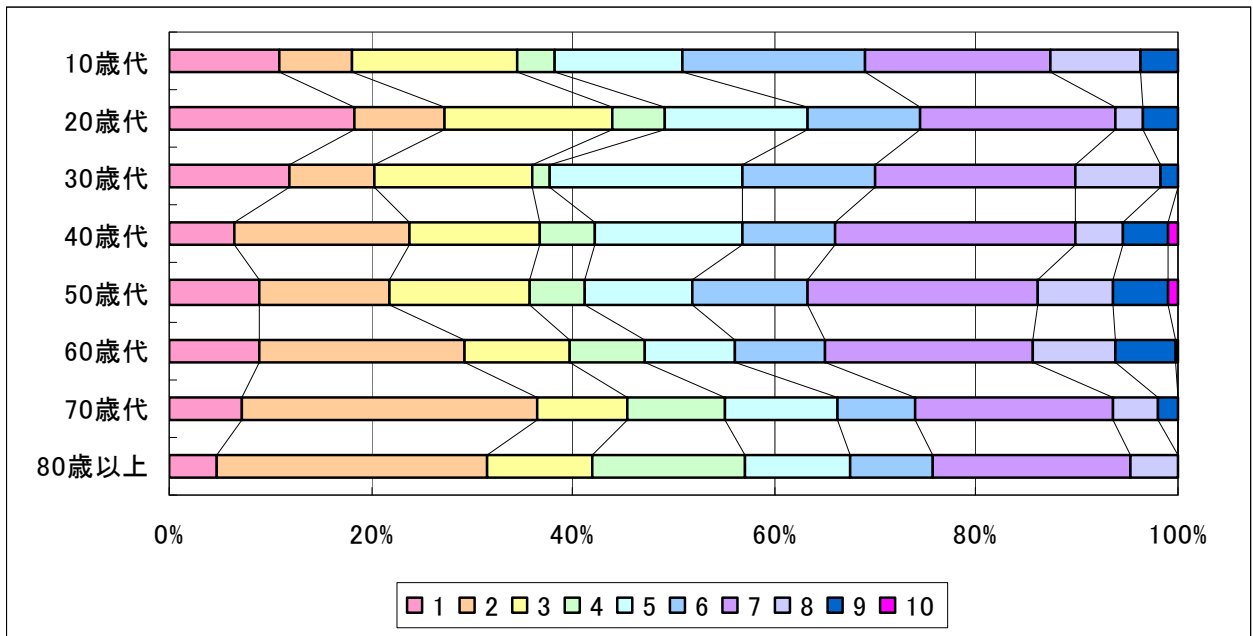
(9) 玉浦西地区の整備にあたり、安全・安心なまちづくりをするために必要なものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てを支援する施設（保育所等）
- 2 高齢者等の介護を支援する施設（デイサービスセンター等）
- 3 交通安全施設の整備や段差の小さい安全な道路（通学路、歩道の整備）
- 4 災害公営住宅のバリアフリー化
- 5 子どもたちを守るための防犯設備（防犯カメラや通報ブザーなど）
- 6 地区内に避難施設を整備し、水や食料品等を備蓄する
- 7 梅雨前線や台風等による大雨（ゲリラ豪雨等）に対応できる排水機能の整備
- 8 西風等から宅地を守る居久根
- 9 自主防災組織の設立
- 10 その他（具体的に

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 6    | 21   | 20   | 7    | 18   | 29   | 11   | 4     | 116 | 28.0% |
| 2    | 4    | 10   | 14   | 19   | 26   | 66   | 45   | 23    | 207 | 50.0% |
| 3    | 9    | 19   | 26   | 14   | 28   | 34   | 14   | 9     | 153 | 37.0% |
| 4    | 2    | 6    | 3    | 6    | 11   | 24   | 15   | 13    | 80  | 19.3% |
| 5    | 7    | 16   | 32   | 16   | 21   | 29   | 17   | 9     | 147 | 35.5% |
| 6    | 10   | 13   | 22   | 10   | 23   | 29   | 12   | 7     | 126 | 30.4% |
| 7    | 10   | 22   | 33   | 26   | 46   | 66   | 30   | 17    | 250 | 60.4% |
| 8    | 5    | 3    | 14   | 5    | 15   | 27   | 7    | 4     | 80  | 19.3% |
| 9    | 2    | 4    | 3    | 5    | 11   | 19   | 3    | 0     | 47  | 11.4% |
| 10   | 0    | 0    | 0    | 1    | 2    | 1    | 0    | 0     | 4   | 1.0%  |
| 回答者数 | 19   | 39   | 56   | 37   | 65   | 108  | 59   | 31    | 414 |       |



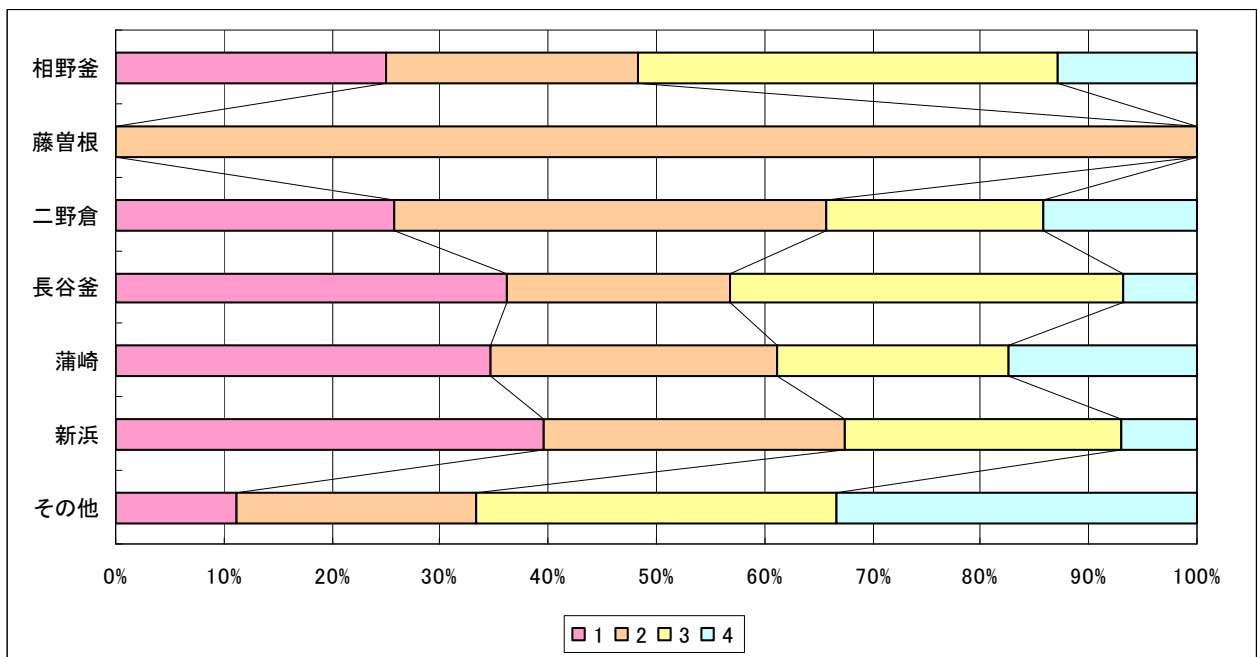
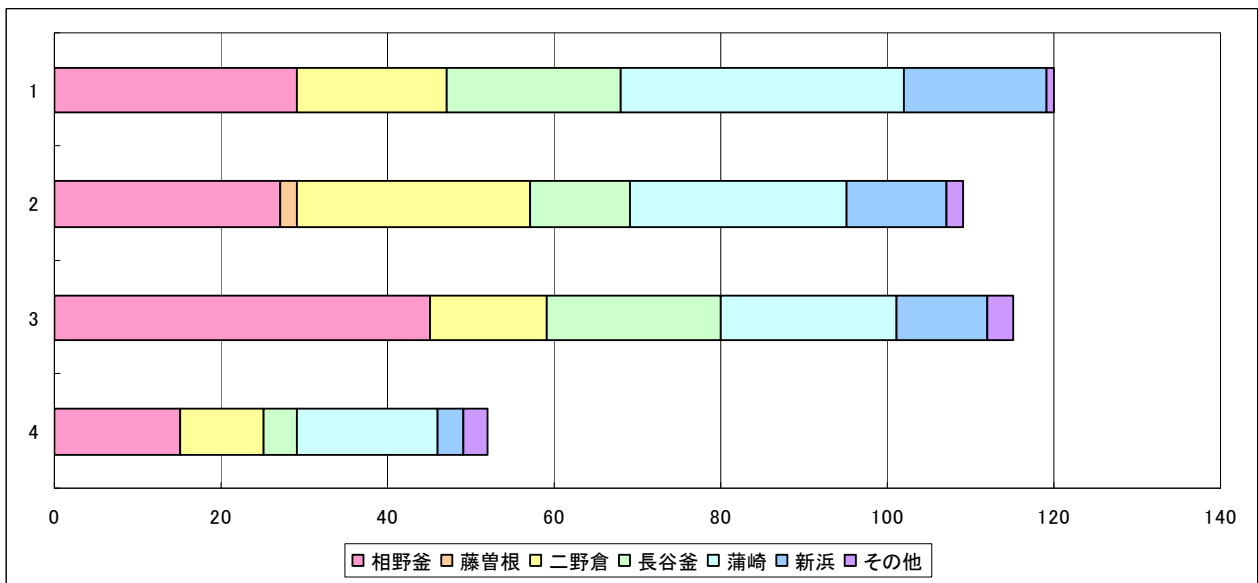




(10) 震災前にお住まいになられていたご自宅又はその周辺に「居久根」はありましたか。

- 1 自宅に居久根があった
- 2 自宅周辺に居久根があった
- 3 自宅やその周辺に居久根はなかった
- 4 わからない

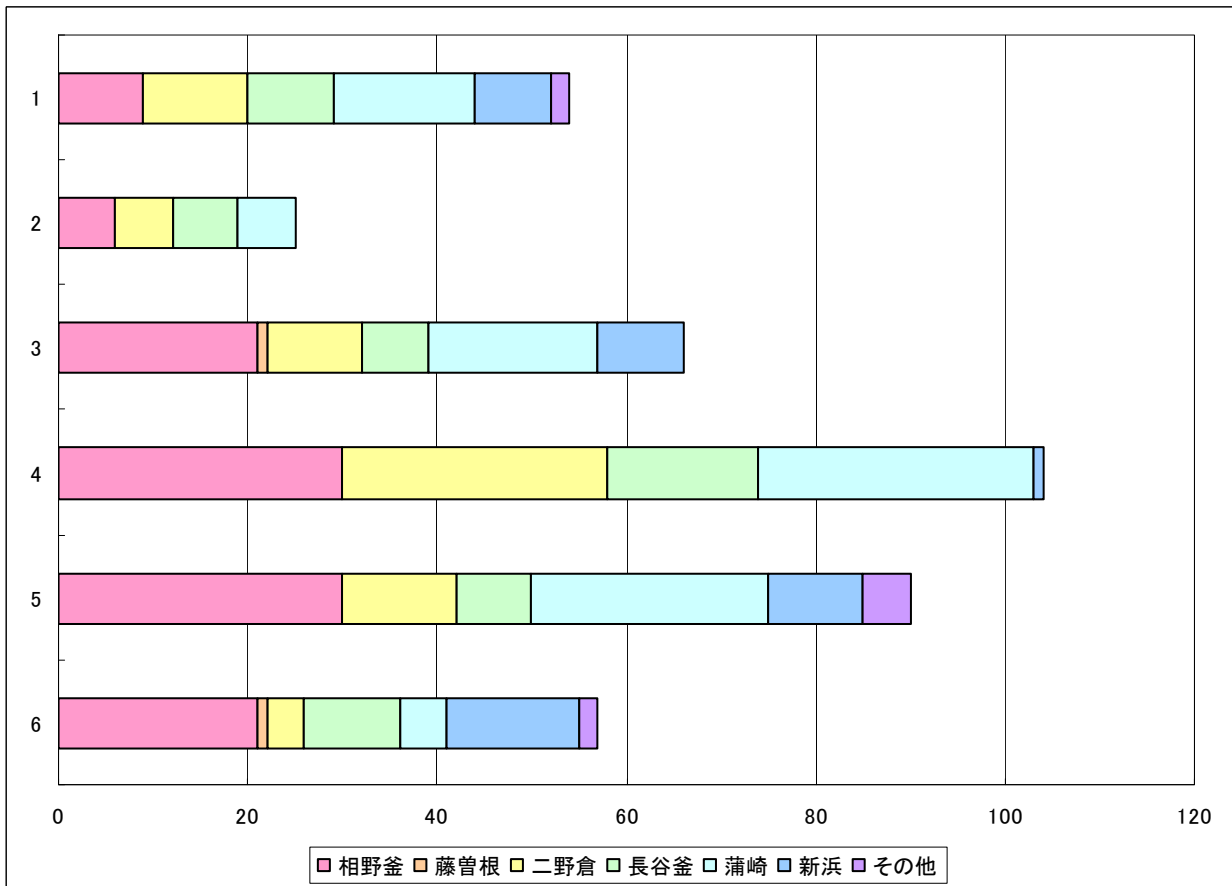
| 区分 | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計   | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|--------|
| 1  | 29  | 0   | 18  | 21  | 34 | 17 | 1   | 120 | 30.3%  |
| 2  | 27  | 2   | 28  | 12  | 26 | 12 | 2   | 109 | 27.5%  |
| 3  | 45  | 0   | 14  | 21  | 21 | 11 | 3   | 115 | 29.0%  |
| 4  | 15  | 0   | 10  | 4   | 17 | 3  | 3   | 52  | 13.1%  |
| 計  | 116 | 2   | 70  | 58  | 98 | 43 | 9   | 396 | 100.0% |

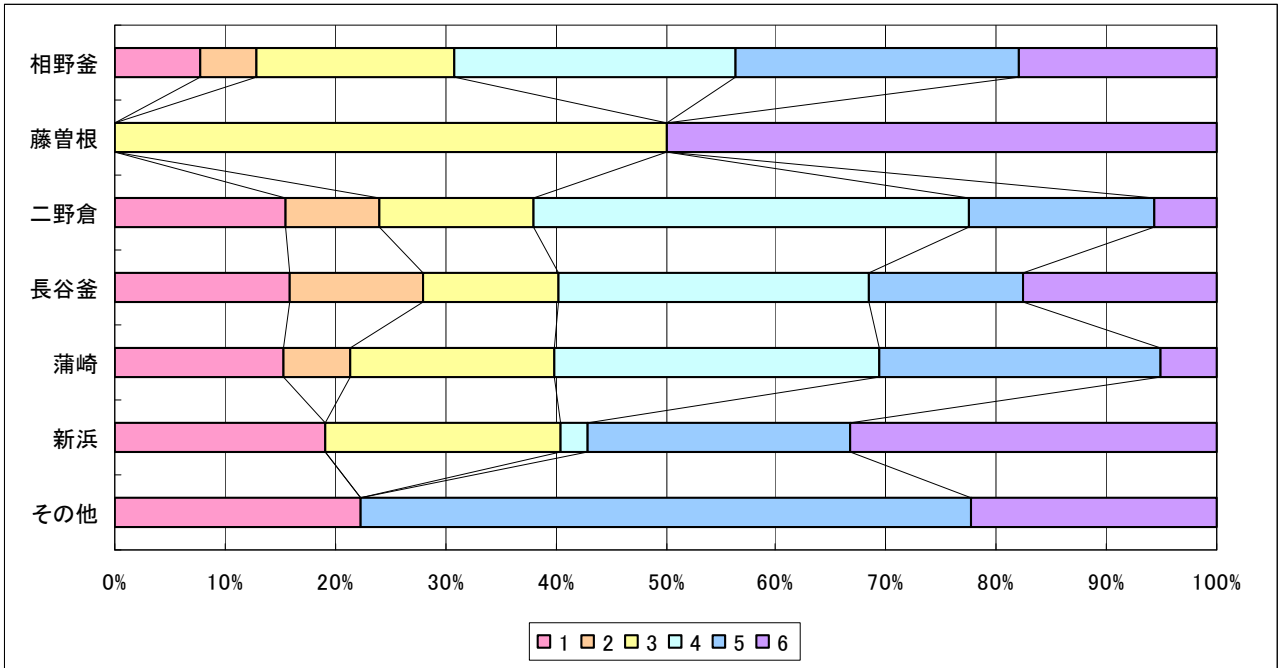


(11) 玉浦西地区での居久根についてどのように考えますか。次の中から 1つ 選んでください。

- 1 自宅の敷地内に居久根を設けたい
- 2 地区で共同管理する居久根をつくりたい
- 3 公園や集合住宅等の一部にシンボルとなる居久根をつくりたい
- 4 玉浦西地区の周囲を囲うような居久根をつくりたい
- 5 わからない
- 6 玉浦西地区において居久根をつくる必要はない

| 区分 | 相野釜 | 藤曾根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計   | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|--------|
| 1  | 9   | 0   | 11  | 9   | 15 | 8  | 2   | 54  | 13.6%  |
| 2  | 6   | 0   | 6   | 7   | 6  | 0  | 0   | 25  | 6.3%   |
| 3  | 21  | 1   | 10  | 7   | 18 | 9  | 0   | 66  | 16.7%  |
| 4  | 30  | 0   | 28  | 16  | 29 | 1  | 0   | 104 | 26.3%  |
| 5  | 30  | 0   | 12  | 8   | 25 | 10 | 5   | 90  | 22.7%  |
| 6  | 21  | 1   | 4   | 10  | 5  | 14 | 2   | 57  | 14.4%  |
| 計  | 117 | 2   | 71  | 57  | 98 | 42 | 9   | 396 | 100.0% |

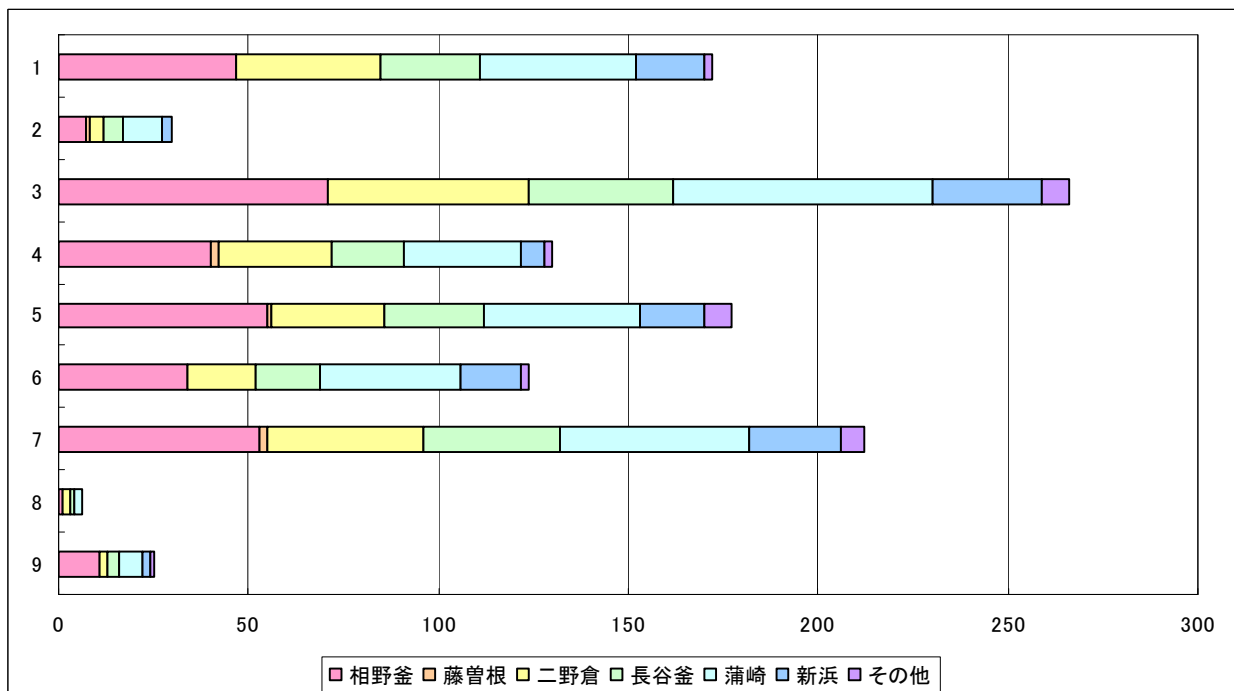


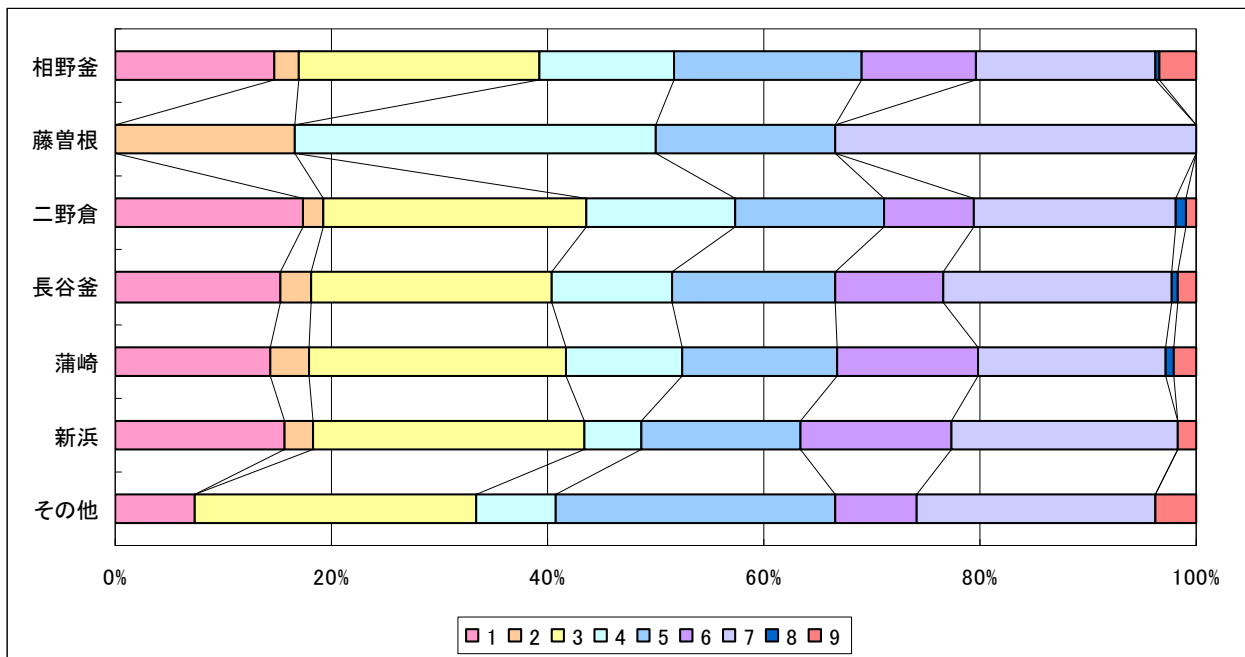


(12) 良好なまちづくりを進めていくためのルールとして、どのようなものが必要と思われますか。  
次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 塀や柵に関するルール（ブロック塀ではなく生け垣にするなど）
- 2 屋根や壁の色に関するルール（地区全体で同系色に統一するなど）
- 3 敷地の境界から建物までの距離に関するルール（ゆとりある空間を確保するため近づけすぎないなど）
- 4 建築できる建物の用途に関するルール（住環境上好ましくない建築物を制限するなど）
- 5 建物の高さに関するルール（日照や通風を確保するため最高限度を決めるなど）
- 6 敷地面積の最低限度に関するルール（ゆとりある空間を確保するため敷地の大きさに最低限度を設けるなど）
- 7 ペットに関するルール（家での飼い方、公園での遊ばせ方など）
- 8 その他（具体的に )
- 9 特にない

| 区分   | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎  | 新浜 | その他 | 計   | 回答率   |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 1    | 47  | 0   | 38  | 26  | 41  | 18 | 2   | 172 | 41.6% |
| 2    | 7   | 1   | 4   | 5   | 10  | 3  | 0   | 30  | 7.3%  |
| 3    | 71  | 0   | 53  | 38  | 68  | 29 | 7   | 266 | 64.4% |
| 4    | 40  | 2   | 30  | 19  | 31  | 6  | 2   | 130 | 31.5% |
| 5    | 55  | 1   | 30  | 26  | 41  | 17 | 7   | 177 | 42.9% |
| 6    | 34  | 0   | 18  | 17  | 37  | 16 | 2   | 124 | 30.0% |
| 7    | 53  | 2   | 41  | 36  | 50  | 24 | 6   | 212 | 51.3% |
| 8    | 1   | 0   | 2   | 1   | 2   | 0  | 0   | 6   | 1.5%  |
| 9    | 11  | 0   | 2   | 3   | 6   | 2  | 1   | 25  | 6.1%  |
| 回答者数 | 118 | 2   | 73  | 64  | 103 | 44 | 9   | 413 |       |





(13) 玉浦西地区でどのような生活(くらし)をしたいと思いますか。ご自由にご記入ください。

記入例：自宅近くの畑を借りて、トマトやきゅうりなどの野菜を育てて孫たちと休みの日を一緒にすごせるような生活がしたい

- ・畑を借りて(家庭菜園)色々な野菜をつくって暮らしたいー45件
- ・ゆとりのある生活、のんびり暮らしたいー19件
- ・地区のコミュニティを大切にして、近所の人と交流を図り楽しく暮らしたいー17件
- ・子供から高齢者まで、安全・安心に暮らしたいー15件
- ・家族が健康で楽しく、明るく笑いがある生活をしたいー11件
- ・静かに暮らしたいー11件
- ・家族と一緒に楽しく暮らしたいー10件
- ・趣味(スポーツ、音楽等)を生かした生活をしたいー4件
- ・普通の生活ー4件
- ・ペットと一緒に暮らしたいー2件
- ・隣と距離を置き、ゆとりの空間を確保したいー2件
- ・心身とも健康に暮らしたいー2件
- ・安定した生活ー1件
- ・以前のような暮らしがしたいー1件

(14) 玉浦西地区に期待すること、不安または心配に思うことなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

#### ①期待すること

- ・災害に強いまち－５３件
- ・交通の利便性（バス等）、各施設（ソーラー発電、電線地中化）の充実－１２件
- ・早く工事が着工し、自宅を建てたい－１０件
- ・緑化等の美化を推進した町－５件
- ・車両の交通が少なく、歩行者を優先した道路整備－２件
- ・活気があり、明るい生活を送ること－２件
- ・新しい町のルールやマニュアルの作成－２件
- ・若い人達が住んでみたいと思う町－２件
- ・人々が助け合う町－１件
- ・建物の耐震強化－１件
- ・子供達や高齢者が住みやすい町－１件

#### ②不安または心配に思うこと

- ・地盤沈下、液状化が心配－１６件
- ・近所つきあい、人間関係、隣りにどなたが来るか心配－１６件
- ・台風、豪雨による水害、排水不備－１４件
- ・個人負担、土地の価格等の資金面－１４件
- ・また同じように地震や津波が来ないか不安－１０件
- ・移転先が心配（東部道路の東側）－４件
- ・今後起きる災害で、避難できるか心配－３件
- ・集団移転に参加する人が少なく、減少している－２件
- ・住民の高齢化－２件
- ・６地区の位置、自宅を再建する場所－２件
- ・工事の完成時期について－２件
- ・騒音－１件
- ・平家建を予定しているが、日照が心配－１件
- ・居久根の清掃管理－１件
- ・集団移転することによる他地区住民からの差別－１件
- ・移転先がどうようになるのか心配－１件
- ・子供の泣き声が迷惑にならないか心配－１件
- ・住宅再建方法に迷っている－１件



# 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート結果速報

## (玉浦西地区以外に移転希望の方)

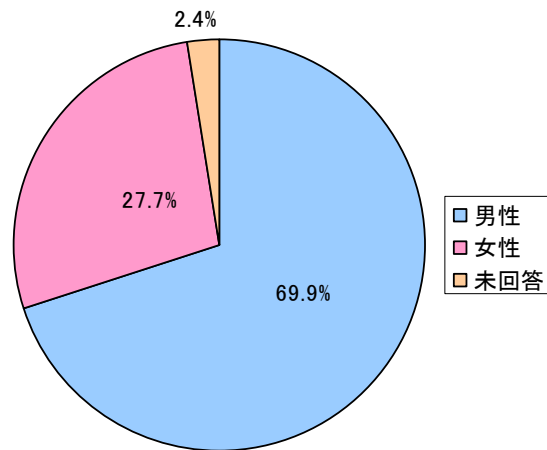
### 1. アンケート調査の概要

- ①調査対象 世帯ごとの回答
- ②調査方法 郵送による配布、回収
- ③調査期間 平成24年7月13日～平成24年7月23日
- ④集計時期 平成24年8月7日時点

## 2. 回答者の属性

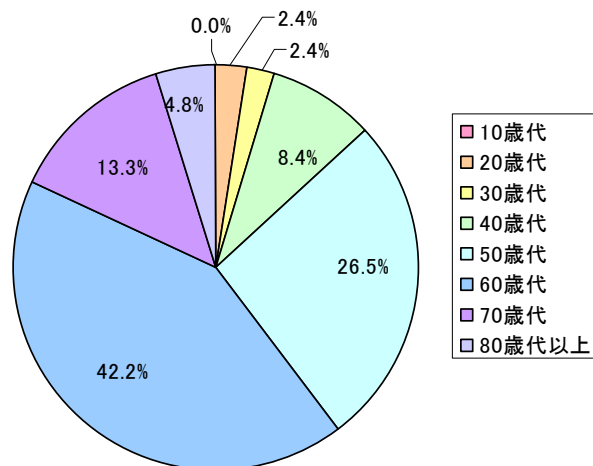
### ①性別

| 区分   | 人数 | 割合     |
|------|----|--------|
| 1 男性 | 58 | 69.9%  |
| 2 女性 | 23 | 27.7%  |
| 未回答  | 2  | 2.4%   |
| 計    | 83 | 100.0% |



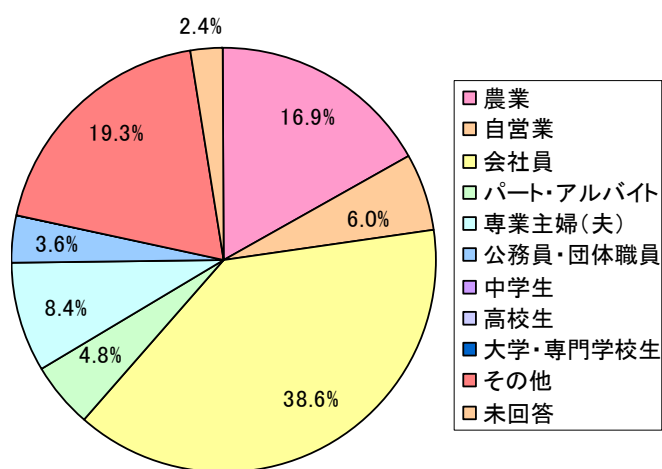
### ②年齢

| 区分       | 人数 | 割合     |
|----------|----|--------|
| 1 10歳代   | 0  | 0.0%   |
| 2 20歳代   | 2  | 2.4%   |
| 3 30歳代   | 2  | 2.4%   |
| 4 40歳代   | 7  | 8.4%   |
| 5 50歳代   | 22 | 26.5%  |
| 6 60歳代   | 35 | 42.2%  |
| 7 70歳代   | 11 | 13.3%  |
| 8 80歳代以上 | 4  | 4.8%   |
| 計        | 83 | 100.0% |



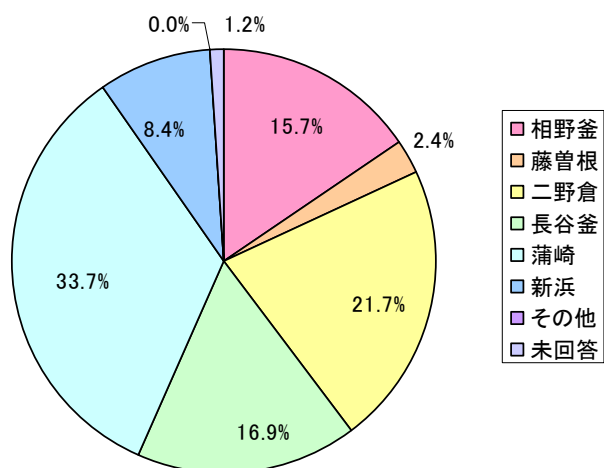
③職業

| 区分          | 人数 | 割合     |
|-------------|----|--------|
| 1 農業        | 14 | 16.9%  |
| 2 自営業       | 5  | 6.0%   |
| 3 会社員       | 32 | 38.6%  |
| 4 パート・アルバイト | 4  | 4.8%   |
| 5 専業主婦(夫)   | 7  | 8.4%   |
| 6 公務員・団体職員  | 3  | 3.6%   |
| 7 中学生       | 0  | 0.0%   |
| 8 高校生       | 0  | 0.0%   |
| 9 大学・専門学校生  | 0  | 0.0%   |
| 10 その他      | 16 | 19.3%  |
| 未回答         | 2  | 2.4%   |
| 計           | 83 | 100.0% |



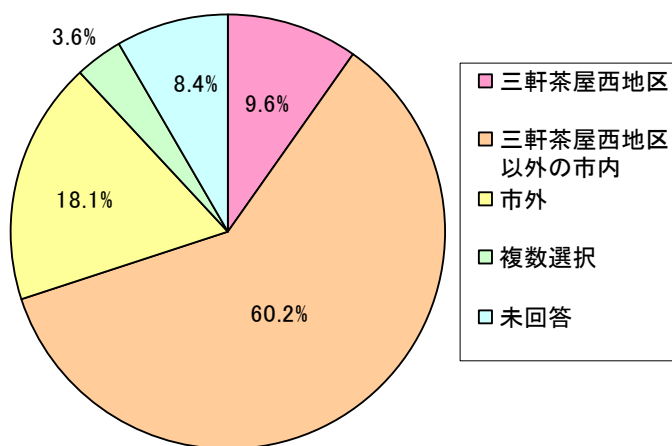
④震災前にお住まいだった地区名

| 区分    | 人数 | 割合     |
|-------|----|--------|
| 1 相野釜 | 13 | 15.7%  |
| 2 藤曽根 | 2  | 2.4%   |
| 3 二野倉 | 18 | 21.7%  |
| 4 長谷釜 | 14 | 16.9%  |
| 5 蒲崎  | 28 | 33.7%  |
| 6 新浜  | 7  | 8.4%   |
| 7 その他 | 0  | 0.0%   |
| 未回答   | 1  | 1.2%   |
| 計     | 83 | 100.0% |



⑤移転先

| 区分             | 人数 | 割合     |
|----------------|----|--------|
| 1 三軒茶屋西地区      | 8  | 9.6%   |
| 2 三軒茶屋西地区以外の市内 | 50 | 60.2%  |
| 3 市外           | 15 | 18.1%  |
| 複数選択           | 3  | 3.6%   |
| 未回答            | 7  | 8.4%   |
| 計              | 83 | 100.0% |

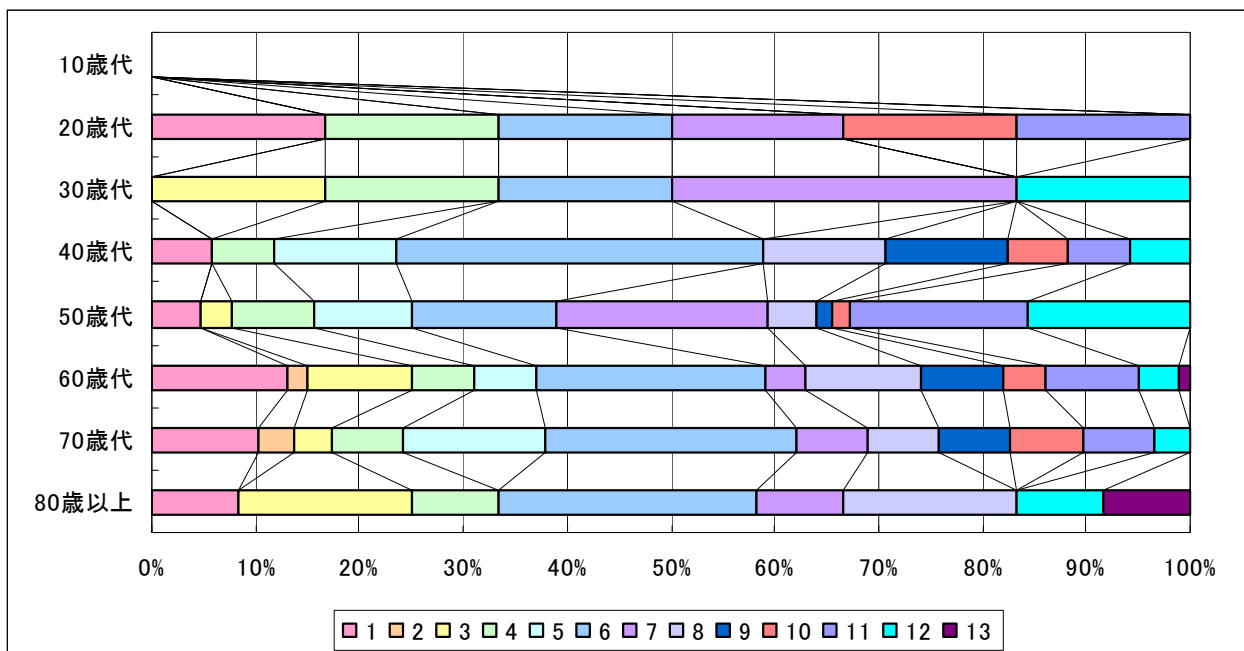
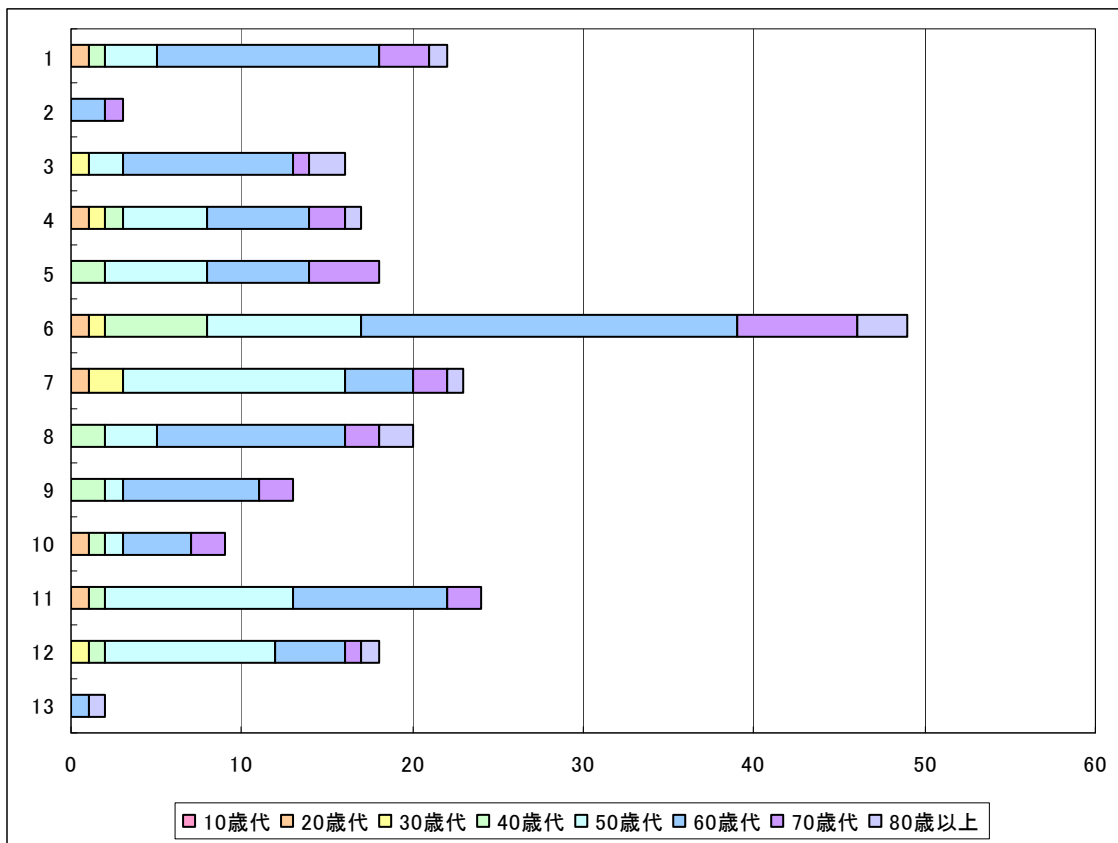


### 3. 設問別結果

(1) 玉浦西地区が将来どのようなまちになったら良いと思いますか。あなたのお考えに近いイメージを次の中から3つまで選んでください。

- 1 緑あふれる自然豊かなまち
- 2 歴史・文化・伝統などを活かしたまち
- 3 閑静な住環境のあるまち
- 4 商業施設などによる賑わいのあるまち
- 5 道路や歩道が充実したまち
- 6 災害に強いまち
- 7 公園や緑地が充実したまち
- 8 通勤通学に便利な公共交通が充実したまち
- 9 健康・福祉が充実したまち
- 10 子育て環境が充実したまち
- 11 地区外の人も多く集まる交流がさかんなまち
- 12 自然エネルギーを活用したまち
- 13 その他（具体的に

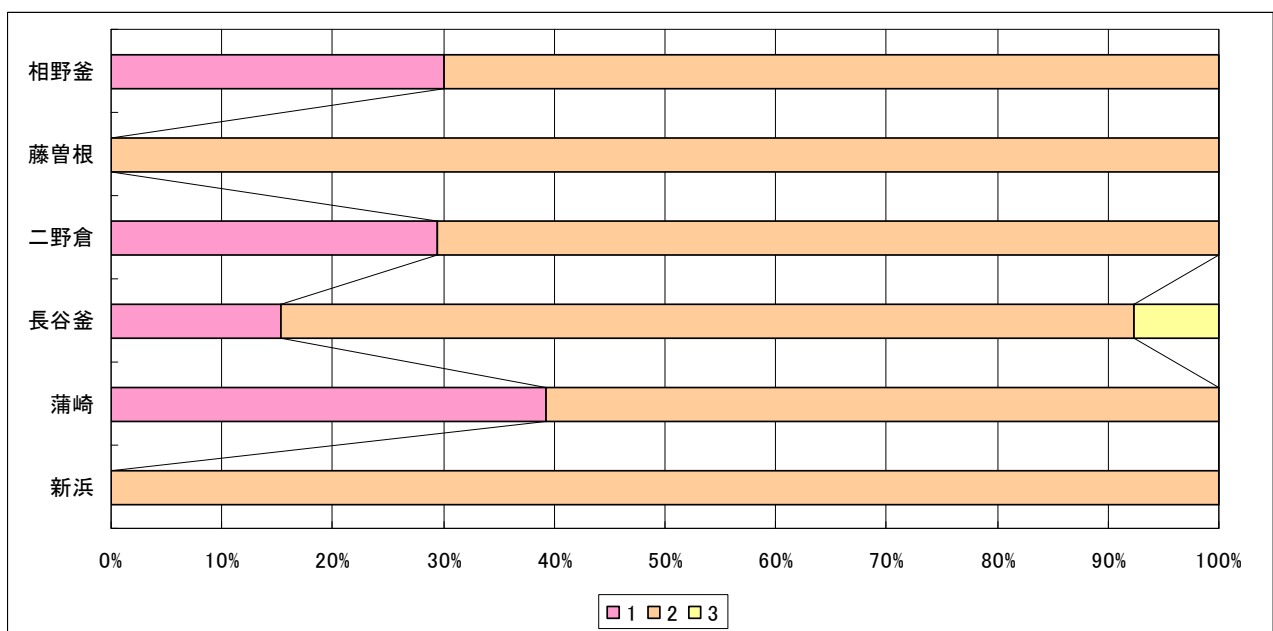
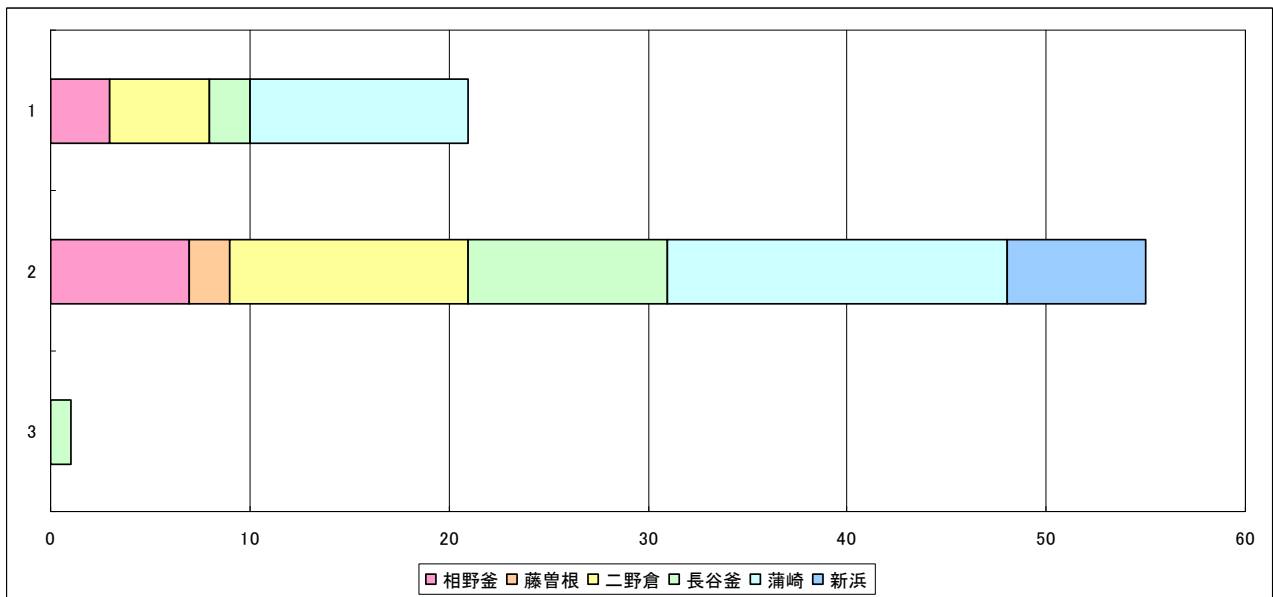
| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計  | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----|-------|
| 1    | 0    | 1    | 0    | 1    | 3    | 13   | 3    | 1     | 22 | 26.5% |
| 2    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 2    | 1    | 0     | 3  | 3.6%  |
| 3    | 0    | 0    | 1    | 0    | 2    | 10   | 1    | 2     | 16 | 19.3% |
| 4    | 0    | 1    | 1    | 1    | 5    | 6    | 2    | 1     | 17 | 20.5% |
| 5    | 0    | 0    | 0    | 2    | 6    | 6    | 4    | 0     | 18 | 21.7% |
| 6    | 0    | 1    | 1    | 6    | 9    | 22   | 7    | 3     | 49 | 59.0% |
| 7    | 0    | 1    | 2    | 0    | 13   | 4    | 2    | 1     | 23 | 27.7% |
| 8    | 0    | 0    | 0    | 2    | 3    | 11   | 2    | 2     | 20 | 24.1% |
| 9    | 0    | 0    | 0    | 2    | 1    | 8    | 2    | 0     | 13 | 15.7% |
| 10   | 0    | 1    | 0    | 1    | 1    | 4    | 2    | 0     | 9  | 10.8% |
| 11   | 0    | 1    | 0    | 1    | 11   | 9    | 2    | 0     | 24 | 28.9% |
| 12   | 0    | 0    | 1    | 1    | 10   | 4    | 1    | 1     | 18 | 21.7% |
| 13   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 1    | 0    | 1     | 2  | 2.4%  |
| 回答者数 | 0    | 2    | 2    | 7    | 22   | 35   | 11   | 4     | 83 |       |



(2) 将来のコミュニティのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位でまとまってコミュニティを維持した方がよい
- 2 これまでの地区にこだわらず、新しいコミュニティを作った方がよい
- 3 その他（具体的に )

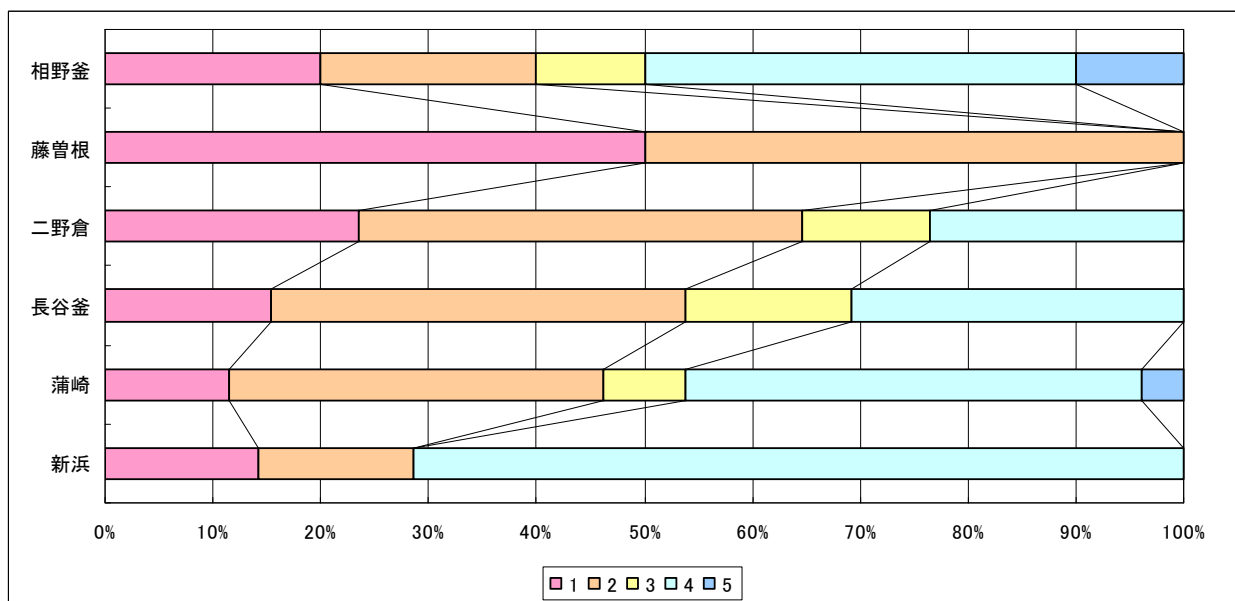
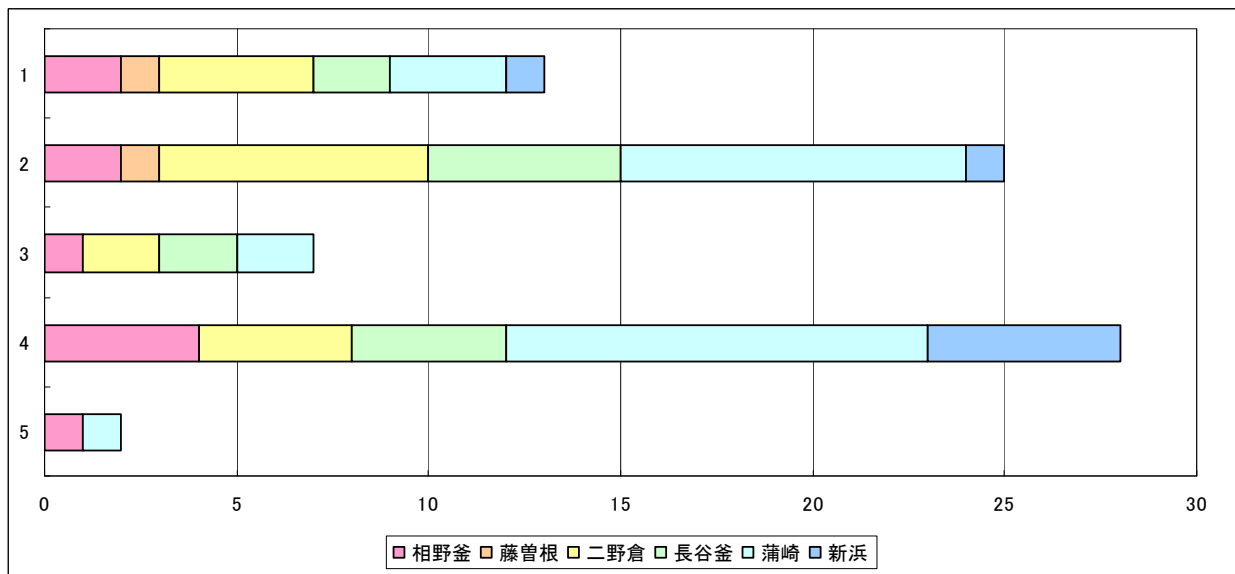
| 区分 | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計  | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|--------|
| 1  | 3   | 0   | 5   | 2   | 11 | 0  | 0   | 21 | 27.3%  |
| 2  | 7   | 2   | 12  | 10  | 17 | 7  | 0   | 55 | 71.4%  |
| 3  | 0   | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0   | 1  | 1.3%   |
| 計  | 10  | 2   | 17  | 13  | 28 | 7  | 0   | 77 | 100.0% |



(3) コミュニティを維持していく、または新しいコミュニティを形成するため必要と思われることはどんなことですか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 風習や祭りなど、従来から地区のみんなで行ってきた活動を引き継ぐ
- 2 新しい風習や祭りなどを作り出して、地区のみんなで活動する
- 3 従来のある地区にあったシンボルとなるものを玉浦西地区に移転する
- 4 新しい地区のシンボルとなるものを玉浦西地区につくる
- 5 その他（具体的に

| 区分 | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計  | 割合     |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|--------|
| 1  | 2   | 1   | 4   | 2   | 3  | 1  | 0   | 13 | 17.3%  |
| 2  | 2   | 1   | 7   | 5   | 9  | 1  | 0   | 25 | 33.3%  |
| 3  | 1   | 0   | 2   | 2   | 2  | 0  | 0   | 7  | 9.3%   |
| 4  | 4   | 0   | 4   | 4   | 11 | 5  | 0   | 28 | 37.3%  |
| 5  | 1   | 0   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0   | 2  | 2.7%   |
| 計  | 10  | 2   | 17  | 13  | 26 | 7  | 0   | 75 | 100.0% |





(4) 地区のコミュニティを維持、継承していくために必要となる各地区の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご自由にご記入ください。

①風習・行事等

- ・祭り（春、夏、秋）、岩沼市民まつり、七夕祭り、学習館まつり－8件
- ・盆踊り－5件
- ・新年の行事、新年会、もちつき、どんと祭－3件
- ・スポーツ、球技大会、運動会－3件
- ・花見、畑作業、収穫祭－2件
- ・芋煮会－2件
- ・清掃・美化活動、草取り－2件
- ・バーベキュー大会－1件

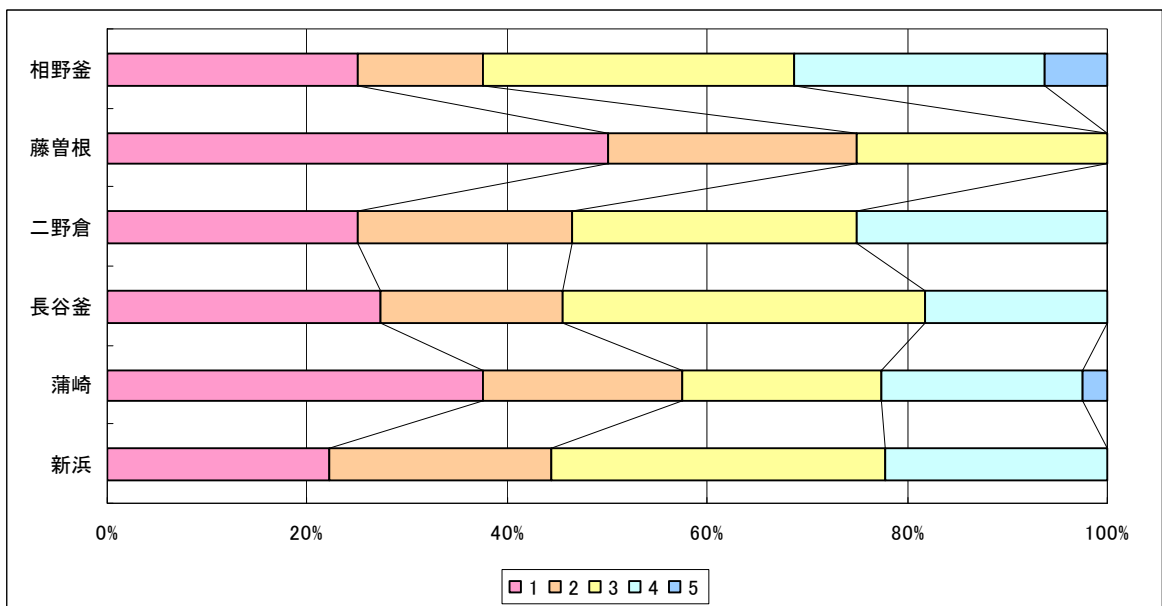
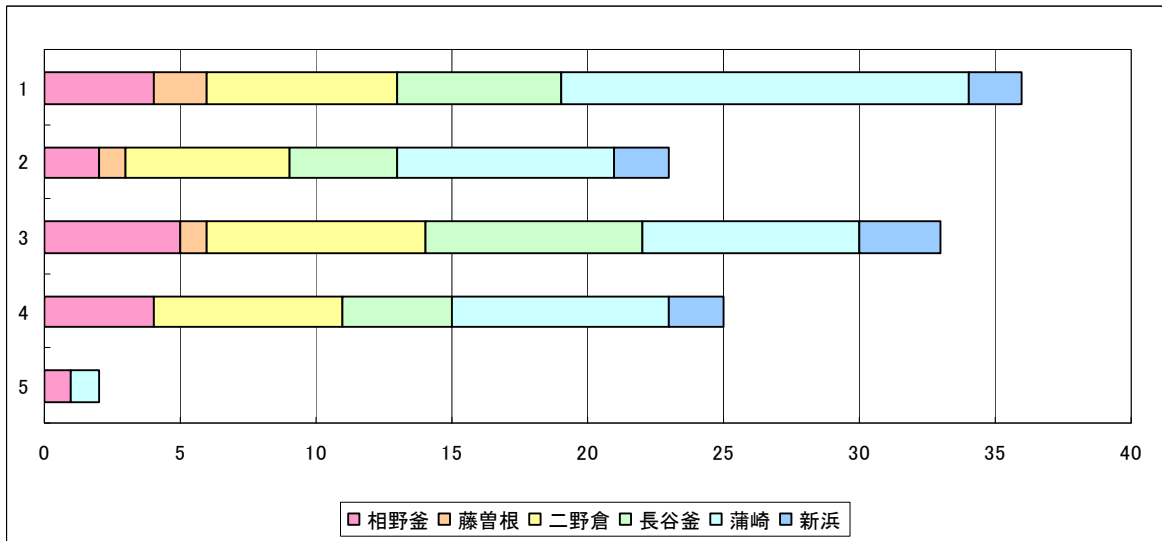
②シンボルとなる施設等

- ・新しいシンボルを作る－3
- ・神社（熊野神社、白山姫神社）－2件
- ・震災に関する式典（石碑の建立、鎮魂の祭）－1件
- ・コミュニティセンター、集会所（レクリエーション、サークル活動）－1件
- ・火の見櫓－1件

(5) 玉浦西地区の方とこれからどのようなつきあい方をされますか。次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 友達や知り合いの家にお互いに訪問するなど密接なつきあい
- 2 地区の祭りや学校行事などに相互に参加するようなつきあい
- 3 親や親戚の家に行く程度のつきあい
- 4 まちであつたらあいさつする程度のつきあい
- 5 その他（具体的に

| 区分   | 相野釜 | 藤曽根 | 二野倉 | 長谷釜 | 蒲崎 | 新浜 | その他 | 計  | 回答率   |
|------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-------|
| 1    | 4   | 2   | 7   | 6   | 15 | 2  | 0   | 36 | 43.9% |
| 2    | 2   | 1   | 6   | 4   | 8  | 2  | 0   | 23 | 28.0% |
| 3    | 5   | 1   | 8   | 8   | 8  | 3  | 0   | 33 | 40.2% |
| 4    | 4   | 0   | 7   | 4   | 8  | 2  | 0   | 25 | 30.5% |
| 5    | 1   | 0   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0   | 2  | 2.4%  |
| 回答者数 | 13  | 2   | 18  | 14  | 28 | 7  | 0   | 82 |       |



(6) 玉浦西地区に期待することなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- ・災害に強いまち－1件5
- ・福祉、医療、買物等の施設が充実－4件
- ・新しい町づくり－4件
- ・コミュニケーションを大切にする地区－4件
- ・公共施設（道路、公園、ライフライン）の充実－3件
- ・早い建設と工事の完成－2件
- ・子供達や高齢者が住みやすい町－2件
- ・気軽に集える町－2件
- ・自然エネルギーの活用（太陽光発電等）－2件
- ・自然と調和し緑ある町－1件1
- ・津波対策、避難施設、非難道路の整備－1件

# 玉浦西地区のまちづくりに関するアンケート結果速報

## (玉浦西地区周辺にお住まいの方)

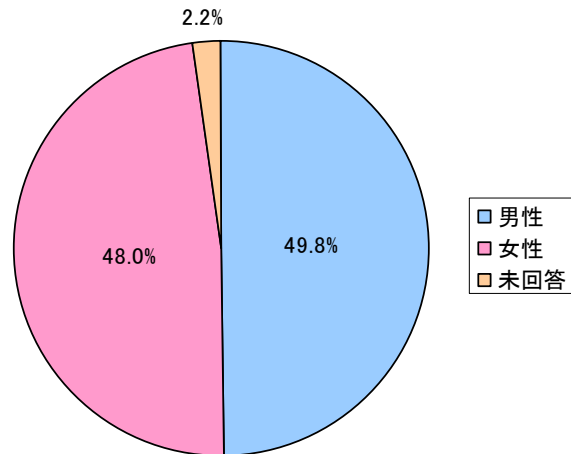
### 1. アンケート調査の概要

- ①調査対象 世帯ごとの回答
- ②調査方法 郵送による配布、回収
- ③調査期間 平成24年7月17日～平成24年7月27日
- ④集計時期 平成24年8月7日時点

## 2. 回答者の属性

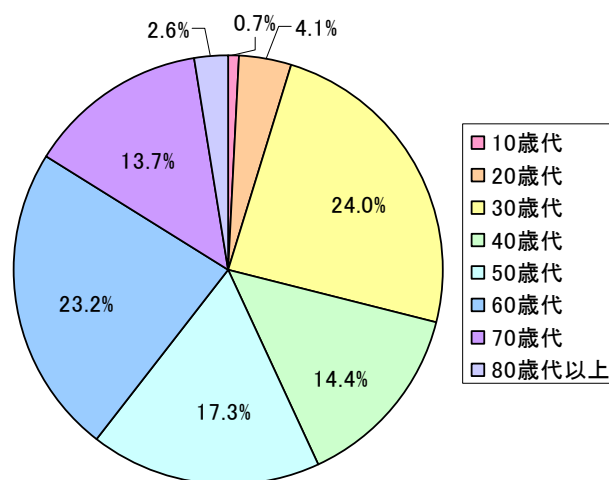
### ①性別

| 区分   | 人数  | 割合     |
|------|-----|--------|
| 1 男性 | 135 | 49.8%  |
| 2 女性 | 130 | 48.0%  |
| 未回答  | 6   | 2.2%   |
| 計    | 271 | 100.0% |



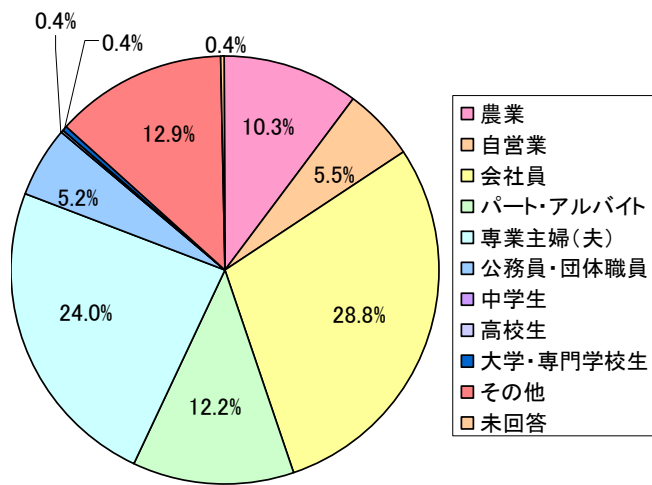
### ②年齢

| 区分       | 人数  | 割合     |
|----------|-----|--------|
| 1 10歳代   | 2   | 0.7%   |
| 2 20歳代   | 11  | 4.1%   |
| 3 30歳代   | 65  | 24.0%  |
| 4 40歳代   | 39  | 14.4%  |
| 5 50歳代   | 47  | 17.3%  |
| 6 60歳代   | 63  | 23.2%  |
| 7 70歳代   | 37  | 13.7%  |
| 8 80歳代以上 | 7   | 2.6%   |
| 計        | 271 | 100.0% |



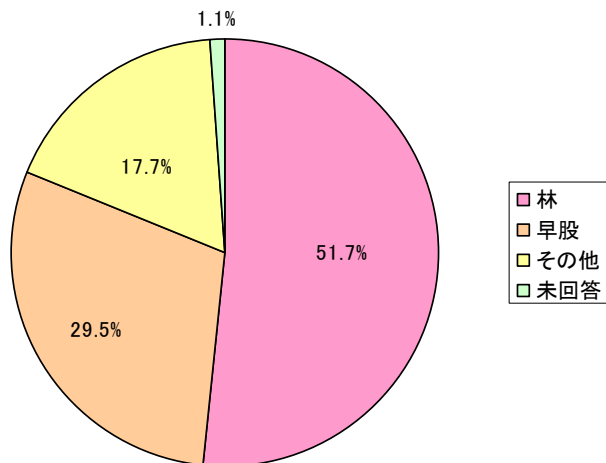
③職業

| 区分          | 人数         | 割合            |
|-------------|------------|---------------|
| 1 農業        | 28         | 10.3%         |
| 2 自営業       | 15         | 5.5%          |
| 3 会社員       | 78         | 28.8%         |
| 4 パート・アルバイト | 33         | 12.2%         |
| 5 専業主婦(夫)   | 65         | 24.0%         |
| 6 公務員・団体職員  | 14         | 5.2%          |
| 7 中学生       | 0          | 0.0%          |
| 8 高校生       | 1          | 0.4%          |
| 9 大学・専門学校生  | 1          | 0.4%          |
| 10 その他      | 35         | 12.9%         |
| 未回答         | 1          | 0.4%          |
| <b>計</b>    | <b>271</b> | <b>100.0%</b> |



④お住まいの地区名

| 区分       | 人数         | 割合            |
|----------|------------|---------------|
| 1 林      | 140        | 51.7%         |
| 2 早股     | 80         | 29.5%         |
| 3 その他    | 48         | 17.7%         |
| 未回答      | 3          | 1.1%          |
| <b>計</b> | <b>271</b> | <b>100.0%</b> |



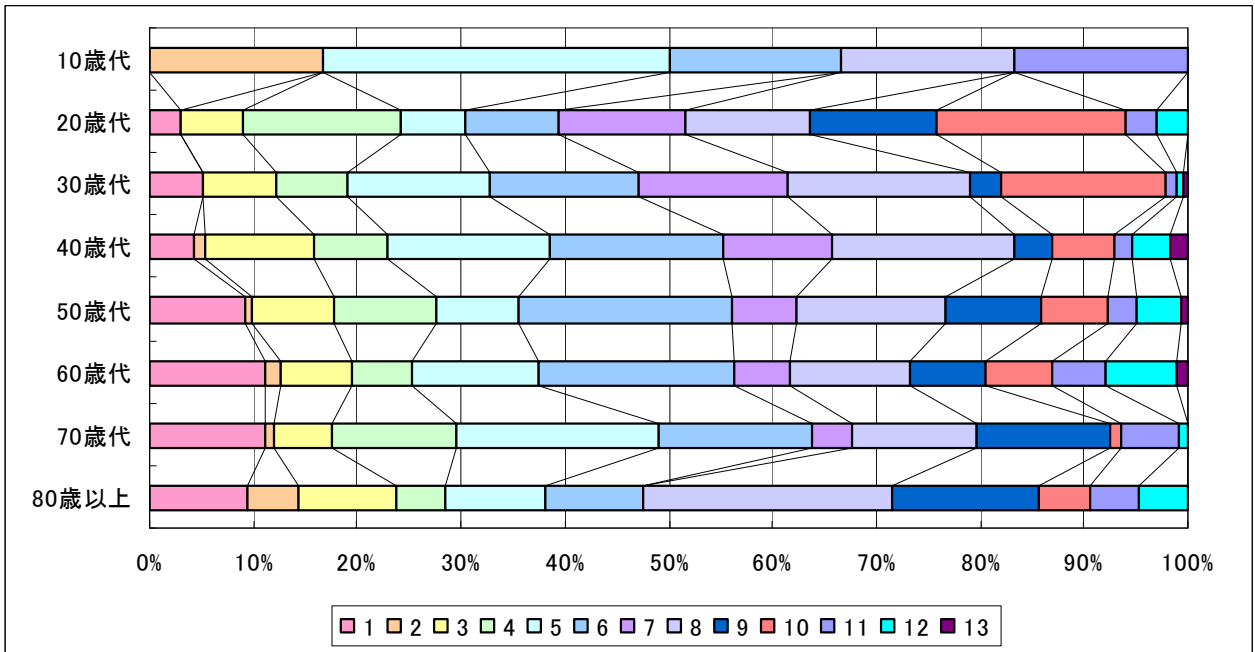
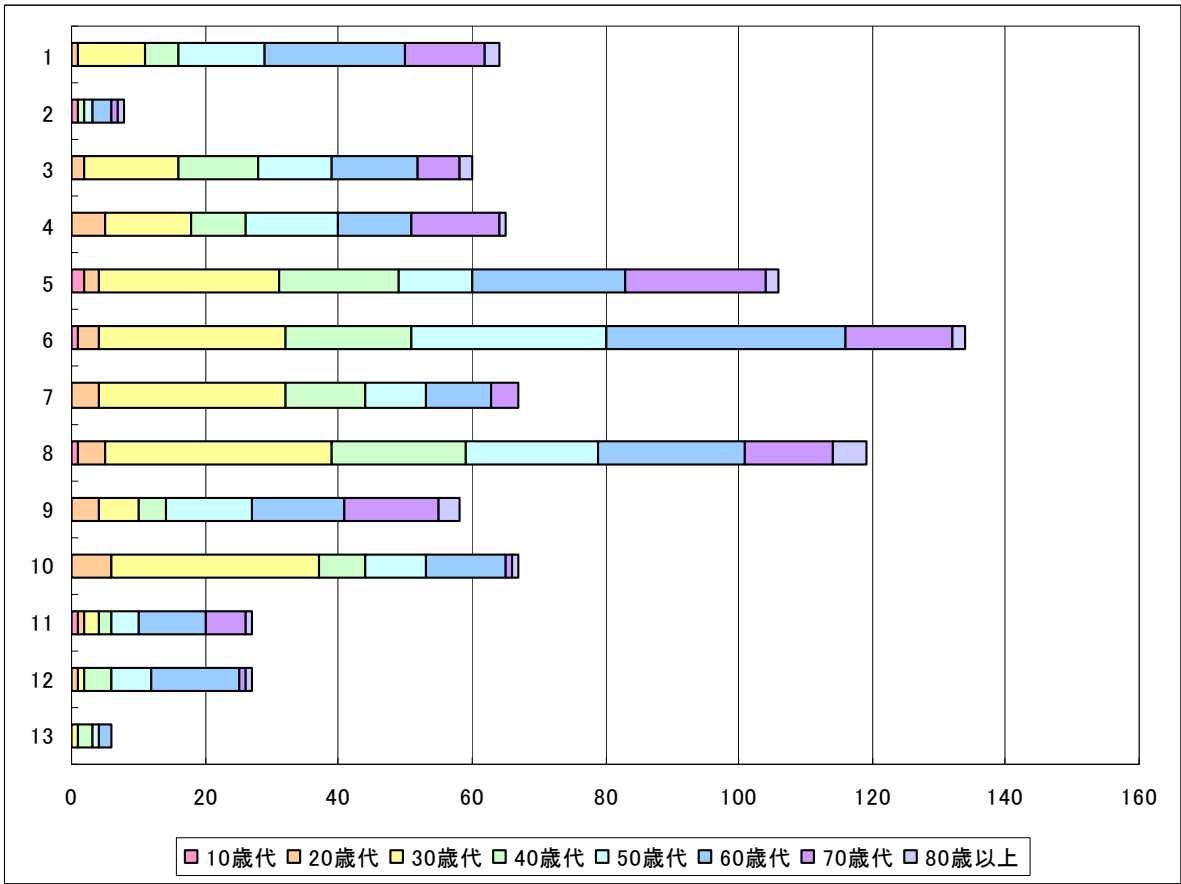
### 3. 設問別結果

(1) 玉浦西地区が将来どのようなまちになったら良いと思いますか。あなたのお考えに近いイメージを次の中から3つまで選んでください。

- 1 緑あふれる自然豊かなまち
- 2 歴史・文化・伝統などを活かしたまち
- 3 閑静な住環境のあるまち
- 4 商業施設などによる賑わいのあるまち
- 5 道路や歩道が充実したまち
- 6 災害に強いまち
- 7 公園や緑地が充実したまち
- 8 通勤通学に便利な公共交通が充実したまち
- 9 健康・福祉が充実したまち
- 10 子育て環境が充実したまち
- 11 地区外の人も多く集まる交流がさかんなまち
- 12 自然エネルギーを活用したまち
- 13 その他（具体的に

)

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 0    | 1    | 10   | 5    | 13   | 21   | 12   | 2     | 64  | 23.6% |
| 2    | 1    | 0    | 0    | 1    | 1    | 3    | 1    | 1     | 8   | 3.0%  |
| 3    | 0    | 2    | 14   | 12   | 11   | 13   | 6    | 2     | 60  | 22.1% |
| 4    | 0    | 5    | 13   | 8    | 14   | 11   | 13   | 1     | 65  | 24.0% |
| 5    | 2    | 2    | 27   | 18   | 11   | 23   | 21   | 2     | 106 | 39.1% |
| 6    | 1    | 3    | 28   | 19   | 29   | 36   | 16   | 2     | 134 | 49.4% |
| 7    | 0    | 4    | 28   | 12   | 9    | 10   | 4    | 0     | 67  | 24.7% |
| 8    | 1    | 4    | 34   | 20   | 20   | 22   | 13   | 5     | 119 | 43.9% |
| 9    | 0    | 4    | 6    | 4    | 13   | 14   | 14   | 3     | 58  | 21.4% |
| 10   | 0    | 6    | 31   | 7    | 9    | 12   | 1    | 1     | 67  | 24.7% |
| 11   | 1    | 1    | 2    | 2    | 4    | 10   | 6    | 1     | 27  | 10.0% |
| 12   | 0    | 1    | 1    | 4    | 6    | 13   | 1    | 1     | 27  | 10.0% |
| 13   | 0    | 0    | 1    | 2    | 1    | 2    | 0    | 0     | 6   | 2.2%  |
| 回答者数 | 2    | 11   | 65   | 39   | 47   | 63   | 37   | 7     | 271 |       |



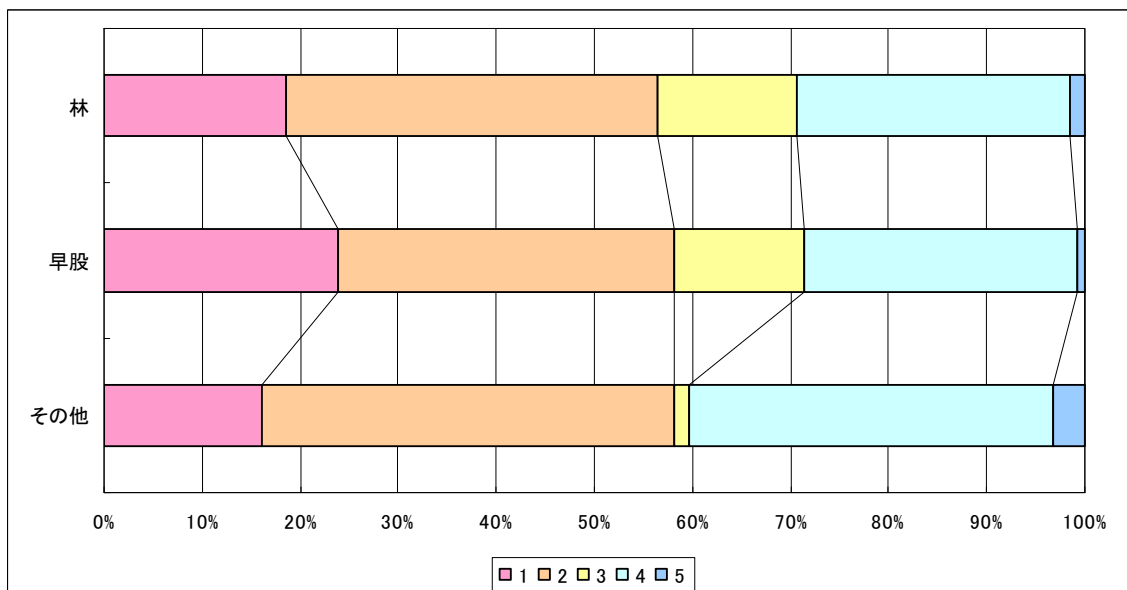
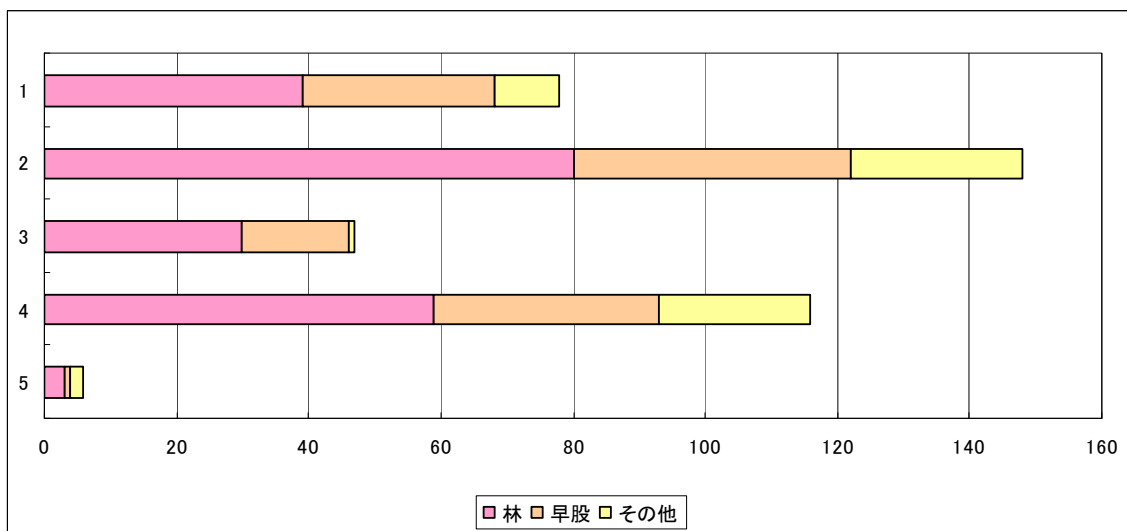


(2) 玉浦西地区の新しい住民の方とどのようなつきあい方をされますか。次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 友達や知り合いの家にお互いに訪問するなど密接なつきあい
- 2 地区の祭りや学校行事などに相互に参加するようなつきあい
- 3 親や親戚の家に行く程度のつきあい
- 4 まちであつたらあいさつする程度のつきあい
- 5 その他（具体的に

)

| 区分   | 林   | 早股 | その他 | 計   | 回答率   |
|------|-----|----|-----|-----|-------|
| 1    | 39  | 29 | 10  | 78  | 29.1% |
| 2    | 80  | 42 | 26  | 148 | 55.2% |
| 3    | 30  | 16 | 1   | 47  | 17.5% |
| 4    | 59  | 34 | 23  | 116 | 43.3% |
| 5    | 3   | 1  | 2   | 6   | 2.2%  |
| 回答者数 | 140 | 80 | 48  | 268 |       |



(3) 玉浦西地区の新しい住民の方へ紹介したい玉浦西地区近辺の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご記入ください。

①風習・行事等

- ・祭り（春、夏、秋）、岩沼市民まつり、七夕祭り、学習館まつり－13件
- ・盆踊り－9件
- ・スポーツ、球技大会、運動会－5件
- ・林観音堂例祭－3件
- ・花見、畑作業、収穫祭－2件
- ・太鼓、みこし、子供みこし－2件
- ・清掃・美化活動、草取り－1件
- ・早股熊野神社の祭り－1件

②シンボルとなる施設等

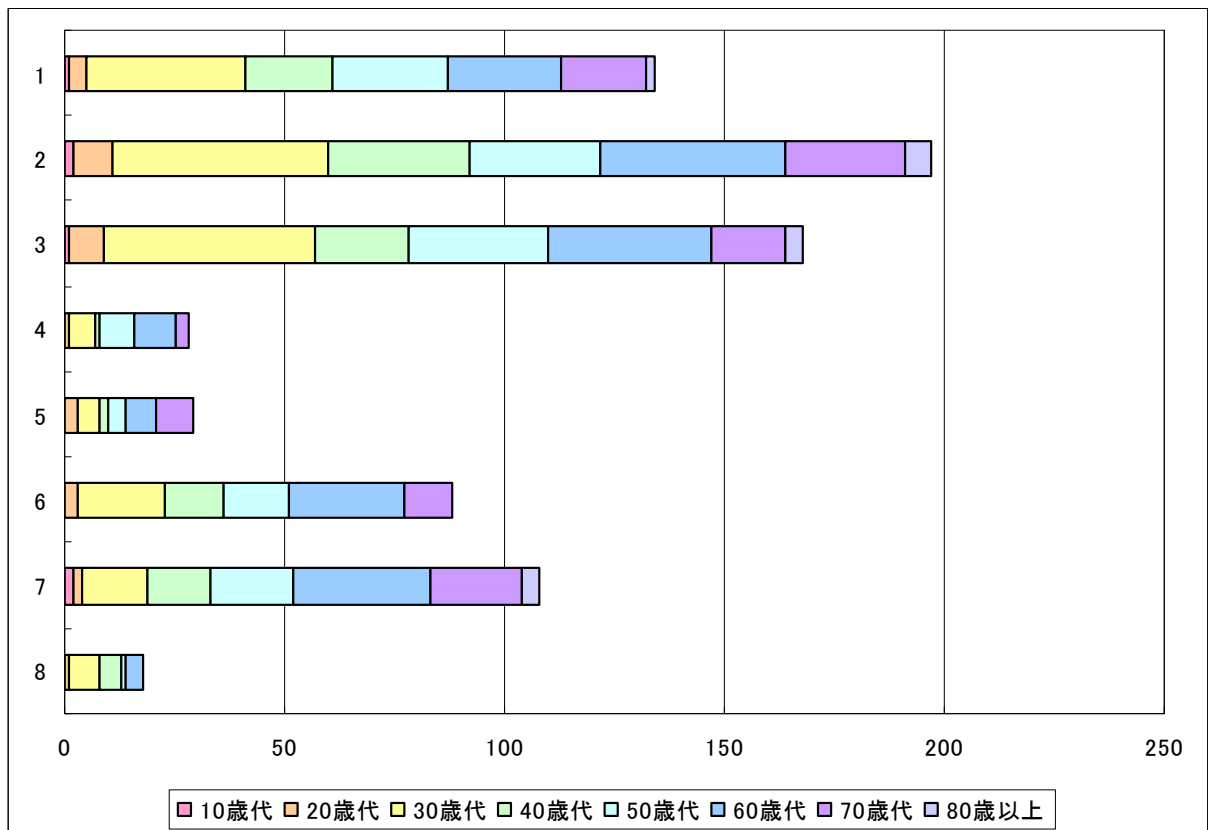
- ・玉浦中学校（トンガリ帽子等）－5件
- ・神社（熊野神社、白山姫神社）－2件
- ・コミュニティセンター、集会所（レクリエーション、サークル活動）－2件
- ・風景、自然（松林、イチヨウの木、百日紅）－2件
- ・医療施設（個人病院、鈴木病院、南東北病院）－2件
- ・記念碑、公園（朝日山公園）－1件
- ・貞山掘－1件
- ・首なし地藏－1件
- ・市民会館、陸上競技場－1件

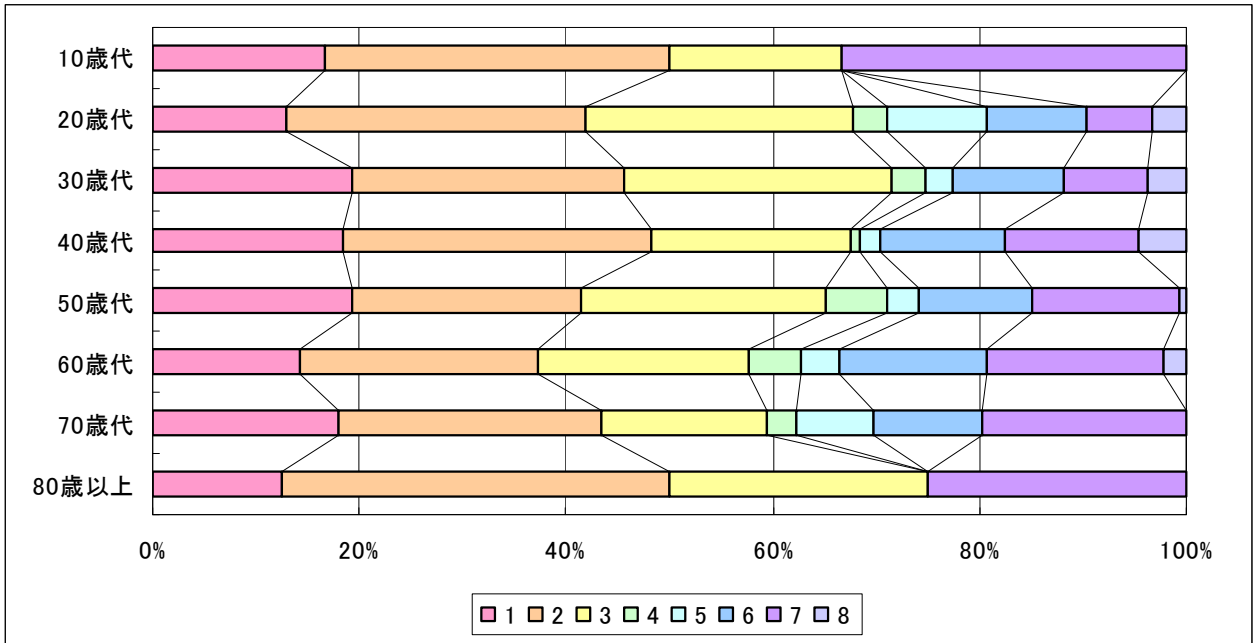
(4) 玉浦西地区の整備にあたり、道路や公園などの公共施設の整備で特に配慮すべきと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 車がスムーズに走れるような広い車道の整備
- 2 歩行者が安心して歩けるような広い歩道の整備
- 3 のびのび遊んだり、散歩ができるような広い公園の整備
- 4 花壇などの手入れができる身近な小さい公園の整備
- 5 水と親しめる水路や池の整備
- 6 街路樹や公園の植栽（しよくさい）などの緑化
- 7 集会所等の地区の活動を支える交流施設の整備
- 8 その他（具体的に

)

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 1    | 4    | 36   | 20   | 26   | 26   | 19   | 2     | 134 | 49.4% |
| 2    | 2    | 9    | 49   | 32   | 30   | 42   | 27   | 6     | 197 | 72.7% |
| 3    | 1    | 8    | 48   | 21   | 32   | 37   | 17   | 4     | 168 | 62.0% |
| 4    | 0    | 1    | 6    | 1    | 8    | 9    | 3    | 0     | 28  | 10.3% |
| 5    | 0    | 3    | 5    | 2    | 4    | 7    | 8    | 0     | 29  | 10.7% |
| 6    | 0    | 3    | 20   | 13   | 15   | 26   | 11   | 0     | 88  | 32.5% |
| 7    | 2    | 2    | 15   | 14   | 19   | 31   | 21   | 4     | 108 | 39.9% |
| 8    | 0    | 1    | 7    | 5    | 1    | 4    | 0    | 0     | 18  | 6.6%  |
| 回答者数 | 2    | 11   | 65   | 39   | 47   | 63   | 37   | 7     | 271 |       |



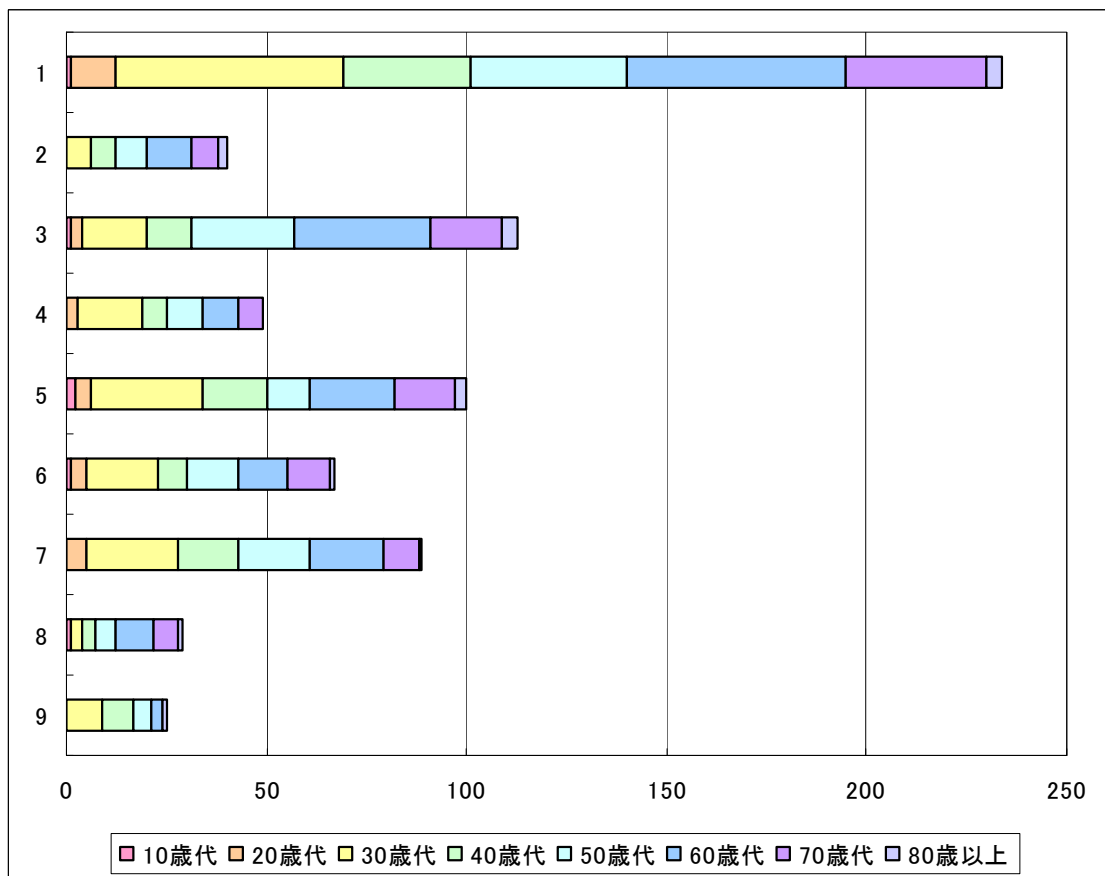


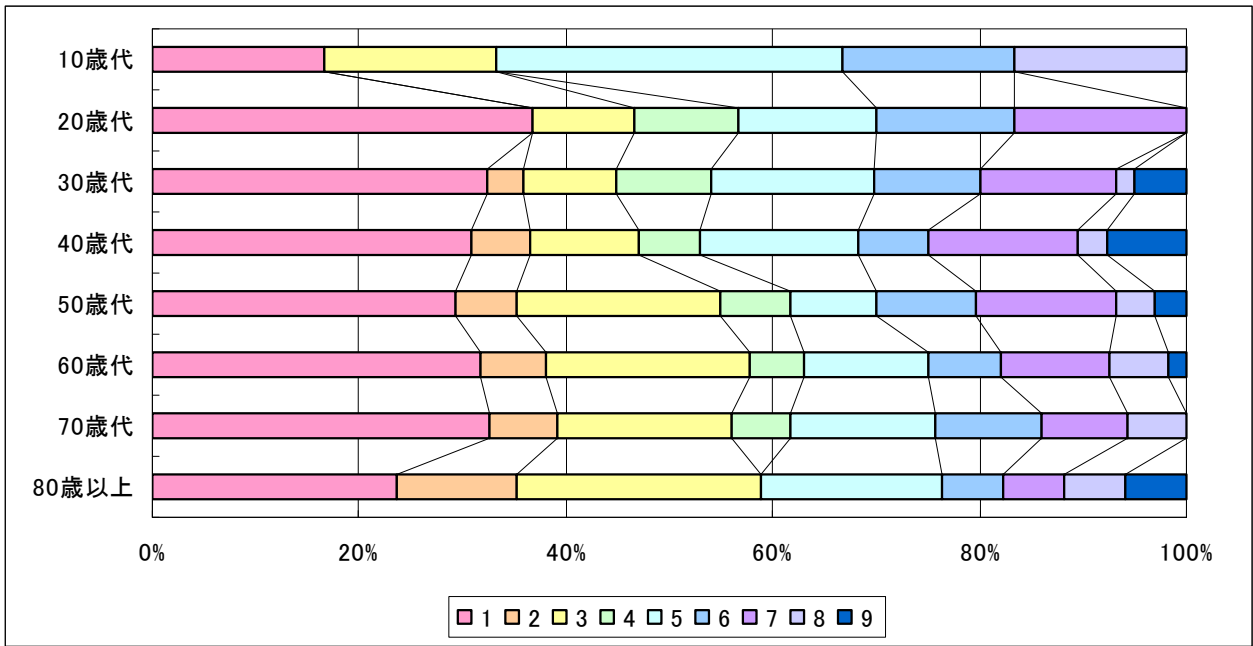
(5) 玉浦西地区の整備にあたり、必要な生活利便施設はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 スーパー等の生鮮食料品などを扱う小売店舗
- 2 24時間利用できるコンビニエンスストア
- 3 小児科・内科・眼科などの医療施設
- 4 調剤薬局・ドラッグストア
- 5 銀行・郵便局
- 6 ATM（現金自動預け払い機）
- 7 飲食店
- 8 専門学校等の学校施設
- 9 その他（具体的に

)

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 1    | 11   | 57   | 32   | 39   | 55   | 35   | 4     | 234 | 86.3% |
| 2    | 0    | 0    | 6    | 6    | 8    | 11   | 7    | 2     | 40  | 14.8% |
| 3    | 1    | 3    | 16   | 11   | 26   | 34   | 18   | 4     | 113 | 41.7% |
| 4    | 0    | 3    | 16   | 6    | 9    | 9    | 6    | 0     | 49  | 18.1% |
| 5    | 2    | 4    | 28   | 16   | 11   | 21   | 15   | 3     | 100 | 36.9% |
| 6    | 1    | 4    | 18   | 7    | 13   | 12   | 11   | 1     | 67  | 24.7% |
| 7    | 0    | 5    | 23   | 15   | 18   | 18   | 9    | 1     | 89  | 32.8% |
| 8    | 1    | 0    | 3    | 3    | 5    | 10   | 6    | 1     | 29  | 10.7% |
| 9    | 0    | 0    | 9    | 8    | 4    | 3    | 0    | 1     | 25  | 9.2%  |
| 回答者数 | 2    | 11   | 65   | 39   | 47   | 63   | 37   | 7     | 271 |       |

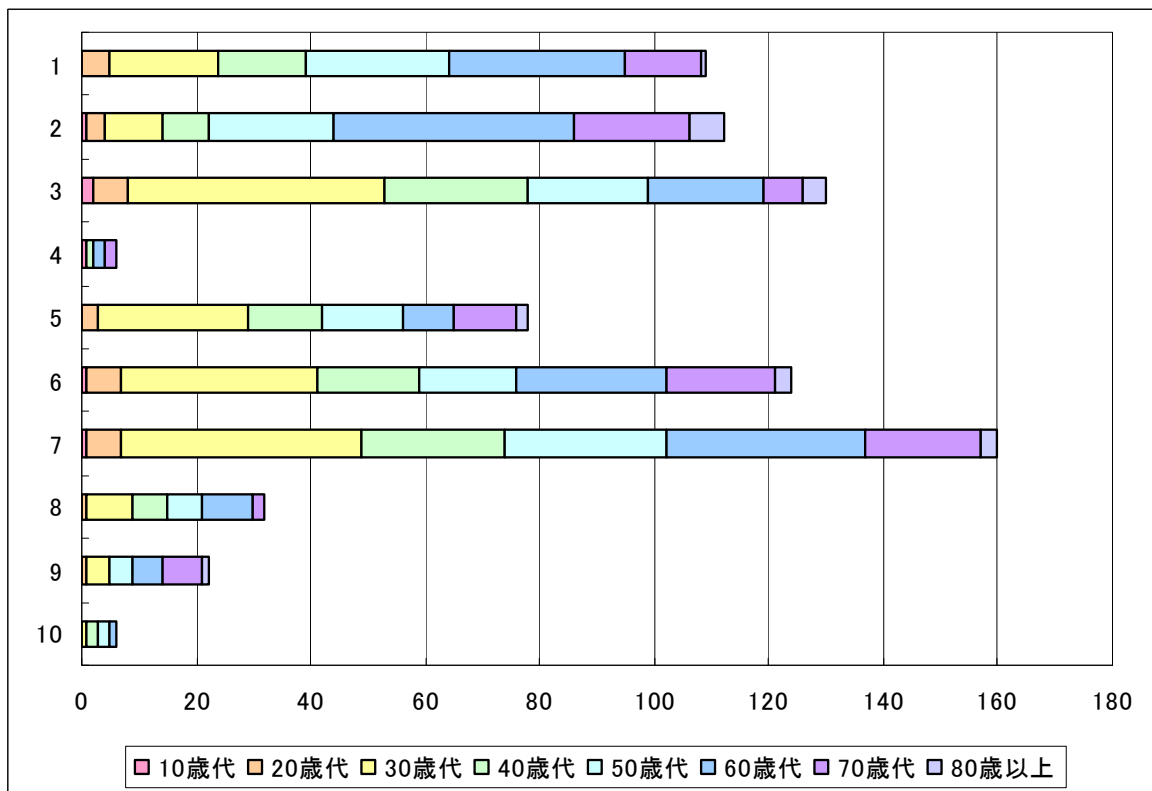


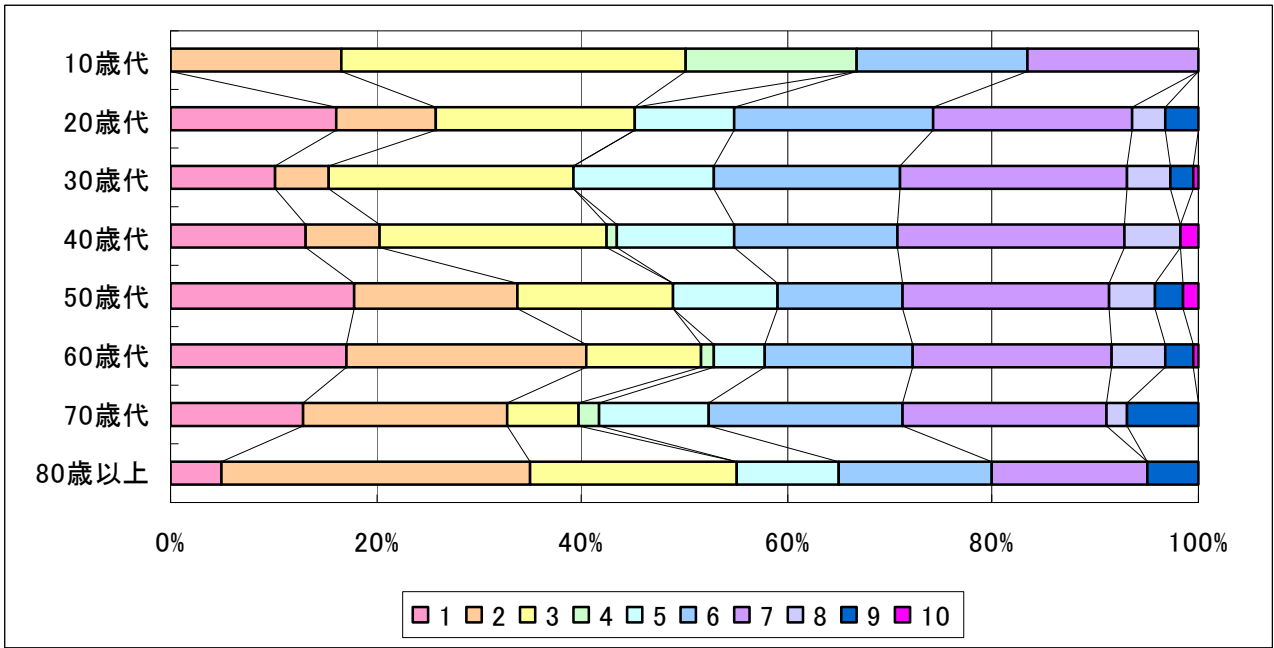


(6) 玉浦西地区の整備にあたり、安全・安心なまちづくりをするために必要なものはどれですか。  
次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てを支援する施設（保育所等）
- 2 高齢者等の<sup>かいご</sup>介護を支援する施設（デイサービスセンター等）
- 3 交通安全施設の整備や段差の小さい安全な道路（通学路、歩道の整備）
- 4 災害公営住宅のバリアフリー化
- 5 子どもたちを守るための防犯設備（防犯カメラや通報ブザーなど）
- 6 地区内に避難施設を整備し、水や食料品等を備蓄する
- 7 梅雨前線や台風等による大雨（ゲリラ豪雨等）に対応できる排水機能の整備
- 8 西風等から宅地を守る居久根
- 9 自主防災組織の設立
- 10 その他（具体的に

| 区分   | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 計   | 回答率   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1    | 0    | 5    | 19   | 15   | 25   | 31   | 13   | 1     | 109 | 40.2% |
| 2    | 1    | 3    | 10   | 8    | 22   | 42   | 20   | 6     | 112 | 41.3% |
| 3    | 2    | 6    | 45   | 25   | 21   | 20   | 7    | 4     | 130 | 48.0% |
| 4    | 1    | 0    | 0    | 1    | 0    | 2    | 2    | 0     | 6   | 2.2%  |
| 5    | 0    | 3    | 26   | 13   | 14   | 9    | 11   | 2     | 78  | 28.8% |
| 6    | 1    | 6    | 34   | 18   | 17   | 26   | 19   | 3     | 124 | 45.8% |
| 7    | 1    | 6    | 42   | 25   | 28   | 35   | 20   | 3     | 160 | 59.0% |
| 8    | 0    | 1    | 8    | 6    | 6    | 9    | 2    | 0     | 32  | 11.8% |
| 9    | 0    | 1    | 4    | 0    | 4    | 5    | 7    | 1     | 22  | 8.1%  |
| 10   | 0    | 0    | 1    | 2    | 2    | 1    | 0    | 0     | 6   | 2.2%  |
| 回答者数 | 2    | 11   | 65   | 39   | 47   | 63   | 37   | 7     | 271 |       |







(7) 玉浦西地区に期待することなど、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

- ・ 公共施設（道路、公園、ライフライン）の充実－31件
- ・ 福祉、医療、買物等の施設が充実－23件
- ・ 津波対策、避難施設、避難道路の整備－18件
- ・ 交通安全、防犯強化（街路灯等）－17件
- ・ 災害に強いまち－11件
- ・ 駅の設置、交通手段の確保、バス路線の増設－10件
- ・ 子供達や高齢者が住みやすい町－8件
- ・ コミュニケーションを大切にする地区－8件
- ・ 早い建設と工事の完成－7件
- ・ 玉浦西地区以外の整備・開発－7件
- ・ 排水機能の整備－6件
- ・ 自然と調和し緑ある町－5件
- ・ 行事の開催－2件
- ・ 新しい町づくり－1件
- ・ 自然エネルギーの活用（太陽光発電等）－1件
- ・ シンボルになるような建造物の建設－1件

## 参考資料⑦ 玉浦西地区 まちづくりイメージに対する検討について

各班がグループワークで作成したまちのイメージ案に対して、岩沼市より基本的な考え方が示された。その内容を以下に示す。

### 玉浦西地区 まちづくりイメージに対する検討について

| 項目                   | 8/8WSでのまちづくりイメージの特徴                         | 整備面での検討事項   | 管理面での検討事項                           | 岩沼市としての基本的な考え方  |
|----------------------|---|---|-------------------------------------|---|
| <b>&lt;公園、緑地&gt;</b> |   |   |                                     |   |
| 全般                   | ○緑地や公園を数多く配置                                | ○公園緑地の割合が多い(30%超)<br>○整備内容によっては工事費がかなり高くなる。                                   | ○維持管理費                              | ○公園緑地の割合は、当初計画の割合(約10%)に加えおおむね+5%程度が最大と考えている。<br>○公共施設整備補助金に上限があるので、整備内容について制限が生じる場合もある。                      |
| 調整池兼用部分              | ○3班とも地区の北東部に公園と一体利用を検討                      | ○調整池との併用利用について検討<br>・全体グラウンド型、一部調整、地下型について概要検討<br>・計画方針の決定後、設定高の確認と排水設備の確認が必要 | ○下流整備が完了した場合の確認                     | ○都市排水路整備が完了するまでの暫定調整池であるので、過大な整備費は避けたい(地下式は不可)<br>○できれば多段式の公園とし、放流先切替後の再整備も同時に検討する。                           |
| 公園設備                 | ○調整池兼用ではない公園については地区間をつなぐコミュニケーション施設としてのイメージ | ○公園の整備イメージの再確認が必要<br>・施設整備、樹木、芝生など<br>○災害対策としてマンホールトイレ、ソーラー灯の検討も必要            | ○維持管理費                              | ○管理については、市の他の公園と同じように地元任せを基本とする(7万円/年程度の補助)   |
| 居久根                  | ○3班とも地区の北と西を囲むイメージを提示                       | ○用地の設定幅について検討が必要<br>○樹木の整備イメージと費用(7000円/㎡〜と想定)の検討が必要                          | ○維持管理主体の検討<br>○地区外農地への影響(日陰、落葉等)の確認 | ○農地と宅地の間を法面とし、居久根用地とすることを検討中(北と西側を約5m)<br>○用地を市が準備するので、整備と管理を地元にお願ひする方向で調整したい。<br>○樹種についてはあまり高い物にしない方向で調整したい。 |

| ＜街区配置＞    |   |  |  |   |
|-----------|---|--|--|---|
| 移転先集落の構成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○6地区+1地区(林住宅)の場所の設定をどのように行うか検討が必要</li> <li>・検討委員が決めるには荷が重いという意見あり</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○6地区の考えを優先する。</li> <li>○検討委員会からの意見を確認しその後6地区代表者会議の開催を予定</li> </ul>                |   |
| シンボル      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各班にて地区ごとのシンボリックな樹木を提示</li> <li>○さわやか班からは地区全体の新たなシンボルを提案</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○シンボルを配置する位置の検討が必要</li> <li>○細街路を含めた地区の道路配置案の検討が必要</li> <li>○玉浦西全体のシンボルの検討をすべきかの確認</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○管理主体の確認</li> </ul>   |   |
| 災害公営住宅    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○集合住宅については、各地区に隣接させて地区と地区の間に分散配置するイメージ</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○現時点で建物プランが無いためイメージを持ちにくい。</li> <li>・街並み形成をリードする要素</li> <li>○分散や集約に対する条件の提示が必要</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○払い下げの有無による影響</li> <li>○分散をどこまで可能とするかの検討</li> </ul>                               |   |
| ＜水路＞      |   |  |  |   |
| 農業用水の切替水路 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○フェンス等安全施設の設置について検討</li> <li>・農地の利用、管理用の通路部が必要</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○フェンス等安全施設の設置について検討</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地改良区からはフェンスと管理用地が必要という話を受けている。</li> </ul>                                       |   |
| 地区内水路     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ひまわり班から地区内幹線道路沿いに水路を配置するイメージが提示</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業用水路の切替兼用として使う場合</li> <li>・水路断面が大きいため、安全施設の設置が必須</li> <li>・雨水排水を調整池へ流すことが難しいエリアが生じる。</li> <li>○地区内修景用水路とする場合</li> <li>・水路の断面や整備内容によってはフェンスなどの安全施設が必要</li> <li>・ポンプアップによる農業用水の取得か水道水の利用などが必要</li> <li>○その他</li> <li>・開水路部分の横断や乗り入れの確認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区内を土地改良区管理の水路が横断することの確認</li> <li>○排水施設ではないため、管理者の確認が必要(道路、下水、都市計画、他)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地改良区との協議では、地区内を農業用水路が横断することは不可</li> <li>○ポンプの維持や安全面、衛生面等から地区内に水路を通すことは実現が難しい。</li> <li>○防災面も含め、井戸の掘削による手押しポンプやせせらぎ水路等の整備を検討したい。</li> </ul> |

|                                 |                                  |  |                                |  |
|---------------------------------|----------------------------------|--|--------------------------------|--|
| 県道水路（林江用水路）                     | ○3班とも県道沿いの植樹（並木）とするイメージを提示       | ○並木の設置箇所について<br>・用地及び管理用道路などの設定方針の確認<br>○県道から店舗等への出入り方針の検討<br>・交差点協議や県道接続など交通規制の確認                                 | ○県道管理者とも整備と管理を確認<br>○出店者と確認が必要 | ○用水路内への植栽が難しいため、並木については、用水路外の緑地で検討する。                                    |
| <b>&lt;&lt; 道路 &gt;&gt;</b>     |                                  |  |                                |  |
| 幹線道路                            | ○幹線道路に関して、具体的なイメージの提示があったのはひまわり班 | ○ネットワークの組み方に工夫が必要<br>・特に東側区画整理地区への接続先が6mであることから、地区隣接部へどのように設定すべきか検討が必要<br>○緑道案の場合、車道の設置方針（両側 or 片側）と沿線土地利用方針の検討が必要 | ○大規模緑地の維持管理                    | ○幹線道路の導線は県道から県道へループすることを基本としたい。<br>○区画整理地区側の接続道路が6mのため、東側への道路は6mで接続させたい。 |
| 区画道路                            |                                  | ○進め方について要検討<br>・幅員、行き止まり（巡回広場）など道路構造令に合う計画とする。<br>・委員だけで決めるのは難しいと考えられ、地元を下ろす必要があると考える。                             | ○道路として管理される条件の確認               | ○基本はループ状とし、行き止まり道路は、やむを得ない場合に限る。<br>○外周道路は管理面から必要と考える。                   |
| 歩行者専用道路                         |                                  | ○地区周辺など、歩行者専用道路として欲しいという要望に対し位置づけ（道路、通路、緑地）と幅の検討が必要  | ○管理主体の確認                       | ○必要な機能を確認後に、整備手法と管理者の検討を行う。  |
| <b>&lt;&lt; 供給処理施設 &gt;&gt;</b> |                                  |  |                                |  |
| 上水道                             |                                  | ○電線緑地中化等の道路下埋設物の確認と位置調整が必要   |                                |  |
| 下水道                             |                                  | ○汚水<br>・道路が曲線の場合にはマンホール数が増加するため経路などの検討が必要<br>○雨水<br>・調整池へ流入するルートの確認が必要<br>・将来計画である、県道方向への雨水配水管の埋設が必要               | ○将来排水ルートの整備手法について検討が必要         | ○掘返し等は好ましくないため、整備方針について事前に整理する。  |

|                     |  |   |   |
|---------------------|--|---|---|
| 電線類地中化              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般的に電線共同溝整備は、歩道付きの幹線道路での整備が主となる（都市計画決定が前提の場合が多い）</li> <li>○20万円/m程度の工事費が必要</li> <li>○変圧器など施設の設置場所が必要</li> <li>○協議及び設計においてかなりの期間増が予想される。</li> <li>○東北電力及びNIT東日本との協議が必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規需要等が発生する場合は、道路の掘り返しが生じる。</li> <li>○配線トラブル解消に時間を要する場合は想定される。</li> <li>○宅地価値上昇による固定資産税の変動</li> <li>○土地の販売価格への転嫁の有無</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業者の費用負担、需要家の個人負担の合意形成が必要</li> <li>○整備計画を作成するまでの各事業者との協議、調整と設計に要する期間が課題（岩沼駅前整備時には2年程度の協議期間を要している。）</li> <li>○宅地価値の上昇については確認中</li> <li>○景観に配慮した架空配線で検討したい。</li> </ul> |
| <b>&lt;共同施設&gt;</b> |  |   |   |
| 集会所                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各班とも2地区に1箇所の配置</li> <li>○ひまわり班では地区全体の防災拠点を兼ねた大規模な集会所を配置</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○設置戸数の方針提示が必要</li> <li>○災害対策として、防災拠点化の検討（備蓄、貯水、発電施設など）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区の集会所は、現計画と同じ最大3箇所への集約を行いたい。</li> <li>○基本は地元管理となる。</li> <li>○災害公営住宅にも集会所の設置を検討したい。</li> </ul>  |
| 菜園（共同畑）             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区のコミュニティ施設として、地区内又は地区間へ配置</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災集団移転促進事業等での設置可否を確認中</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○農政の事業を使って地区外への整備を検討中</li> </ul>   |
| 農業共同施設              |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○設置後の管理者の決定が必要</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○農政の事業を使って地区外への整備を検討中</li> </ul>   |

| < 公益施設用地 >   |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○スーパー</li> <li>○銀行</li> <li>○警察</li> <li>○郵便局</li> <li>○ATM</li> <li>○病院</li> <li>○診療所</li> <li>○大学</li> <li>○神社</li> <li>○保育所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○規模や業態などの整理が必要</li> <li>○農協との関連の確認が必要</li> <li>○周辺駐在所との関係整理が必要</li> <li>○玉浦簡易郵便局との関係整理が必要</li> <li>○ATMのイメージの再確認が必要（隣接するコンビニに既設）</li> <li>○病床数等の関係から困難である。</li> <li>○内科、小児科が近くに存在。さらに数が必要なのか他診療科希望なのか確認</li> <li>○必要規模、誘致条件が未整理。公益的施設の扱いとなるか確認</li> <li>○政教分離により補助金による対応が難しい。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○諸条件について説明し、事業者の土地購入を原則として対応する。</li> <li>○公益施設用地として、15%程度を確保したい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○東保育所の設置を検討中</li> </ul>  |

### 参考資料⑧ 玉浦西地区 土地利用の配置に関するご意見と土地利用計画図への反映について

各班からの意見を踏まえて、事務局より土地利用計画図（案）の提示が行われた。なお、土地利用計画図（案）検討に当たったの各班意見の反映状況についてもあわせて提示された。その内容を以下に示す。

### 玉浦西地区 土地利用の配置に関するご意見と土地利用計画図（案）への反映について

| 項目            | 8/29 での各班からのご意見  | 土地利用計画図（案）への反映  |
|---------------|--|---|
| 緑道関連          | <p>○緑道は6mくらいのイメージ【TMU班】</p> <p>○地区の中央の緑道で南北が分かれているので南北方向のクルマの通り道としてロータリーを入れる【さわやか班】</p>  | <p>○地区中央部の歩行者動線として、有効幅員6mの緑道を配置し、各地区の街区公園並びに公園兼調整池をネットワークさせています。なお、緑道は植栽用のスペースと合わせ敷地幅としては8.0mを確保するよう計画しています。</p> <p>○緑道をはさんだ南北方向の動線を確保するために、クルマが横断できる区画道路を3箇所設置しています。</p> <p>また、中央部に配置した集合住宅周辺については、南北、東西の区画道路を組み合わせて周回道路とし、長谷釜、二野倉・藤曾根、蒲崎、新浜の各地区間を連絡可能となるよう配置しています。</p>  |
| 公園関連（集会所・丘含む） | <p>○調整池は将来的に池の部分が縮小されるので、広場を地区中央側へ【ひまわり班】</p> <p>○調整池を中央側にまとめて街区公園と合わせて大きな公園にし、広めの駐車場を設置【さわやか班】</p> <p>○集会所は2階建て、公園兼調整池には大きめのものを配置【TMU班】</p> <p>○公園は緑道の南側に配置して生活利便施設とのつながりをもたせる【ひまわり班】</p> <p>○西側に丘をつくり、玉浦西地区のシンボルにする【さわやか班】</p> <p>○西側に丘をつくる【ひまわり班】</p> | <p>○公園兼調整池については、池を東側へ配置し、公園（広場）のエリアがでるだけ地区の中央側になるよう検討しています。</p> <p>○地区とのつながりを考慮して、東側の街区公園並びに集会所については幹線道路の西側に配置しています。そのため、緑道等を介して公園兼調整池と一体的なイメージを保てるような公園整備を今後の委員会の中で検討していきます。</p> <p>また、駐車場についても公園兼調整池内に設置可能かどうか、今後の委員会の中で検討します。</p> <p>○集会所については、各街区公園の周辺にそれぞれ配置しています。なお、公園兼調整池内への設置については、3棟の枠の範囲で今後の委員会の中で検討します。</p> <p>○各街区公園間をネットワークできるような緑道を配置しています。生活利便施設とのつながりについては、生活利便施設の配置位置を踏まえて検討します。</p> <p>○地区西側の相野釜地区の必要宅地面積等を考慮すると、同地区内に丘がおける公園用地を確保することは非常に困難です。そのため、最も西側の街区公園内に丘（築山）を配置することを考えています。</p> |

| 項目       | 8/29 での各班からの<br>ご意見   | 土地利用計画図（案）への反映  |
|----------|---|---|
| 地区境界関連   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区のまわりに散策できる道が必要【ひまわり班】</li> <li>○恵み野とのつながりが水路で大きく分断しているの、行き来しやすくする【TMU班】</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区西側、北側に配置した区画道路については、幅員 6.0mに歩道（2.0m）を付加し、全幅で8.0mを計画しています。</li> <li>○恵み野とのつながりを確保するために、生活利便施設への動線及び歩行者動線（緑道）によりネットワークさせざることを考えています。</li> <li>なお、境界部に位置する水路については、関係機関とも協議のうえ検討します。</li> </ul>   |
| 集合住宅関連   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区と地区の間に災害公営の集合住宅を配置【ひまわり班】</li> <li>○集合住宅は2箇所（二野倉・藤菅根の下と相野釜の近くに【TMU班】</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各地区の配置を踏まえ、相野釜／長谷釜・二野倉・藤菅根／蒲崎・新浜のまとまりで集合住宅を配置しています。</li> <li>○長谷釜・二野倉・藤菅根と蒲崎・新浜の集合住宅については、緑道を介して配置することにより、集合住宅のエリアとしてまとめています。</li> </ul>  |
| 生活利便施設関連 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活利便施設を分散（蒲崎と新浜の間にも設置）【ひまわり班】</li> <li>○生活利便施設は地区の東側を縦方向に配置して、恵み野とのつながりとする【TMU班】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活利便施設を西側にも分散配置しています。</li> <li>なお、生活利便施設については、商業・サービス系でも公共施設系でも、人が集まる施設となることから、幹線道路の沿道に配置しています。</li> <li>○生活利便施設へのメインアクセスについては、幹線道路を介して行うことを想定しており、右折車線の設置を考慮して恵み野側からもアクセス可能な動線を配置しています。</li> <li>生活利便施設を地区の東側に縦方向に配置する場合、生活利便施設へのアクセスとして恵み野との境界部の道路の幅を合わせて検討していく必要がありませんが、恵み野側の土地利用が戸建て住宅地区であることから、あまり望ましくないと考えています。</li> <li>○生活利便施設の立地施設については、事業者側の意向が大きき要素を占めることから、現時点では具体的な内容を特定できませんが、ご意見を踏まえて、立地施設の内容等の検討を進めます。</li> </ul> |
| その他      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路法面の居久根は官民協働（官民一体：ここ強調）で管理する【さわやか班】</li> <li>○菜園は地区外の北側に設けてもらいたい【TMU班】</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路法面の居久根の管理については、協働の手法を含め、皆さんと検討いたします。なお、管理面でのご意見ですので、土地利用計画図（案）には反映しておりません。</li> <li>○農政部門との協議を引き続き進めます。なお、今回の土地利用計画図（案）では、地区外となることから具体的な表現は行っておりません。</li> </ul>   |



